
京田辺市
子どもの生活状況調査（中学生とその保護者）
報告書

令和6（2024）年8月

目次

I 調査概要	1
II 中学生	3
1. 基本属性	3
2. 学習状況	4
3. 進学希望	10
4. 部活動等への参加状況	12
5. 日常的な生活の状況	13
6. 心身の健康状態	16
7. 毎月のおこづかい	19
8. 相談できると思う相手	21
9. 居場所の利用	22
10. 子どもの心理的な状態	28
III 中学生（アンケート結果からの分析）	40
1. 学習状況	40
2. 進学希望	40
3. 部活動等への参加状況	40
4. 日常的な生活の状況	40
5. 心身の健康状態	40
6. 毎月のおこづかい	41
7. 居場所の利用	41
8. 子どもの心理的な状態	41
IV 中学生の保護者	42
1. 基本属性等	42
2. 最終学歴	47
3. 生活状況	49
4. 保育の状況	52
5. 子どもとの関わり方	54
6. 学校との関わり・参加	59
7. 進学期待・展望	62
8. 頼れる人の有無・相手	64
9. 経済的な状況、暮らしの状況	67
10. 保護者の心理的な状態	73
11. 支援の利用状況	80
12. 保護者の考え方	92

V 中学生の保護者（アンケート結果からの分析）	97
1. 保育の状況	97
2. 子どもとの関わり方	97
3. 学校との関わり・参加	97
4. 進路期待・展望	97
5. 頼れる人の有無・相手	98
6. 経済的な状況、暮らしの状況	98
7. 保護者の心理的な状態	98
8. 支援の利用状況	98
9. 保護者の考え方	98

I 調査概要

1. 調査の目的

「(仮称) 京田辺市こども計画」の策定に向け、保護者・子どもの生活状況について京田辺市の実態を把握して計画に反映するとともに、世帯収入の水準や親の婚姻状況によって、子どもの学習・生活・心理など様々な面での影響を把握するため、「子どもの生活状況調査（中学生とその保護者）」を実施しました。

2. 調査の実施について

調査対象者	京田辺市立中学2年生及びその保護者（全数調査）
調査期間	令和6（2024）年2月22日（木）～令和6（2024）年3月7日（木）
調査方法	さくら連絡網による調査、Webによる回答

3. 調査票の回収状況

調査票	調査対象者数（配布数）	有効回収数	有効回収率
中学2年生及び その保護者	622世帯	137件	22.0%

※京田辺市立中学校に在籍していない中学生は対象外になります。

また、さくら連絡網に登録していない世帯及び複数人登録している世帯（父親、母親ともに登録しているなど）がいるため、調査対象世帯と調査数が一致しません。

4. 留意点

分析結果をみる際の留意点は以下のとおりとなっています。

- ① 「n」は「number」の略で、比率算出の母数です。
- ② 単数回答の場合、本文及び図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合があります。
- ③ 複数回答の場合、図中にMA（Multiple Answer=いくつでも）、3LA（3 Limited Answer=3つまで）と記載しています。また、不明（無回答）はグラフ・表から除いている場合があります。
- ④ 表内において、全体・属性ごとに最も高い項目を紺色、2番目に高い項目を水色としています。また、全体と比べて10ポイント以上高い場合には△、10ポイント以上低い場合には▼の記号をつけています。
- ⑤ 令和6（2024）年度2月における小学校9校区の中学生の人数は、以下のとおりです。

小学校区	人数
大住小学校	39人
田辺小学校	118人
草内小学校	70人
三山木小学校	161人
普賢寺小学校	8人
田辺東小学校	24人
松井ヶ丘小学校	150人
薪小学校	97人
桃園小学校	106人

- ⑥ 回答世帯に父子家庭はありませんでした。

5. 調査の制度

- ① 今回の調査における回収数は137世帯のため、標本誤差は7.4%になります。
- ② これは一般的に統計的に有意であるとされる標本誤差(+3.0%～5.0%)の範囲に収まっておらず、中学2年生及びその保護者全体の意見を推定するために必要な精度を満たしていません。
- ③ 母子家庭及び生活困難世帯は回答数が少ないため、信用性が担保されていません。

II 中学生

1. 基本属性

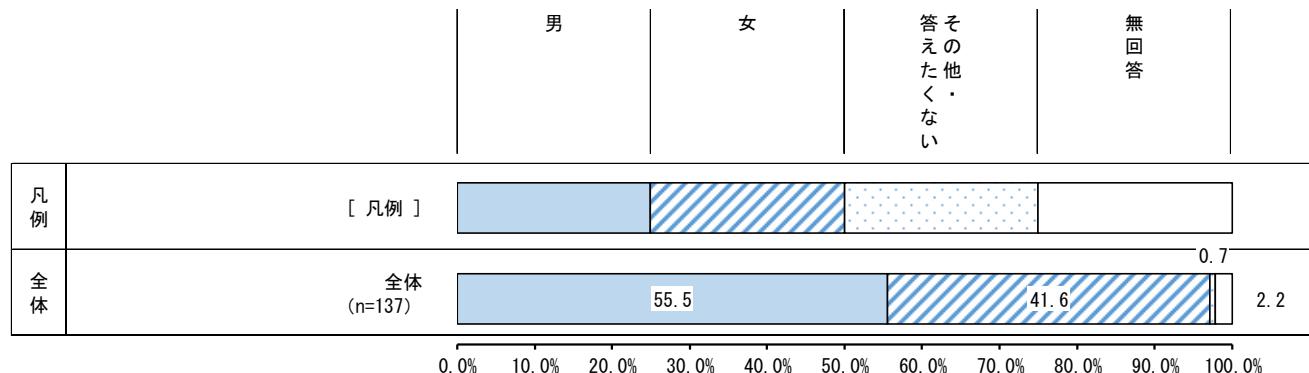
(1) 性別

問1 あなたの性別を教えてください。

【全体】

- 性別について、「男」が 55.5%で最も多く、次いで「女」が 41.6%、「その他・答えたくない」が 0.7%となっています。

【性別】



2. 学習状況

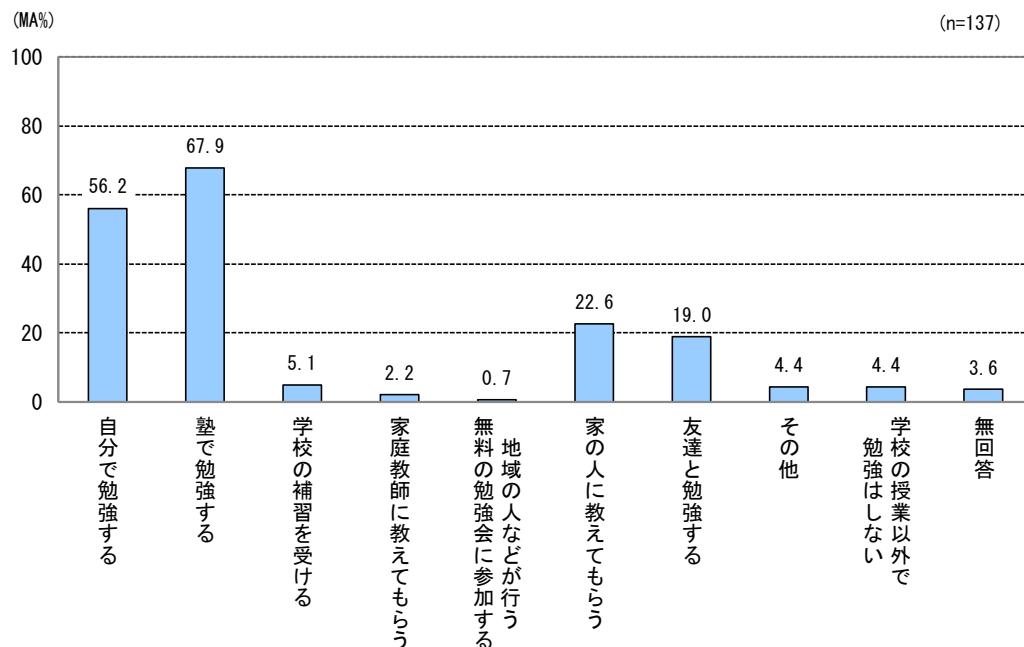
(1) ふだんの勉強の仕方

問2 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。(MA)

【全体】

- 学校の授業以外での勉強方法について、「塾で勉強する」が 67.9%で最も多く、次いで「自分で勉強する」が 56.2%、「家の人々に教えてもらう」が 22.6%となっています。

【学校の授業以外での勉強方法 (MA)】



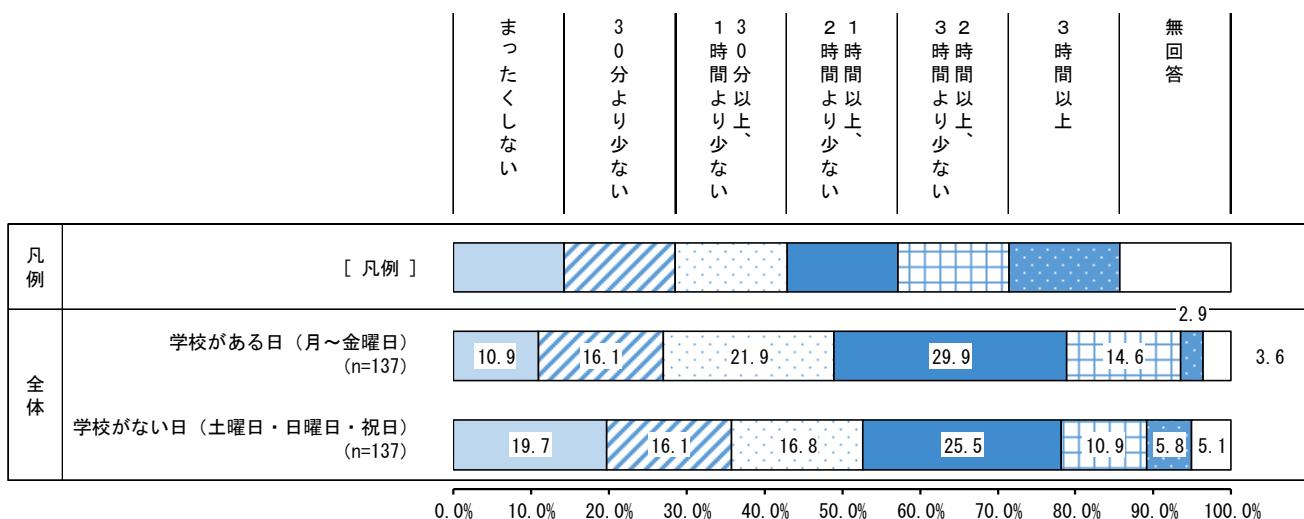
(2) 1日あたりの勉強時間

問3 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。

【全体】

- 1日あたりの勉強時間について、「まったくしない」「30分より少ない」を合わせた「30分より少ない人」は学校がない日（土曜日・日曜日・祝日）が 35.8%と、学校がある日（月曜日～金曜日）の 27.0%より 8.8 ポイント多くなっていることから、学校がある日（月曜日～金曜日）より学校がない日（土曜日・日曜日・祝日）のほうが、勉強時間が少ないと考えられます。

【1日あたりの勉強時間】



(3) 学校がある日の勉強時間

問3a 学校がある日（月曜日～金曜日）の1日あたりの勉強時間をお答えください。

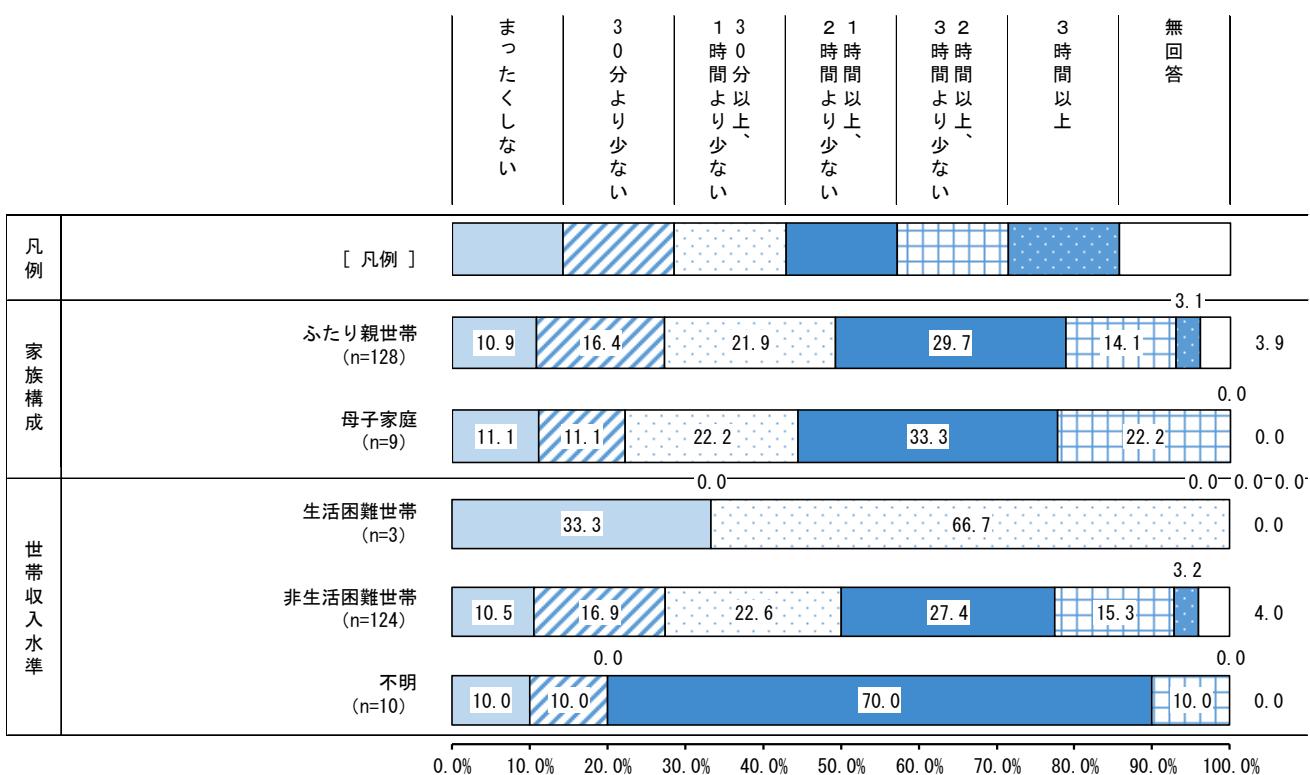
【家族構成】

- 学校がある日（月曜日～金曜日）の勉強時間について、「まったくしない」「30分より少ない」「30分以上、1時間より少ない」を合わせた“1時間未満の人”はふたり親世帯が49.2%、母子家庭が44.4%となっています。

【世帯収入水準】

- “1時間未満の人”は非生活困難世帯が50.0%となっているのに対し、生活困難世帯は100.0%と多くなっています。

【学校がある日（月曜日～金曜日）の勉強時間】



(4) 学校がない日の勉強時間

問3b 学校がない日（土曜日・日曜日・祝日）の1日あたりの勉強時間をお答えください。

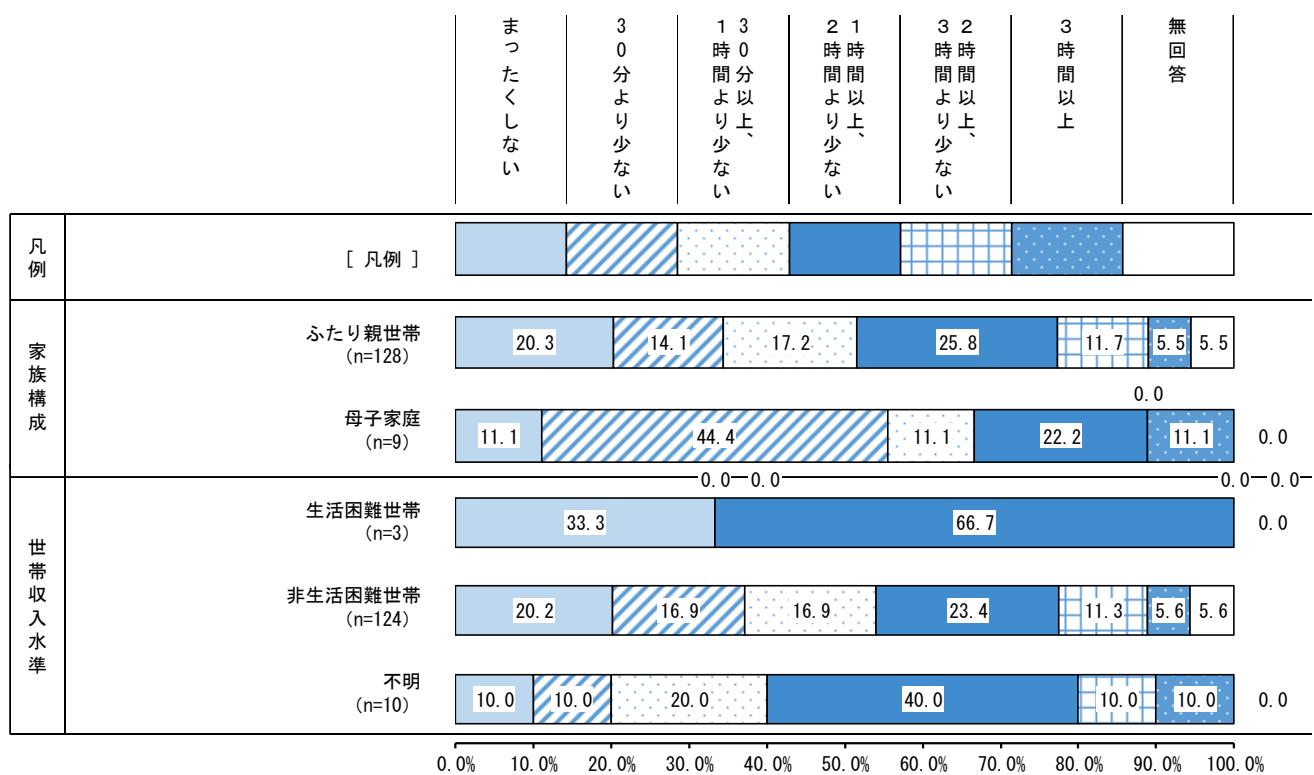
【家族構成】

- 学校がない日（土曜日・日曜日・祝日）の勉強時間について、「まったくしない」「30分より少ない」「30分以上、1時間より少ない」を合わせた“1時間未満の人”はふたり親世帯が51.6%となっているのに対し、母子家庭は66.6%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- “1時間未満の人”は非生活困難世帯が54.0%となっているのに対し、生活困難世帯は33.3%と少なくなっています。

【学校がない日（土曜日・日曜日・祝日）の勉強時間】



(5) クラスの中での成績

問4 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。

【全体】

- クラスの中で成績がどのくらいだと思うかについて、「まん中あたり」が 27.0%で最も多く、次いで「やや上のほう」が 21.2%、「やや下のほう」が 19.7%となっています。
- 「上のほう」「やや上のほう」を合わせた“上と感じている人”は 25.6%となっています。
- 「やや下のほう」「下のほう」を合わせた“下と感じている人”は 35.8%となっています。

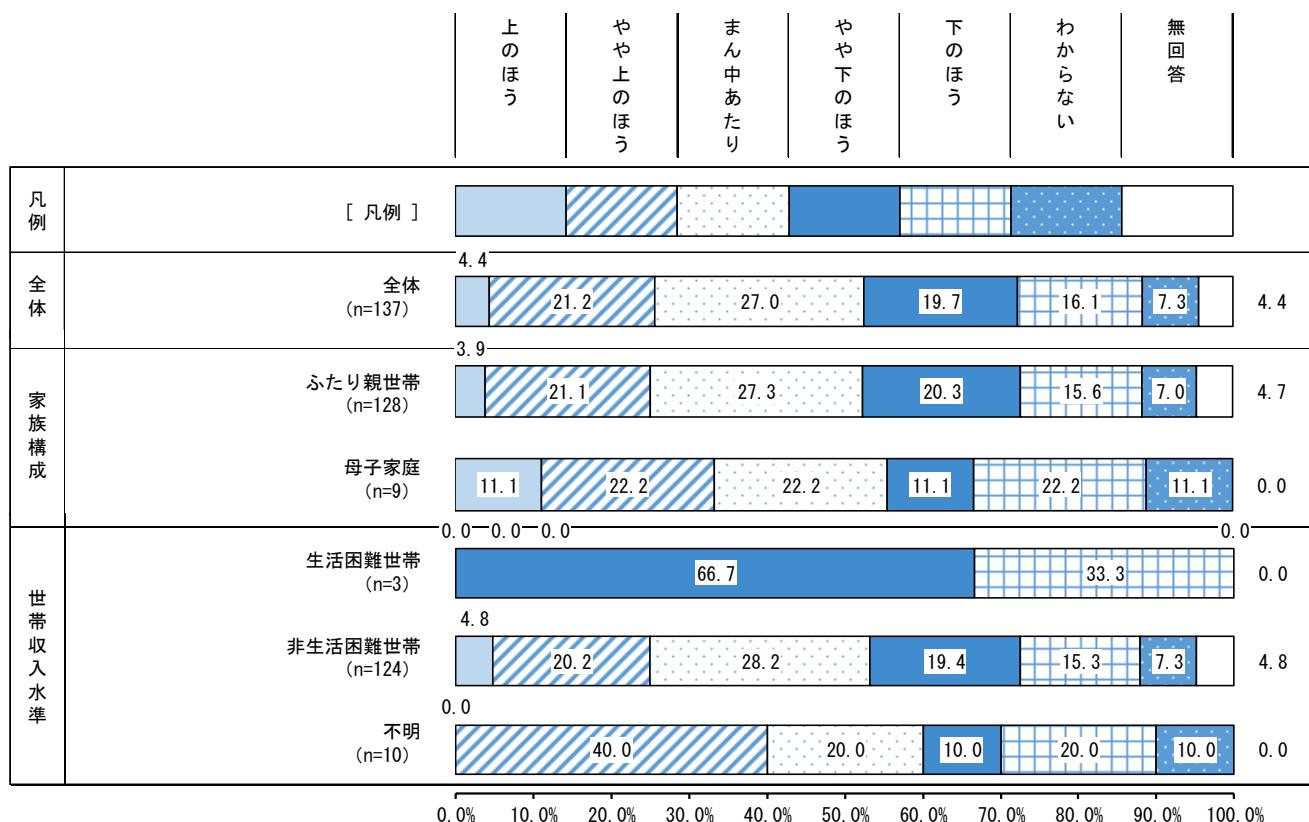
【家族構成】

- “上と感じている人”はふたり親世帯が 25.0%となっているのに対し、母子家庭は 33.3%と多くなっています。
- “下と感じている人”はふたり親世帯が 35.9%、母子家庭が 33.3%となっています。

【世帯収入水準】

- “上と感じている人”は生活困難世帯が 0.0%となっているのに対し、非生活困難世帯は 25.0%と多くなっています。
- “下と感じている人”は非生活困難世帯が 34.7%となっているのに対し、生活困難世帯は 100.0%と多くなっています。

【クラスの中で成績がどのくらいだと思うか】



(6) 授業の理解状況

問5 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。

【全体】

- 学校の授業がわからないことがあるかについて、「教科によってはわからないことがある」が47.4%で最も多く、次いで「だいたいわかる」が35.8%、「いつもわかる」が6.6%となっています。
- 「いつもわかる」「だいたいわかる」を合わせた“わかる人”は42.4%となっています。

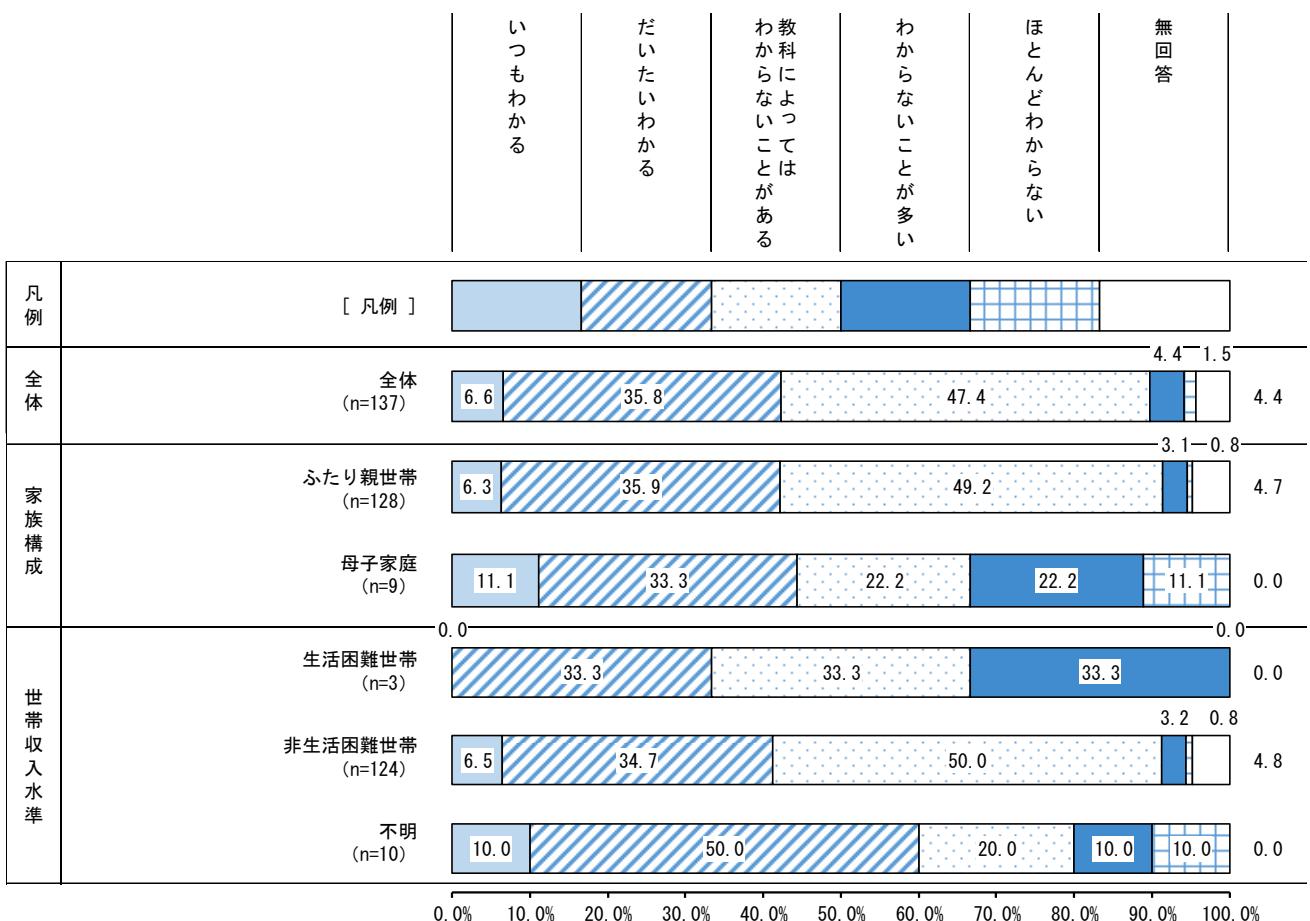
【家族構成】

- “わかる人”は母子家庭が44.4%、ふたり親世帯が42.2%となっています。

【世帯収入水準】

- “わかる人”は生活困難世帯が33.3%となっているのに対し、非生活困難世帯は41.2%と多くなっています。

【学校の授業がわからないことがあるか】



(7) 授業がわからなくなつた時期

問6 いつ頃から、授業がわからないことがあるようになりましたか。(前の質問で「3. 教科によつてはわからないことがある」「4. わからないことが多い」「5. ほとんどわからない」を選んだ人)

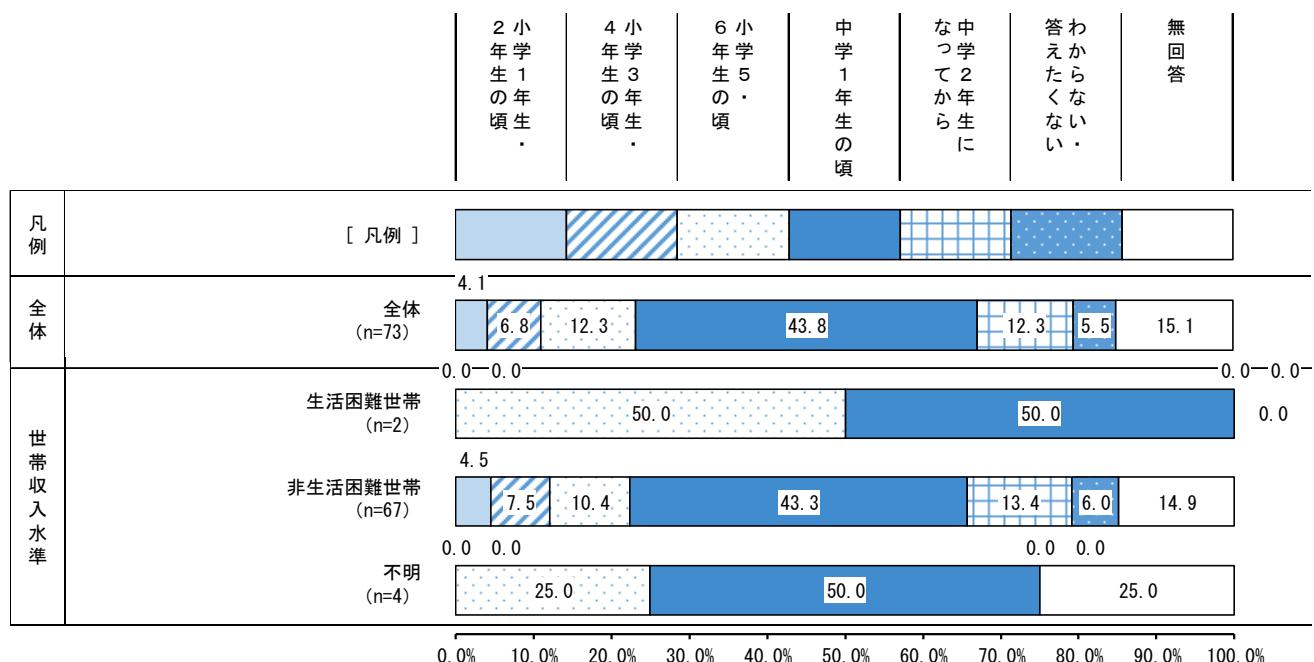
【全体】

- 授業がわからないことがあるようになった時期について、「中学1年生の頃」が43.8%で最も多く、次いで「小学5年生・6年生の頃」「中学2年生になってから」が12.3%、「小学3年生・4年生の頃」が6.8%となっています。

【世帯収入水準】

- 「小学1年生・2年生の頃」は非生活困難世帯が4.5%、生活困難世帯は0.0%となっています。
- 「小学1年生・2年生の頃」「小学3年生・4年生の頃」を合わせた「小学1年生～4年生でわからなくなつた人」は生活困難世帯が0.0%となっているのに対し、非生活困難世帯は12.0%と多くなっています。
- 「小学1年生・2年生の頃」「小学3年生・4年生の頃」「小学5年生・小学6年生の頃」を合わせた「小学1年生～6年生でわからなくなつた人」は非生活困難世帯が22.4%となっているのに対し、生活困難世帯は50.0%と多くなっています。
- 「小学1年生・2年生の頃」「小学3年生・4年生の頃」「小学5年生・小学6年生の頃」「中学1年生の頃」を合わせた「小学1年生～中学1年生でわからなくなつた人」は非生活困難世帯が65.7%となっているのに対し、生活困難世帯は100.0%と多くなっています。
- 「小学1年生・2年生の頃」「小学3年生・4年生の頃」「小学5年生・小学6年生の頃」「中学1年生の頃」「中学2年生になってから」を合わせた「小学1年生～中学2年生でわからなくなつた人」は非生活困難世帯が79.1%となっているのに対し、生活困難世帯は100.0%と多くなっています。

【授業がわからないことがあるようになった時期】



3. 進学希望

(1) 進学したいと思う教育段階

問7 あなたは、将来、どの学校に進学したいですか。

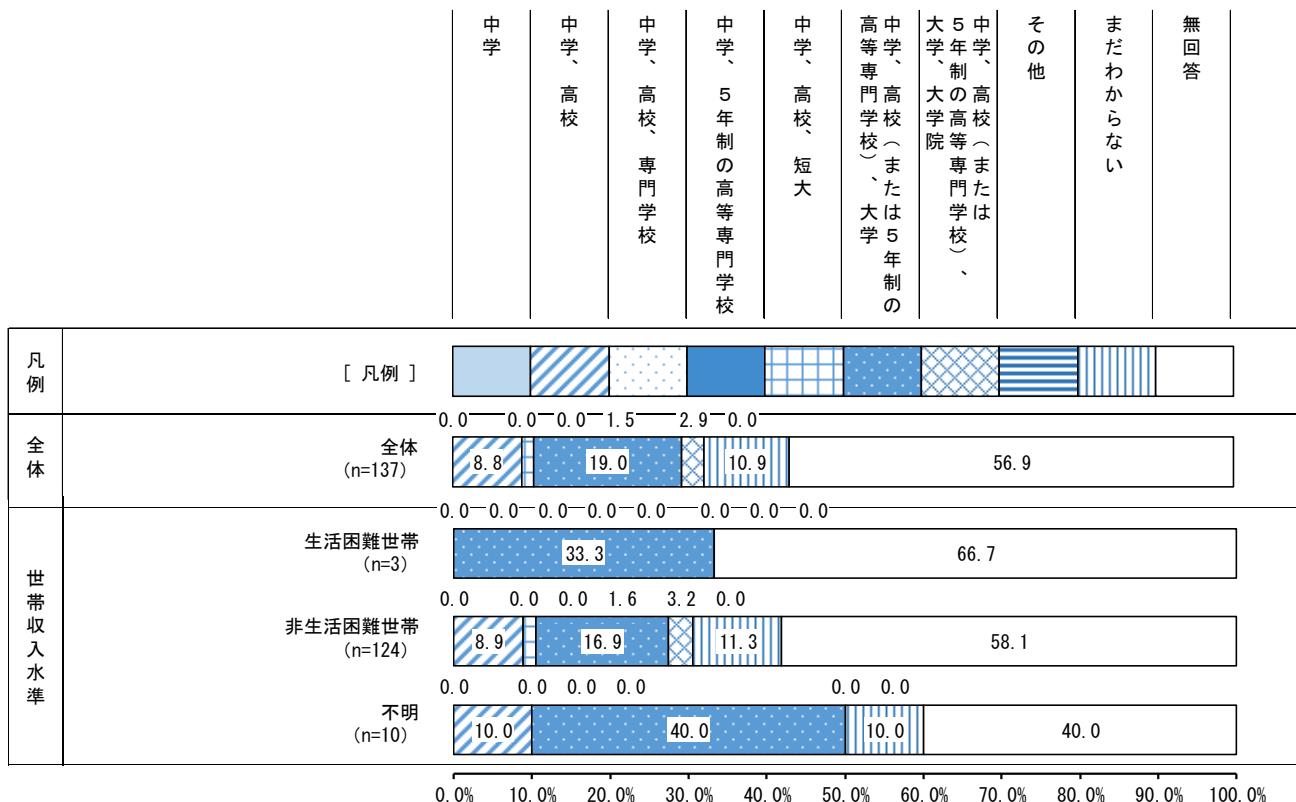
【全体】

- 希望する進学先について、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」が 19.0%で最も多く、次いで「まだわからない」が 10.9%、「中学、高校」が 8.8%となっています。
- 「中学、高校、専門学校」「中学、5年生の高等専門学校」「中学、高校、短大」「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院」を合わせた“高校卒業以降も進学したい人”は 23.4%となっています。

【世帯収入水準】

- “高校卒業以降も進学したい人”は非生活困難世帯が 21.7%なっているのに対し、生活困難世帯は 33.3%と多くなっています。

【希望する進学先】

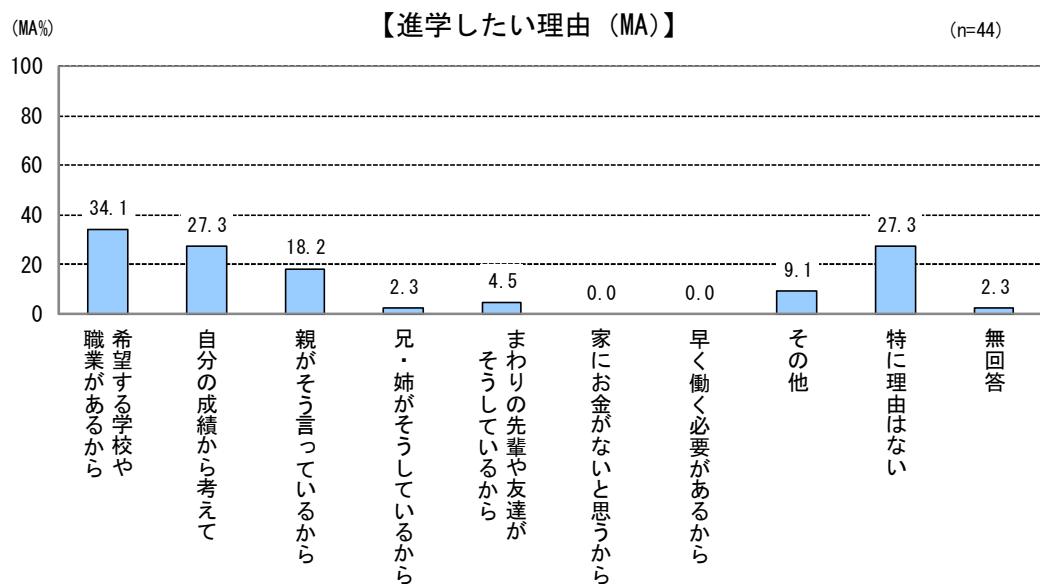


(2) 進学希望の教育段階についてそう考える理由

問8 その理由をお答えください。(MA) (前の質問で「9. まだわからない」以外を選んだ人)

【全体】

- 進学したい理由について、「希望する学校や職業があるから」が 34.1%で最も多く、次いで「自分の成績から考えて」「特に理由はない」が 27.3%、「親がそう言っているから」が 18.2%となって います。



4. 部活動等への参加状況

(1) 部活動等への参加状況

問9 あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。

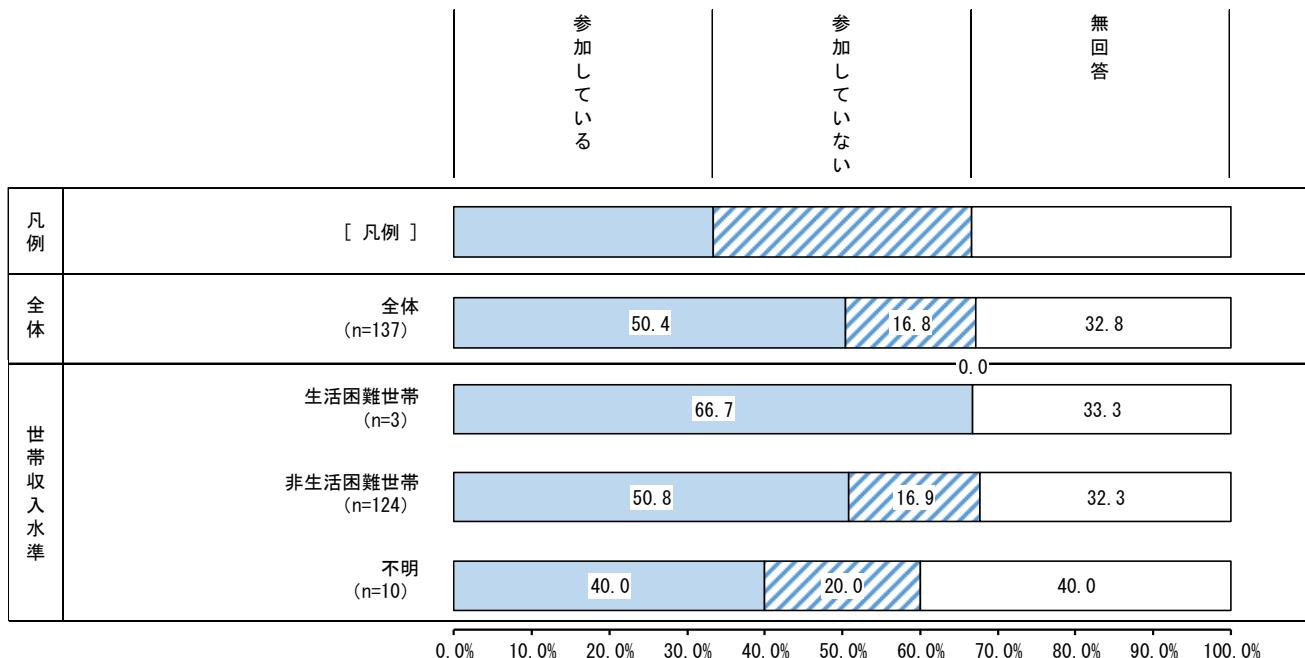
【全体】

- 地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加しているかについて、「参加している」が 50.4%、「参加していない」が 16.8%となっています。

【世帯収入水準】

- 「参加している」は非生活困難世帯が 50.8%となっているのに対し、生活困難世帯は 66.7%と多くなっています。

【地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加しているか】



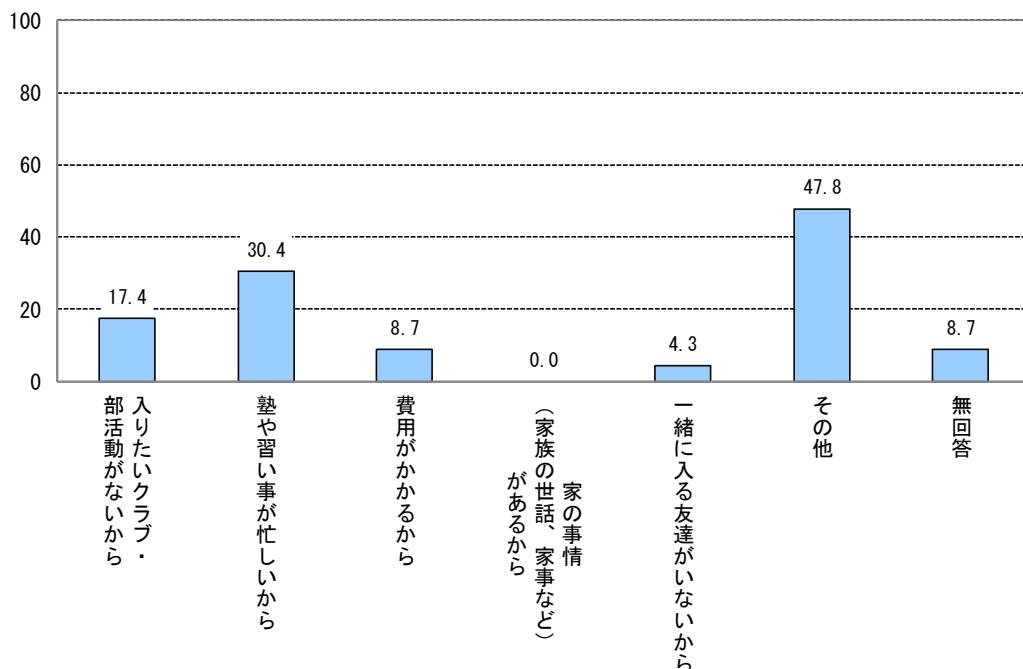
(2) 部活動等に参加していない理由

問10 参加していない理由は何ですか。 (MA)

【全体】

- 参加していない理由について、「その他」が 47.8%で最も多く、次いで「塾や習い事が忙しいから」が 30.4%、「入りたいクラブ・部活動がないから」が 17.4%となっています。

(MA%) 【参加していない理由 (MA)】 (n=23)



5. 日常的な生活の状況

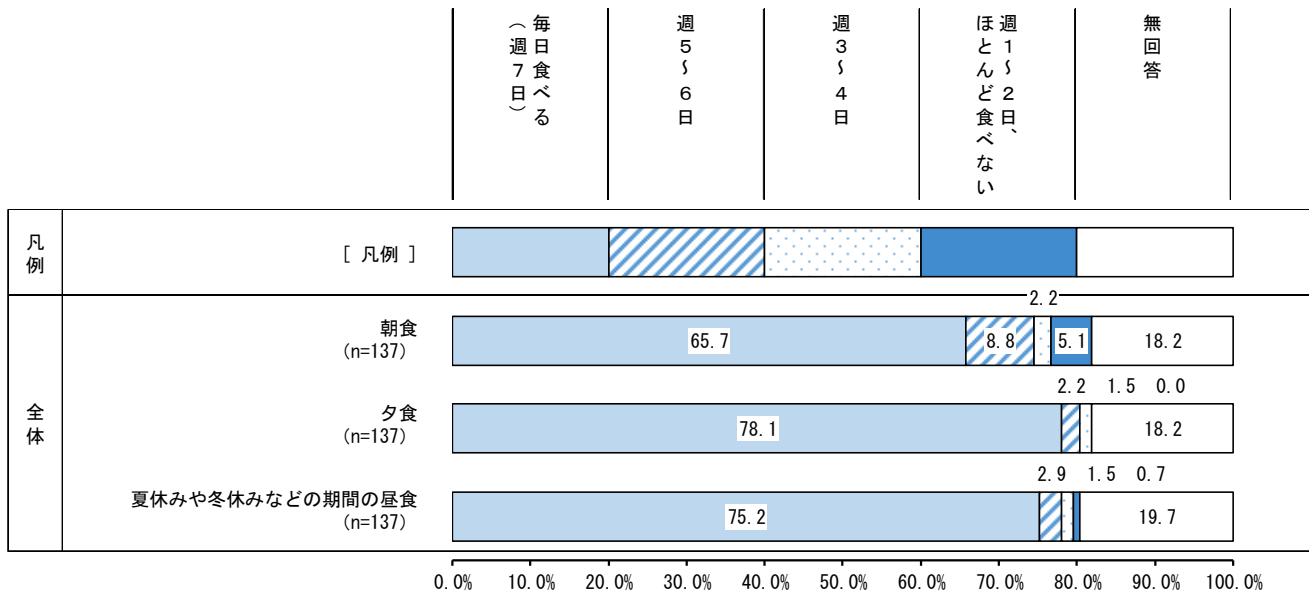
(1) 食事の状況

問11 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。

【全体】

- 食事の頻度について、「毎日食べる（週7日）」は夕食が78.1%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「週1～2日、ほとんど食べない」は朝食が5.1%と他の区分に比べて多くなっています。

【食事の頻度】



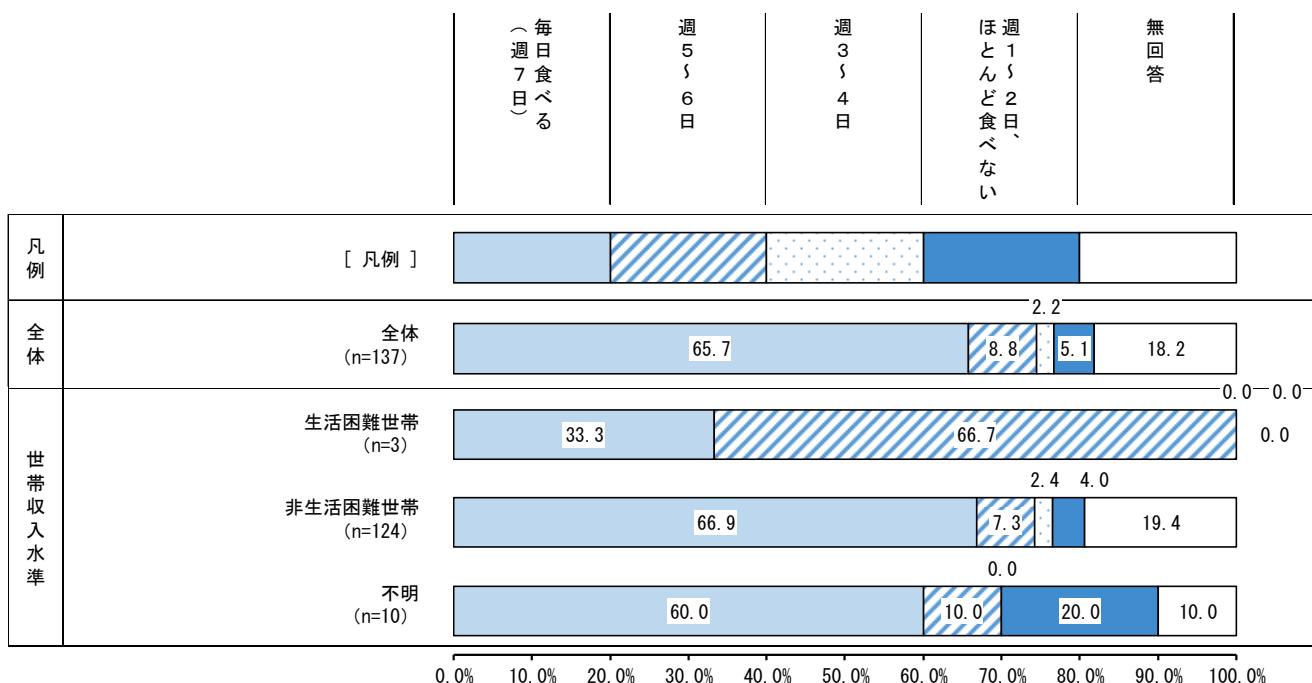
(2) 朝食の状況

問11a あなたは週にどのくらい朝食を摂りますか。

【世帯収入水準】

- 朝食について、「毎日食べる（週7日）」は生活困難世帯が33.3%となっているのに対し、非生活困難世帯は66.9%と多くなっています。

【朝食】



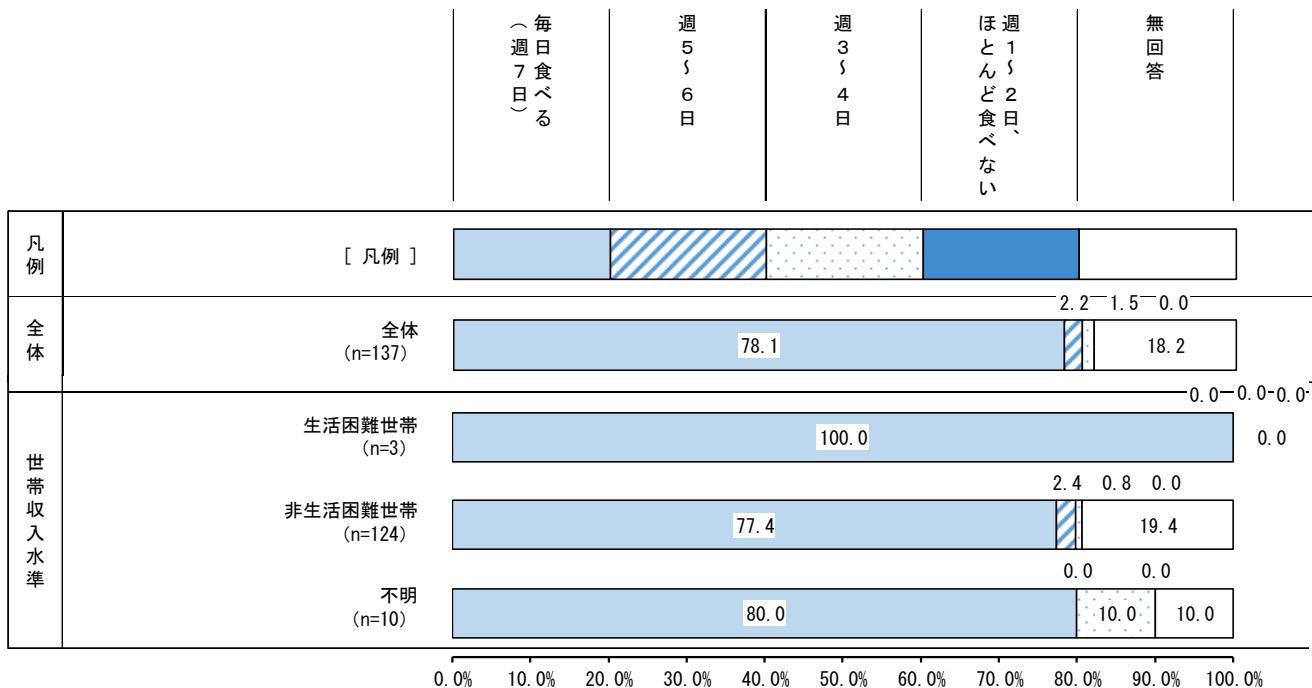
(3) 夕食の状況

問11b あなたは週にどのくらい夕食を摂りますか。

【世帯収入水準】

- 夕食について、「毎日食べる（週7日）」は非生活困難世帯が77.4%となっているのに対し、生活困難世帯は100.0%と多くなっています。

【夕食】



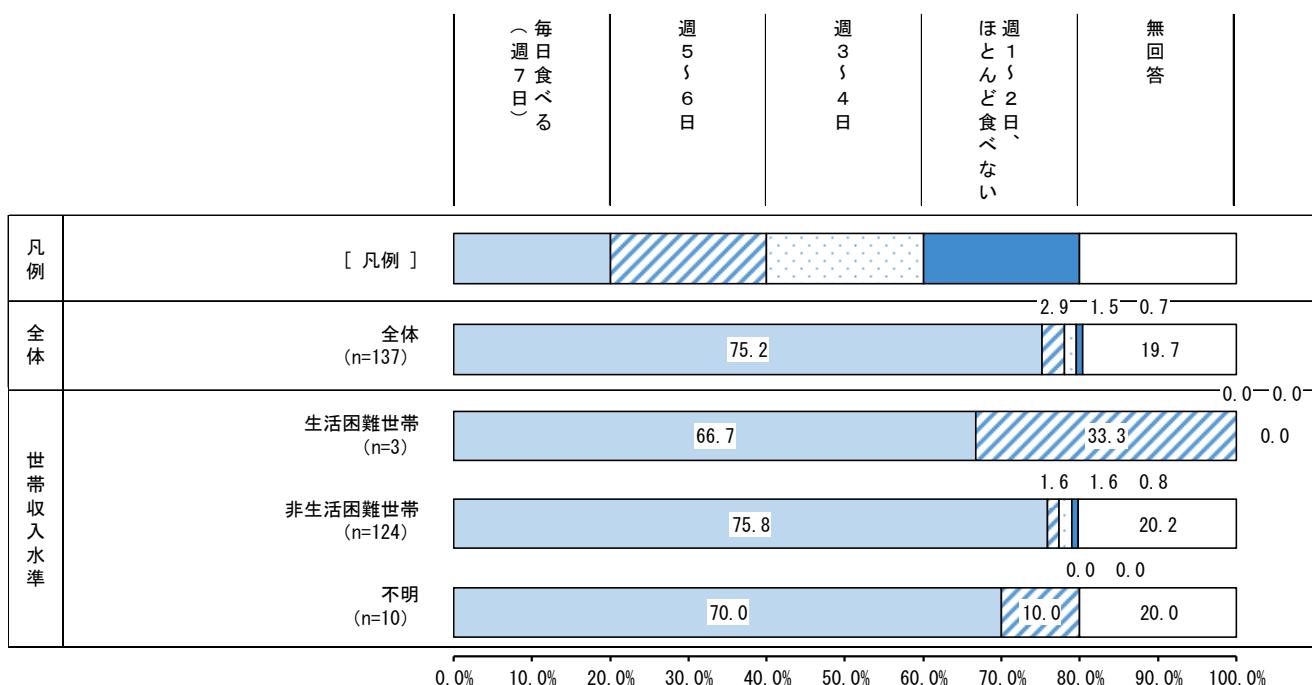
(4) 夏休みや冬休みなどの期間の昼食の状況

問11c あなたは週にどのくらい夏休みや冬休みなどの期間の昼食を摂りますか。

【世帯収入水準】

- 夏休みや冬休みなどの期間の昼食について、「毎日食べる（週7日）」は生活困難世帯が66.7%となっているのに対し、非生活困難世帯は75.8%と他の区分に比べて多くなっています。

【夏休みや冬休みなどの期間の昼食】



(5) 就寝時間

問15 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時間に寝ていますか。

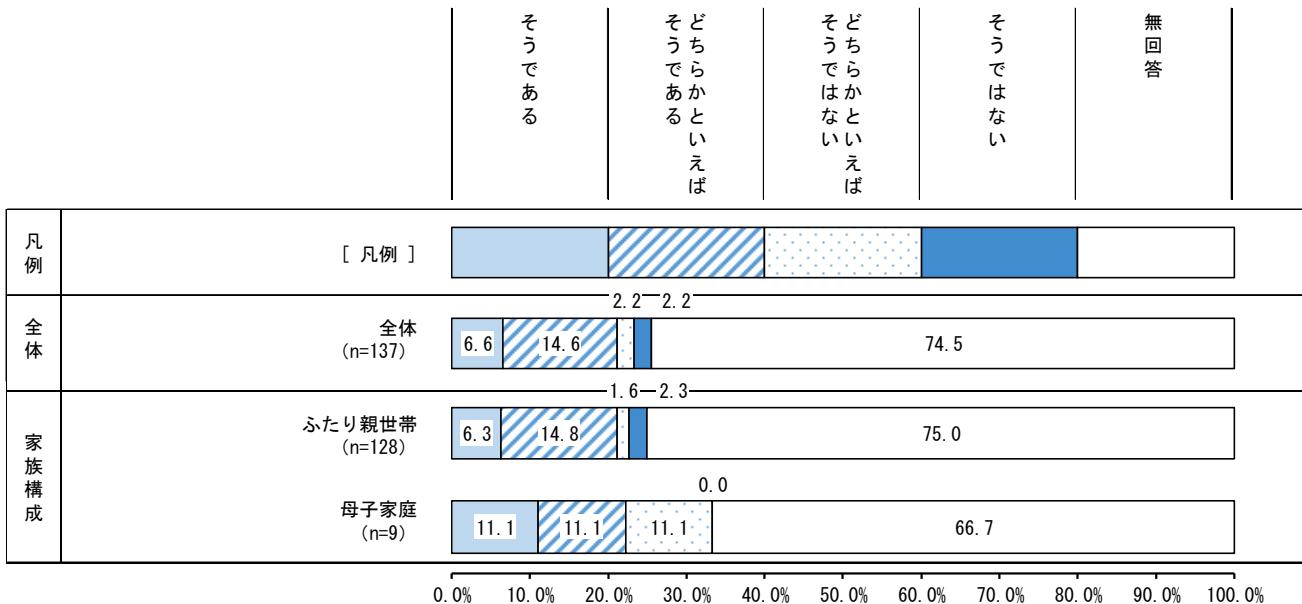
【全体】

- ふだん（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時間に寝ているかについて、「どちらかといえばそうである」が 14.6%で最も多く、次いで「そうである」が 6.6%、「どちらかといえばそうではない」「そうではない」が 2.2%となっています。
- 「そうである」「どちらかといえばそうである」を合わせた“そうである人”は 21.2%となっています。

【家族構成】

- “そうである人”は母子家庭が 22.2%、ふたり親世帯が 21.1%となっています。

【ふだん（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時間に寝ているか】



6. 心身の健康状態

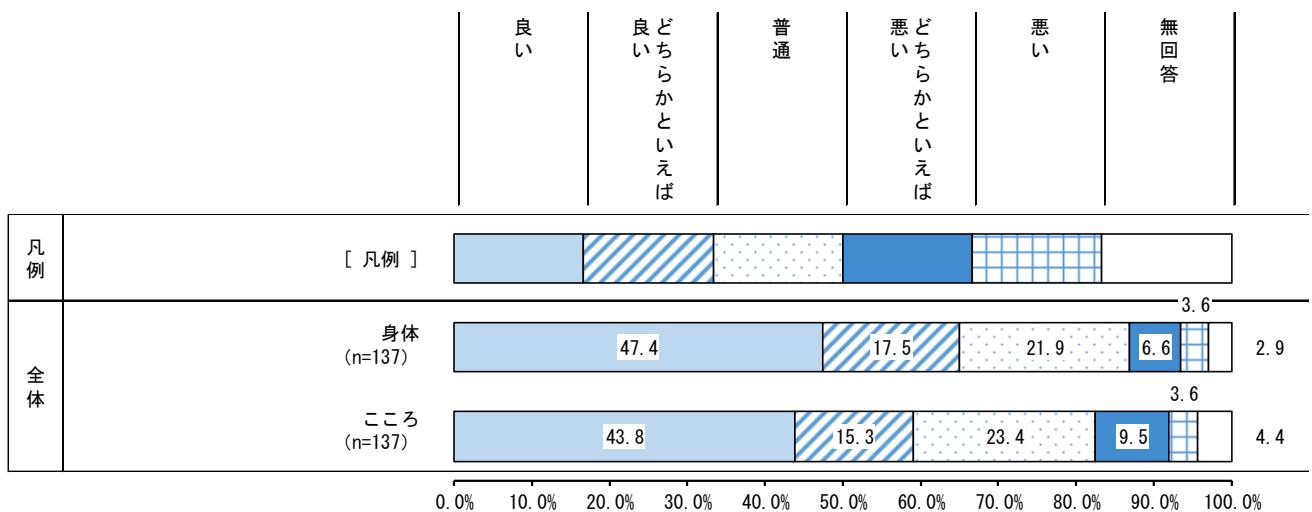
(1) 心身の健康状態

問12 あなたの最近の体調を教えてください。

【全体】

- 健康状態について、「良い」「どちらかといえば良い」を合わせた“良い人”はこころが 59.1%となっているのに対し、身体は 64.9%と多くなっています。
- 「どちらかといえば悪い」「悪い」を合わせた“悪い人”はこころが 13.1%、身体が 10.2%となっています。

【健康状態】



(2) 身体の調子

問12① あなたの最近の身体の調子を教えてください。

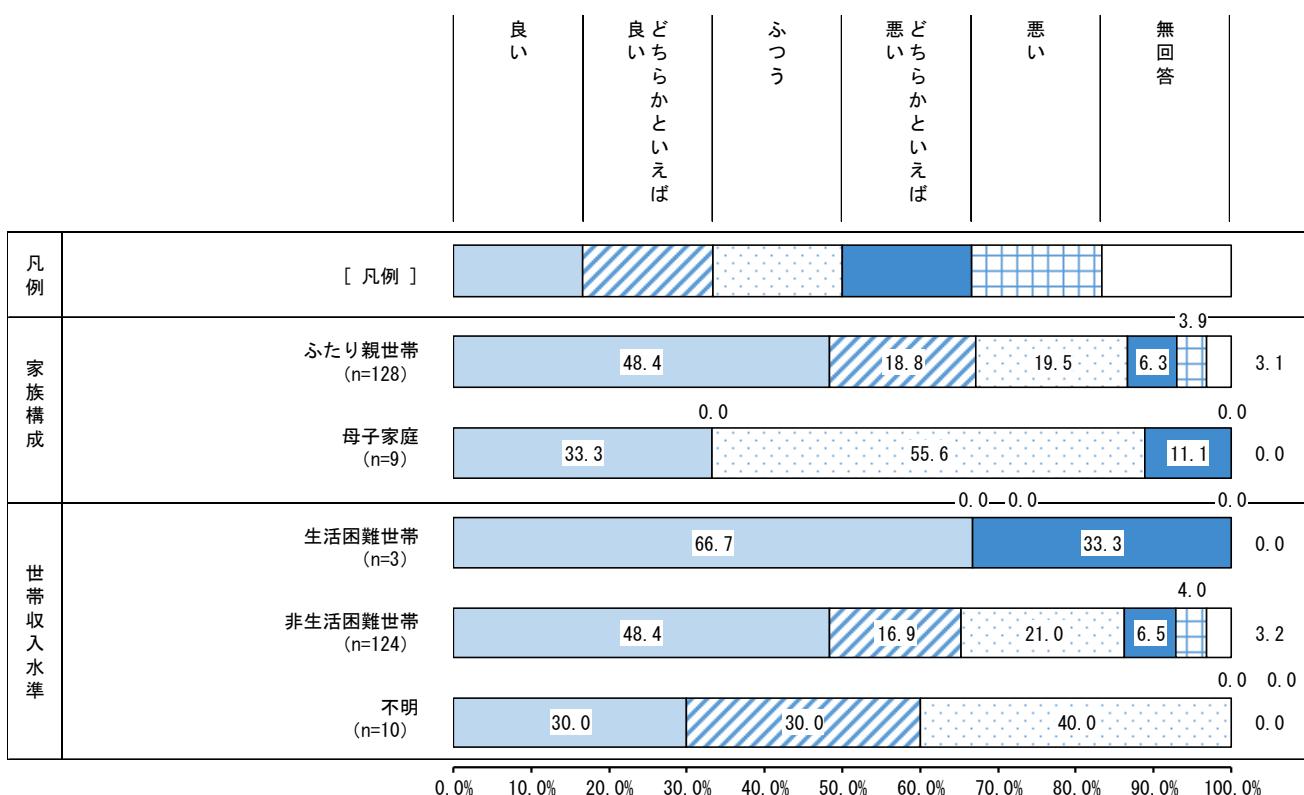
【家族構成】

- 身体の調子について、「良い」「どちらかといえば良い」を合わせた“良い人”は母子家庭が 33.3% となっているのに対し、ふたり親世帯は 67.2% と多くなっています。
- 「どちらかといえば悪い」「悪い」を合わせた“悪い人”は母子家庭が 11.1%、ふたり親世帯が 10.2% となっています。

【世帯収入水準】

- “良い人”は生活困難世帯が 66.7%、非生活困難世帯が 65.3% となっています。
- “悪い人”は生活困難世帯が 33.3%、非生活困難世帯が 10.5% となっています。

【身体の調子】



(3) こころの調子

問12② あなたの最近のこころの調子を教えてください。

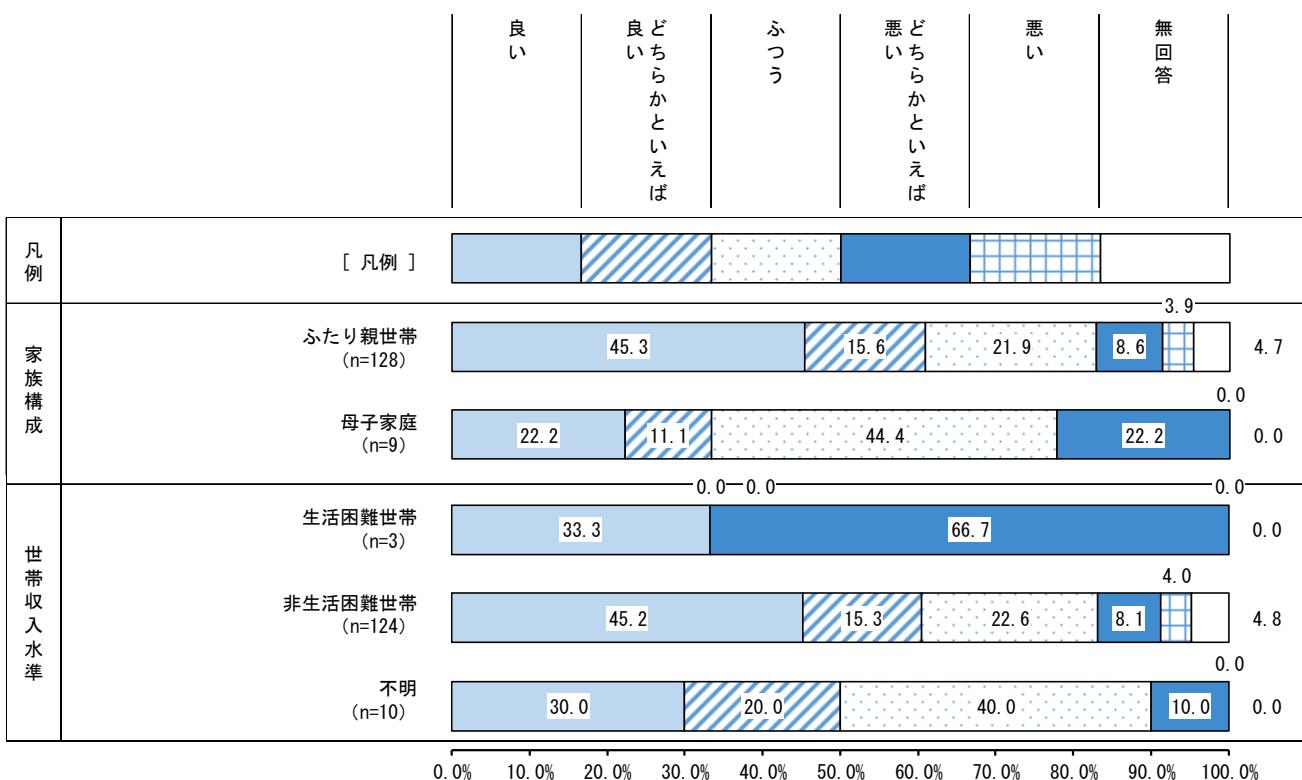
【家族構成】

- こころの調子について、「良い」「どちらかといえば良い」を合わせた“良い人”は母子家庭が33.3%となっているのに対し、ふたり親世帯は60.9%と多くなっています。
- 「どちらかといえば悪い」「悪い」を合わせた“悪い人”はふたり親世帯が12.5%となっているのに対し、母子家庭は22.2%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- “良い人”は生活困難世帯が33.3%となっているのに対し、非生活困難世帯は60.5%と多くなっています。
- “悪い人”は生活困難世帯が66.7%、非生活困難世帯が12.1%となっています。

【こころの調子】



7. 每月のおこづかい

(1) 每月のおこづかいの金額

問13 あなたは、毎月、いくらおこづかいをもらっていますか。ときどきもらう場合は、1か月の金額を選んでください。ただし、お年玉はのぞきます。

【全体】

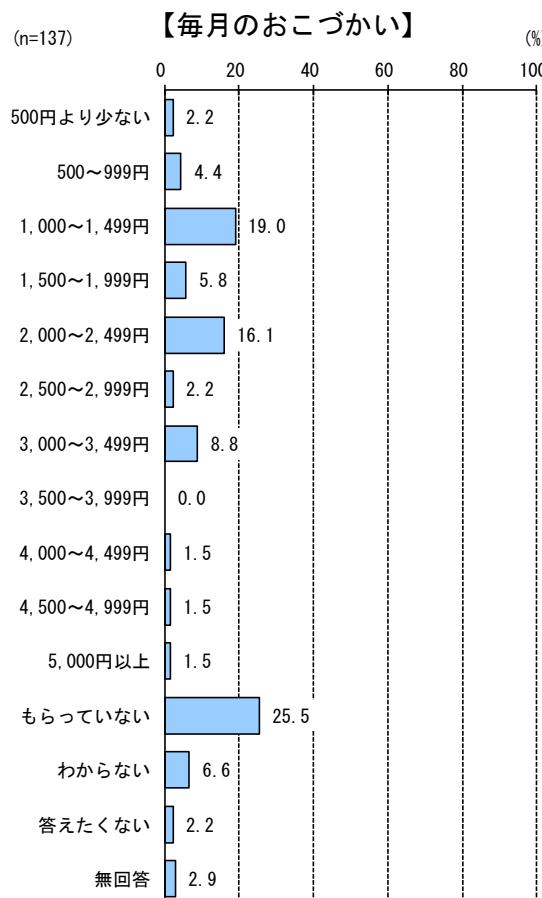
- 毎月のおこづかいについて、「もらっていない」が 25.5%で最も多く、次いで「1,000~1,499 円」が 19.0%、「2,000~2,499 円」が 16.1%となっています。

【家族構成】

- 「もらっていない」はふたり親世帯が 25.0%となっているのに対し、母子家庭は 33.3%となってています。

【世帯収入水準】

- 「もらっていない」は生活困難世帯が 0.0%となっているのに対し、非生活困難世帯は 24.2%と多くなっています。



単位 : %

	母数 (n)	毎月のおこづかい							
		500円より 少ない	500~ 999円	1,000~ 1,499円	1,500~ 1,999円	2,000~ 2,499円	2,500~ 2,999円	3,000~ 3,499円	3,500~ 3,999円
全体 (n=137)	137	2.2	4.4	19.0	5.8	16.1	2.2	8.8	-
家 族 構 成	ふたり親世帯 (n=128)	2.3	4.7	18.8	6.3	16.4	2.3	8.6	-
	母子家庭 (n=9)	9	-	-	22.2	-	11.1	-	11.1
	父子家庭 (n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他世帯 (n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-
入 世 水 帶 準 収	生活困難世帯 (n=3)	3	-	-	-	-	-	-	△ 33.3
	非生活困難世帯 (n=124)	124	2.4	4.8	19.4	5.6	17.7	2.4	8.9
	不明 (n=10)	10	-	-	20.0	10.0	-	-	-

単位 : %

	母数 (n)	毎月のおこづかい						
		4,000~ 4,499円	4,500~ 4,999円	5,000円 以上	もらって いない	わから ない	答えた くない	無回答
全体 (n=137)	137	1.5	1.5	1.5	25.5	6.6	2.2	2.9
家 族 構 成	ふたり親世帯 (n=128)	1.6	1.6	1.6	25.0	5.5	2.3	3.1
	母子家庭 (n=9)	9	-	-	33.3	△ 22.2	-	-
	父子家庭 (n=0)	-	-	-	-	-	-	-
	その他世帯 (n=0)	-	-	-	-	-	-	-
入 世 水 帶 準 収	生活困難世帯 (n=3)	3	-	△ 33.3	-	-	△ 33.3	-
	非生活困難世帯 (n=124)	124	0.8	0.8	1.6	24.2	5.6	2.4
	不明 (n=10)	10	10.0	-	-	△ 50.0	10.0	-

(2) おこづかいの過不足

問14 毎月のおこづかいは足りていますか。(前の質問で「12. もらっていない」以外を選んだ人)

【全体】

- 每月のおこづかいは足りているかについて、「十分足りている」が 32.7%で最も多く、次いで「やや足りない」が 18.4%、「どちらかといえば足りている」が 17.3%となっています。
- 「十分足りている」「どちらかといえば足りている」を合わせた“足りている人”は 50.0%となっています。
- 「やや足りない」「まったく足りない」を合わせた“足りない人”は 21.5%となっています。

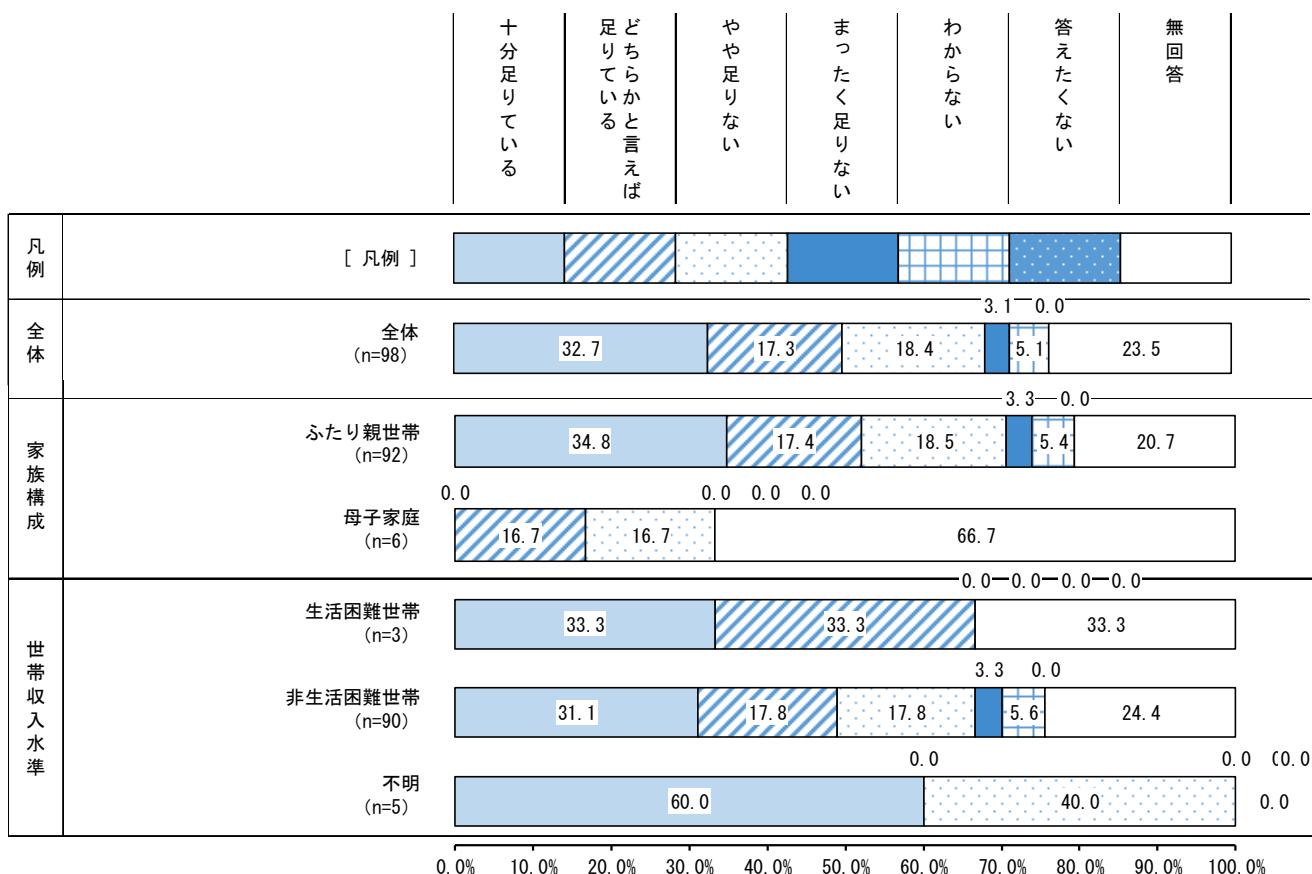
【家族構成】

- “足りている人”は母子家庭が 16.7%となっているのに対し、ふたり親世帯は 52.2%と多くなっています。
- “足りない人”は母子家庭が 16.7%となっているのに対し、ふたり親世帯は 21.8%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- “足りている人”は非生活困難世帯が 48.9%となっているのに対し、生活困難世帯は 66.6%と多くなっています。
- “足りない人”は生活困難世帯が 0.0%となっているのに対し、非生活困難世帯は 21.1%と多くなっています。

【毎月のおこづかいは足りているか】



8. 相談できると思う相手

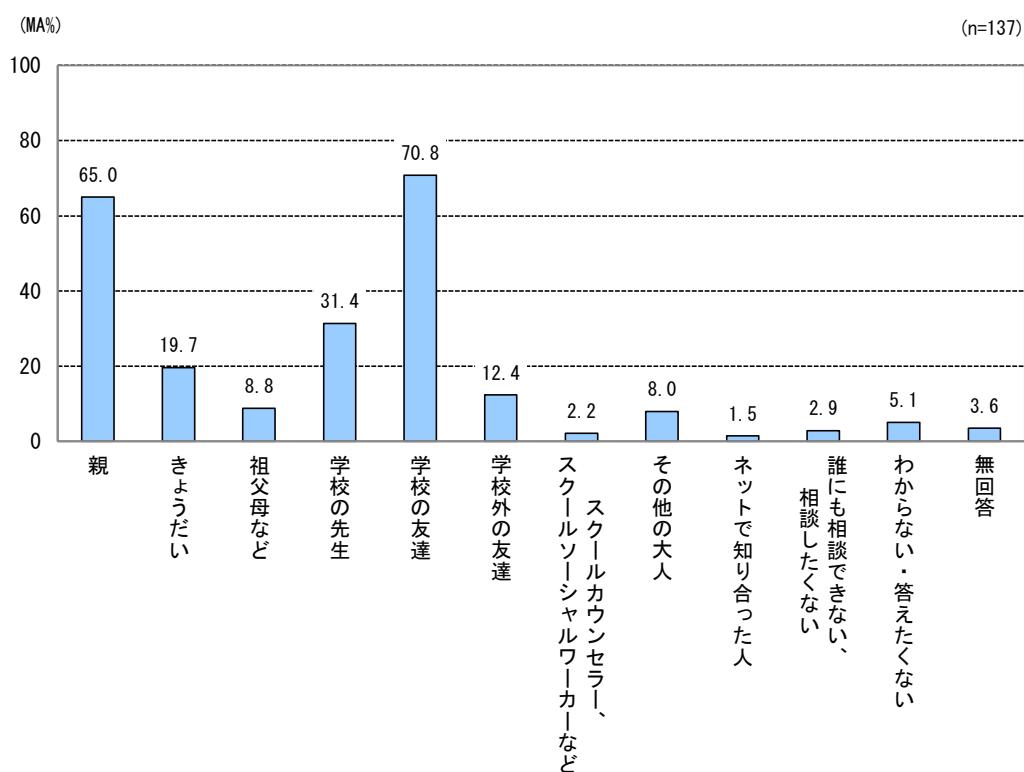
(1) 相談できると思う相手

問16 あなたは困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人は誰ですか。
(MA)

【全体】

- 困っていることや悩みごとを相談できると思う人は誰かについて、「学校の友達」が 70.8%で最も多く、次いで「親」が 65.0%、「学校の先生」が 31.4%となっています。

【困っていることや悩みごとを相談できると思う人は誰か (MA)】



9. 居場所の利用

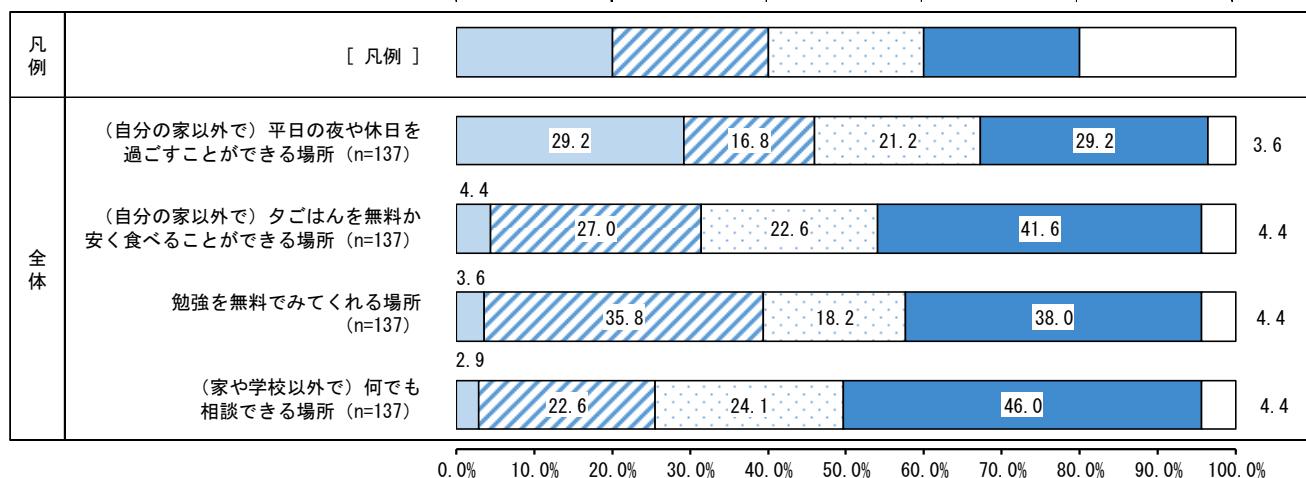
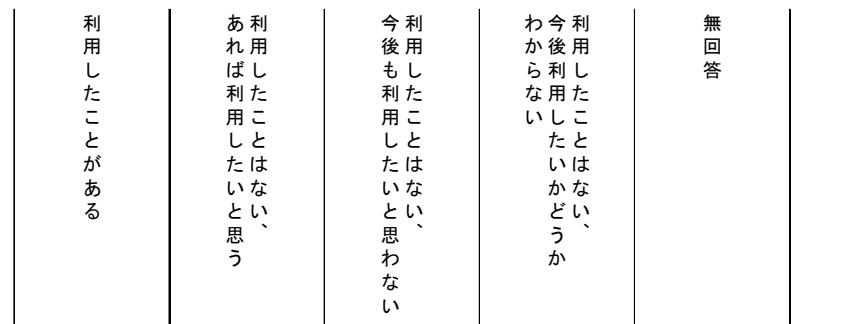
(1) 居場所の利用

問17 あなたは、次の場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。

【全体】

- 居場所について、「利用したことがある」は（自分の家以外で）平日の夜や休日を過ごすことができる場所が 29.2% と他の区分に比べて多くなっています。
- 「利用したことはない、あれば利用したいと思う」は勉強を無料でみてくれる場所が 35.8% と他の区分に比べて多くなっています。

【居場所】



(2) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所の利用

問17a (自分の家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所についてお答えください。

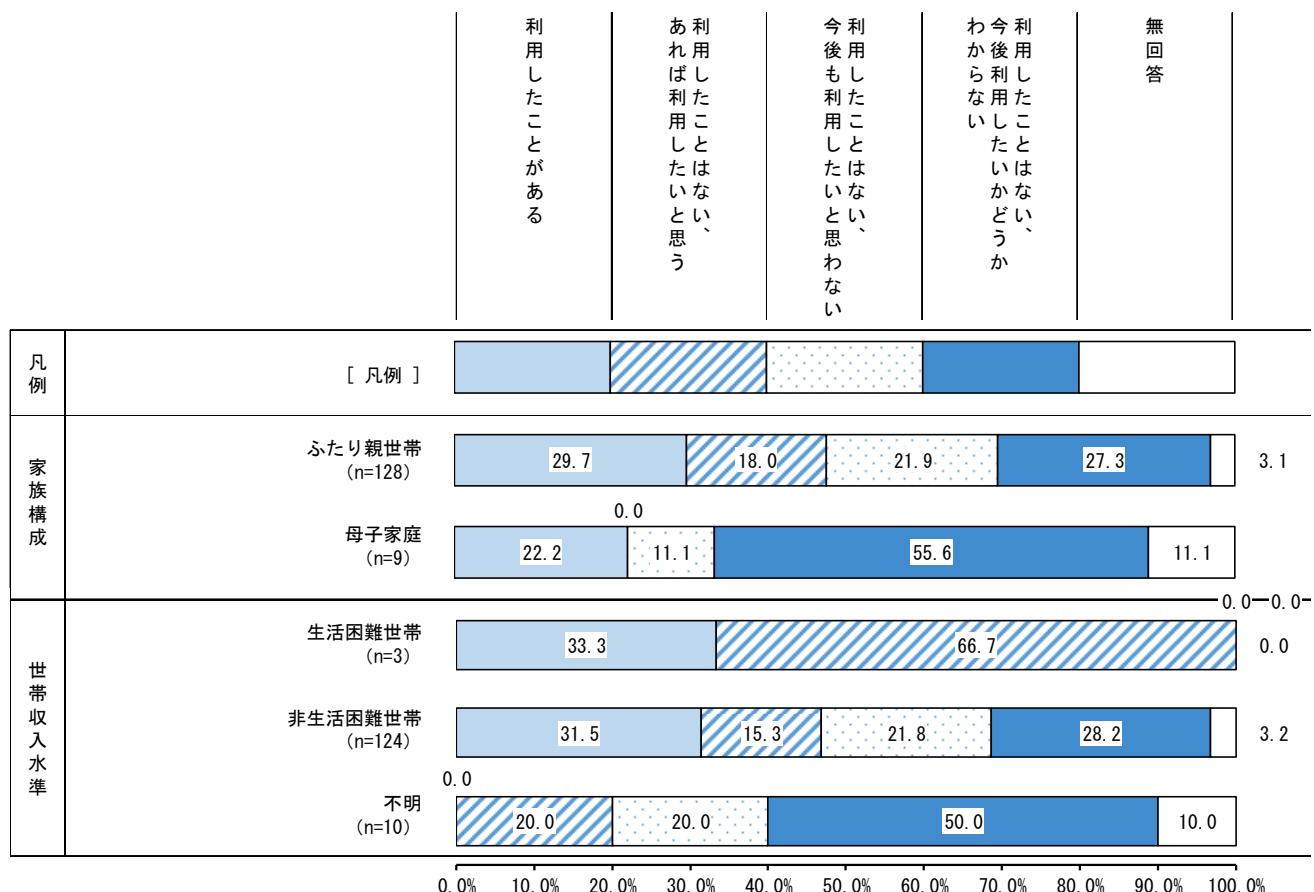
【家族構成】

- (自分の家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所について、「利用したことない、あれば利用したいと思う」は母子家庭が 0.0%となっているのに対し、ふたり親世帯は 18.0%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- 「利用したことがある」は生活困難世帯が 33.3%、非生活困難世帯は 31.5%となっています。

【(自分の家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所】



(3) タゴはんを無料か安く食べることができる場所の利用

問17b (自分の家以外で) タゴはんを無料か安く食べることができる場所についてお答えください。

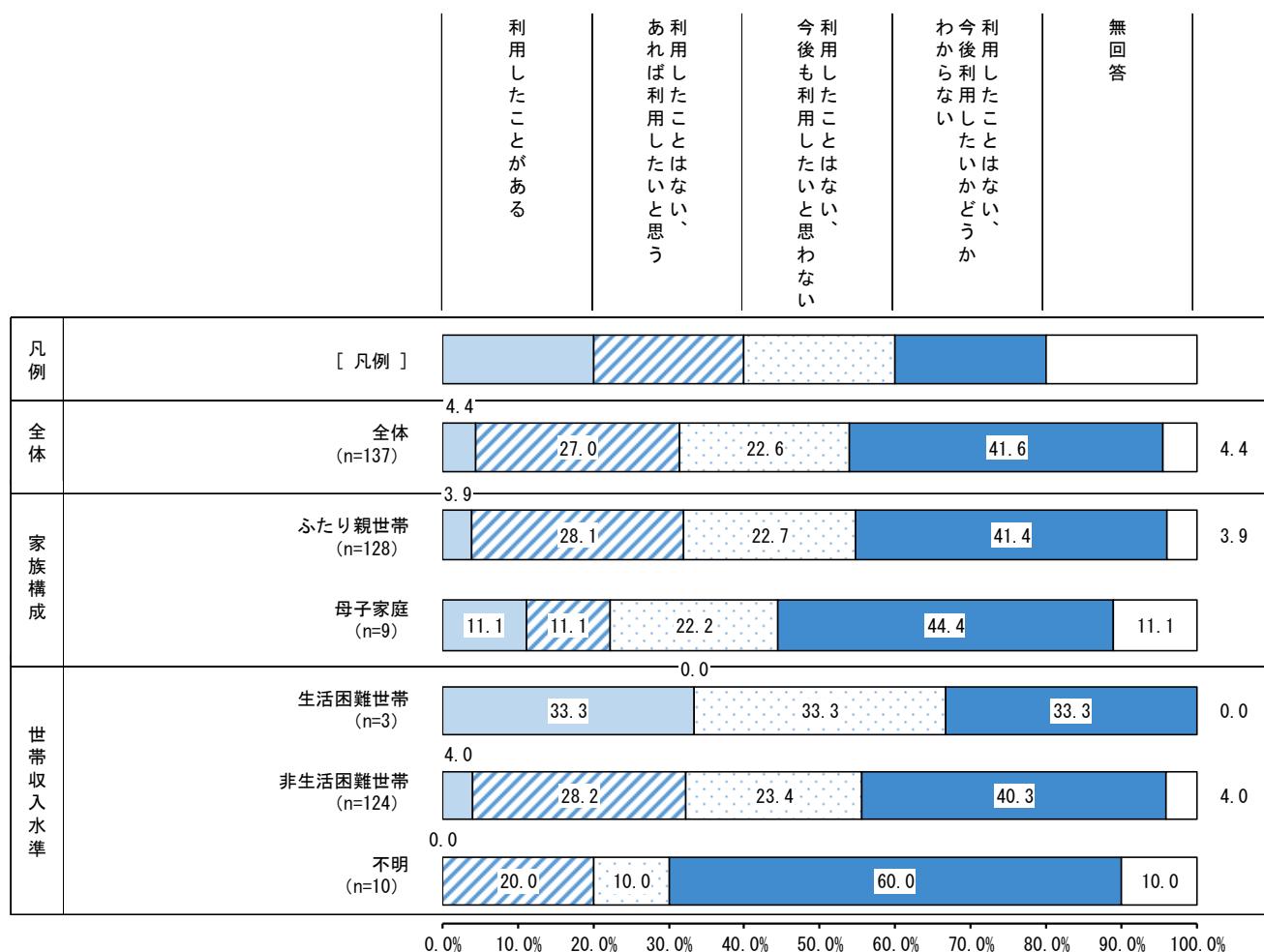
【家族構成】

- (自分の家以外で) タゴはんを無料か安く食べることができる場所について、「利用したことがある」はふたり親世帯が 3.9% となっているのに対し、母子家庭は 11.1% と多くなっています。
- 「利用したことはない、あれば利用したいと思う」は母子家庭が 11.1% となっているのに対し、ふたり親世帯は 28.1% と多くなっています。

【世帯収入水準】

- 「利用したことがある」は非生活困難世帯が 4.0% となっているのに対し、生活困難世帯は 33.3% と多くなっています。

【(自分の家以外で) タゴはんを無料か安く食べることができる場所】



(4) 勉強を無料でみてくれる場所の利用

問17c 勉強を無料でみてくれる場所についてお答えください。

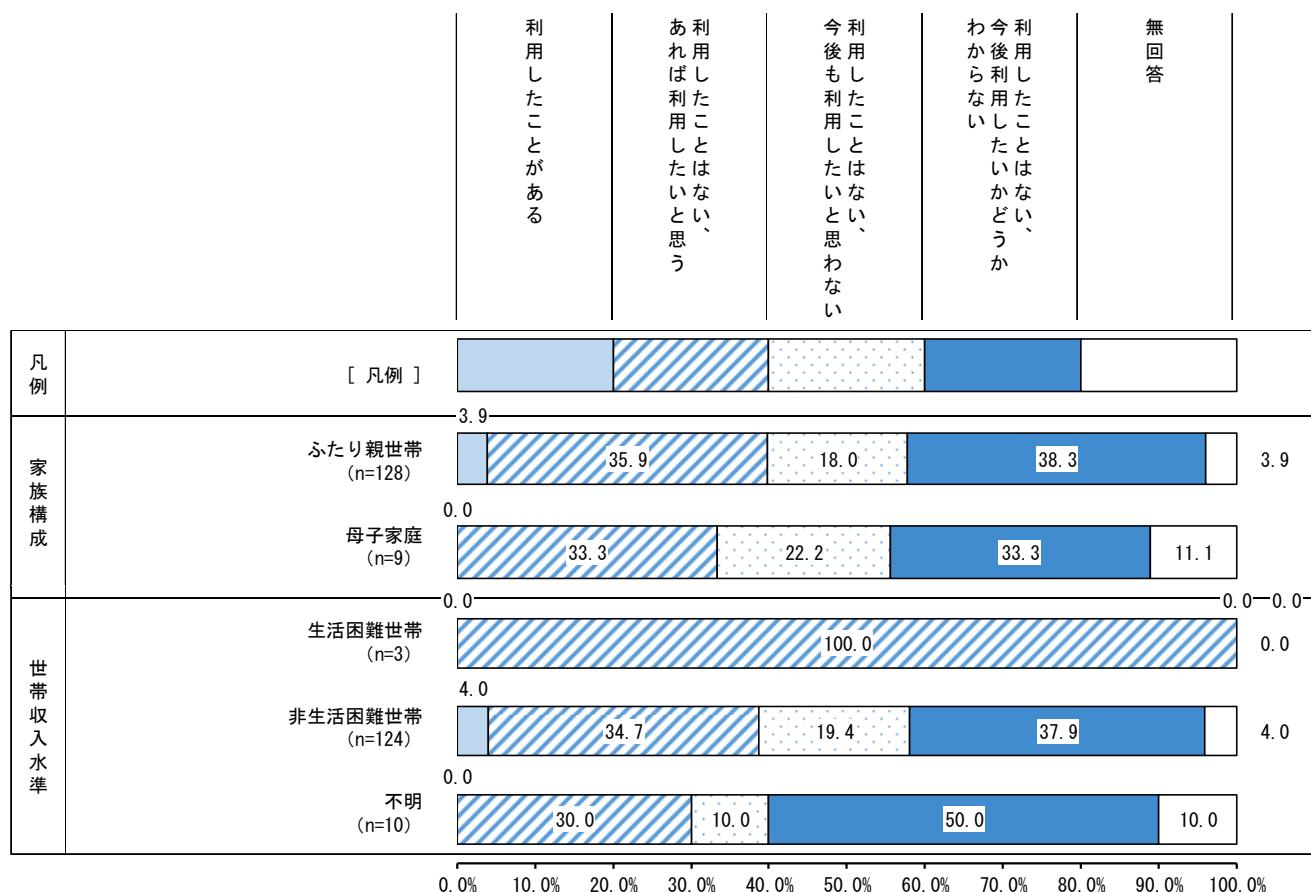
【家族構成】

- 勉強を無料でみてくれる場所について、「利用したことはない、あれば利用したいと思う」はふたり親世帯が 35.9%、母子家庭が 33.3%となっています。

【世帯収入水準】

- 「利用したことはない、あれば利用したいと思う」は非生活困難世帯が 34.7%となっているのに対し、生活困難世帯は 100.0%と多くなっています。

【勉強を無料でみてくれる場所】



(5) 何でも相談できる場所の利用

問17d (家や学校以外で) 何でも相談できる場所についてお答えください。

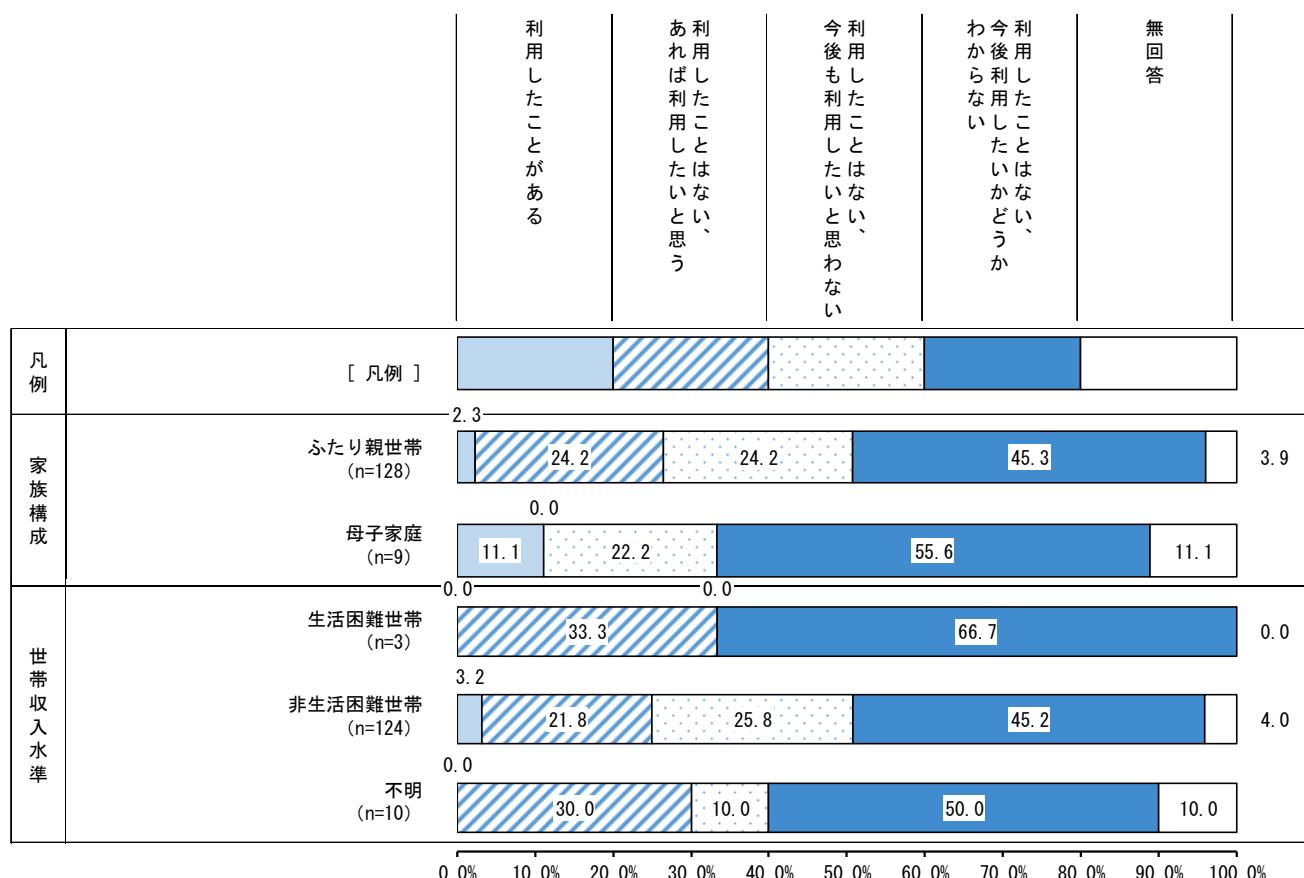
【家族構成】

- (家や学校以外で) 何でも相談できる場所について、「利用したことがある」はふたり親世帯が 2.3%となっているのに対して、母子家庭が 11.1%と多くなっています。
- 「利用したことはない、あれば利用したいと思う」は母子家庭が 0.0%となっているのに対し、ふたり親世帯は 24.2%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- 「利用したことはない、あれば利用したいと思う」は非生活困難世帯が 21.8%となっているのに対し、生活困難世帯が 33.3%と多くなっています。

【(家や学校以外で) 何でも相談できる場所】



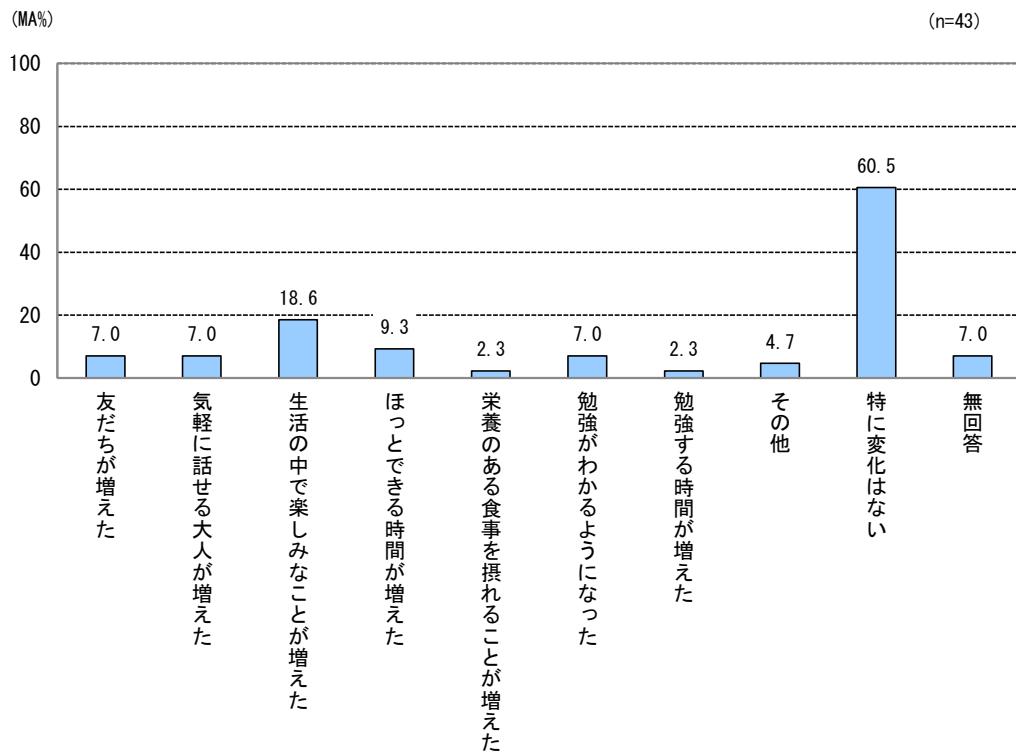
(6) 居場所の利用で変化したこと

問18 問17の場所を利用したことで、以下のような変化がありましたか。(MA) (前の質問で「1. 利用したことがある」を選んだ人)

【全体】

- 利用して変化したことについて、「特に変化はない」が60.5%で最も多く、次いで「生活の中で楽しみなことが増えた」が18.6%、「ほっとできる時間が増えた」が9.3%となっています。

【利用して変化したこと (MA)】



10. 子どもの心理的な状態

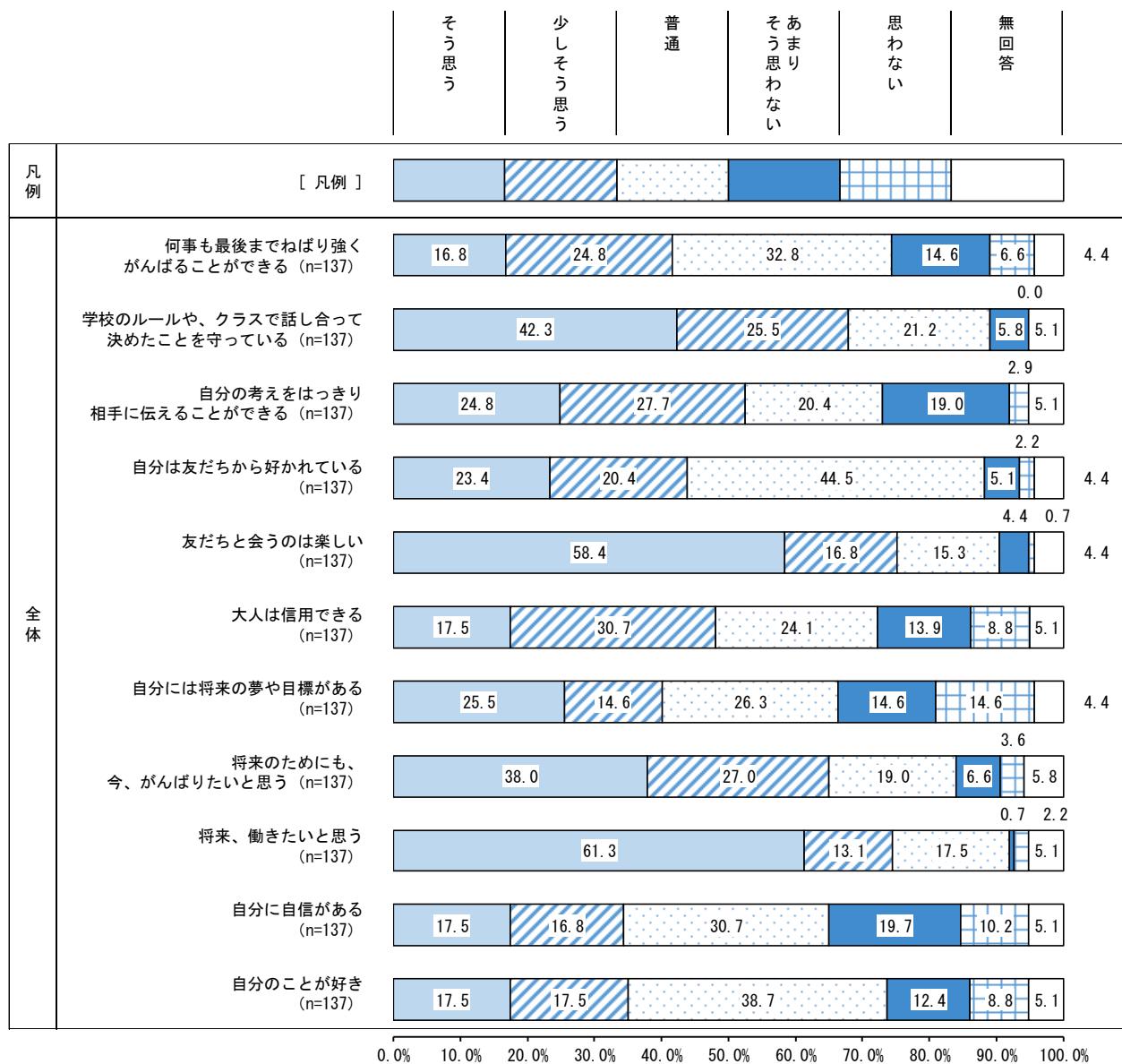
(1) 自分自身の考え方

問19 あなたはふだん、次の質問について、どのように考えていますか。

【全体】

- 自分自身の考え方について、「そう思う」「少しそう思う」を合わせた“そう思う人”は友だちと会うのは楽しいが 75.2%、将来、働きたいと思うが 74.4%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「あまりそう思わない」「思わない」を合わせた“そう思わない人”は自分に自信があるが 29.9%、自分には将来の夢や目標があるが 29.2%と他の区分に比べて多くなっています。

【自分自身の考え方】



(2) 何事も最後までねばり強くがんばることができるか

問19a 何事も最後までねばり強くがんばることができますか。

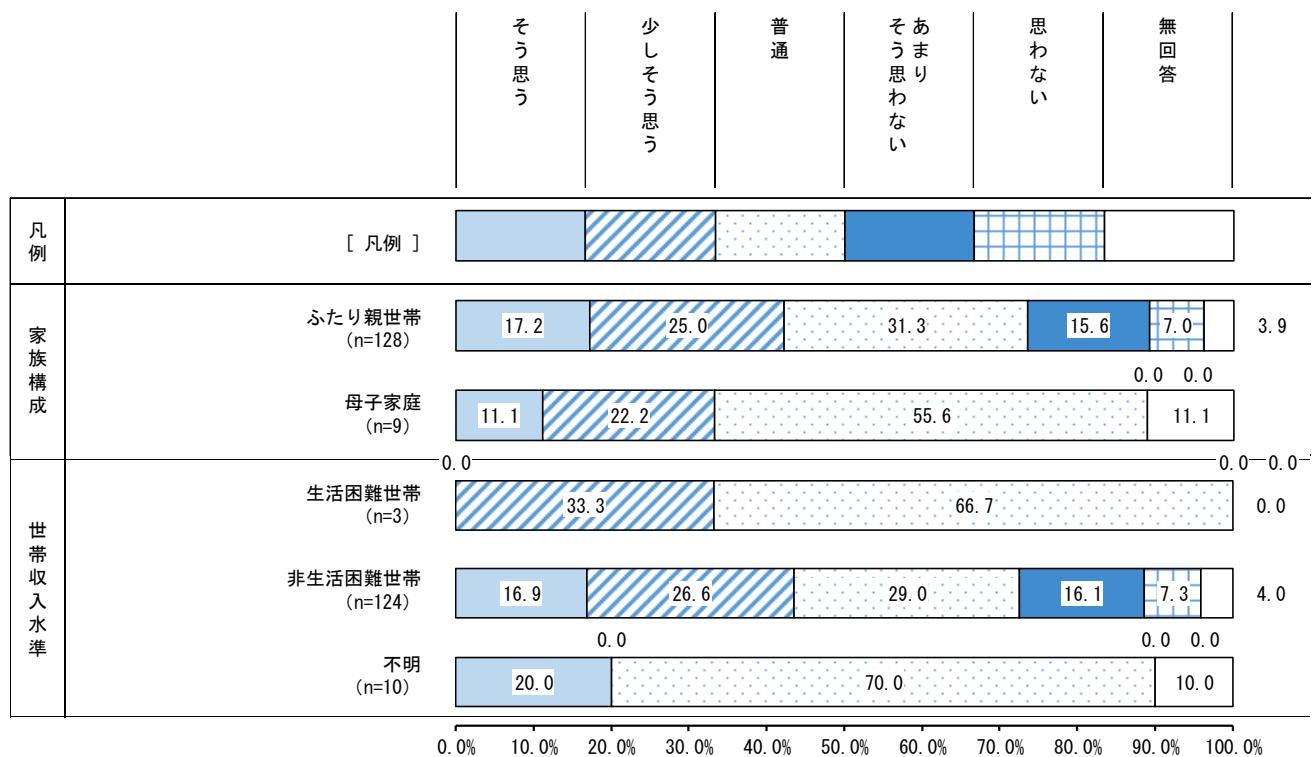
【家族構成】

- 何事も最後までねばり強くがんばることができるかについて、「そう思う」「少しそう思う」を合わせた“そう思う人”は母子家庭が 33.3%となっているのに対し、ふたり親世帯が 42.2%と多くなっています。
- 「あまりそう思わない」「思わない」を合わせた“そう思わない人”は母子家庭が 0.0%となっているのに対し、ふたり親世帯は 22.6%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- “そう思う人”は生活困難世帯が 33.3%となっているのに対し、非生活困難世帯は 43.5%と多くなっています。
- “そう思わない人”は生活困難世帯が 0.0%となっているのに対し、非生活困難世帯は 23.4%と多くなっています。

【何事も最後までねばり強くがんばることができる】



(3) 学校のルールや、クラスで話し合って決めたことを守っているか

問19b 学校のルールや、クラスで話し合って決めたことを守っていますか。

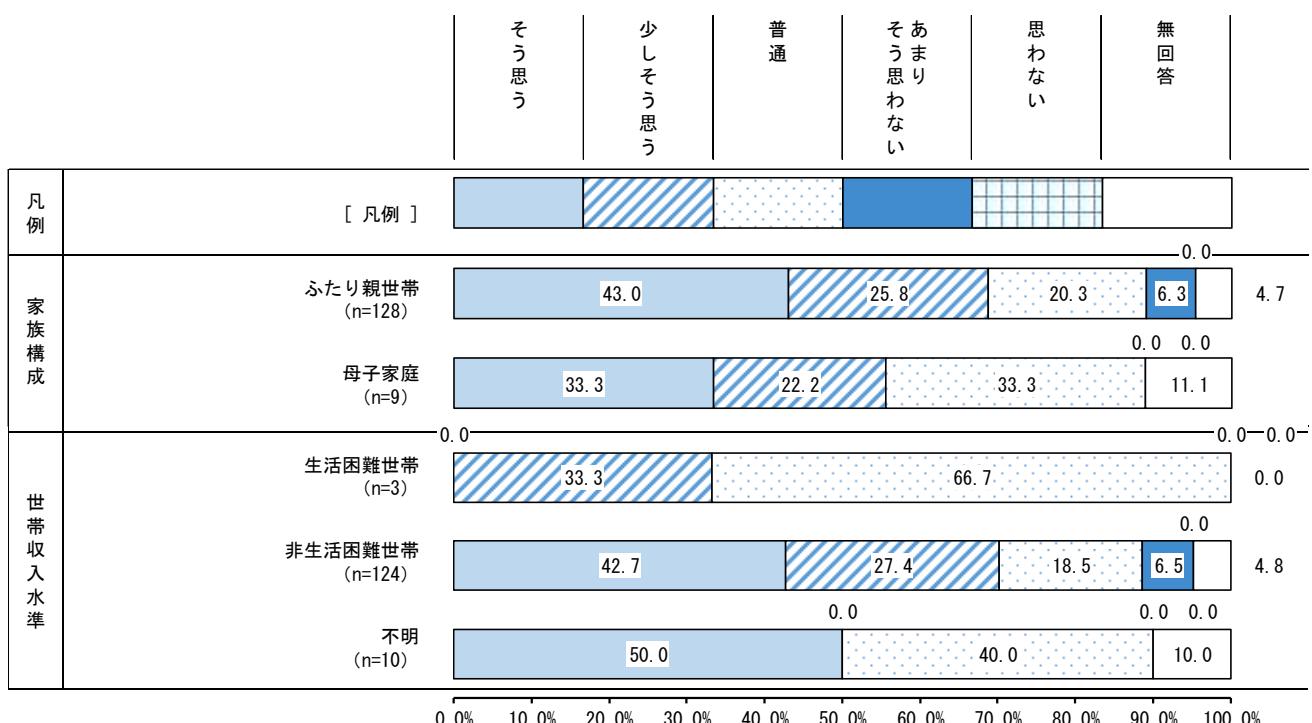
【家族構成】

- 学校のルールや、クラスで話し合って決めたことを守っているかについて、「そう思う」「少しそう思う」を合わせた“そう思う人”は母子家庭が 55.5%となっているのに対し、ふたり親世帯が 68.8%と多くなっています。
- 「あまりそう思わない」「思わない」を合わせた“そう思わない人”は母子家庭が 0.0%となっているのに対し、ふたり親世帯は 6.3%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- “そう思う人”は生活困難世帯が 33.3%となっているのに対し、非生活困難世帯は 70.1%と多くなっています。
- “そう思わない人”は生活困難世帯が 0.0%となっているのに対し、非生活困難世帯は 6.5%と多くなっています。

【学校のルールや、クラスで話し合って決めたことを守っているか】



(4) 自分の考えをはっきり相手に伝えることができるか

問19c 自分の考えをはっきり相手に伝えることができますか。

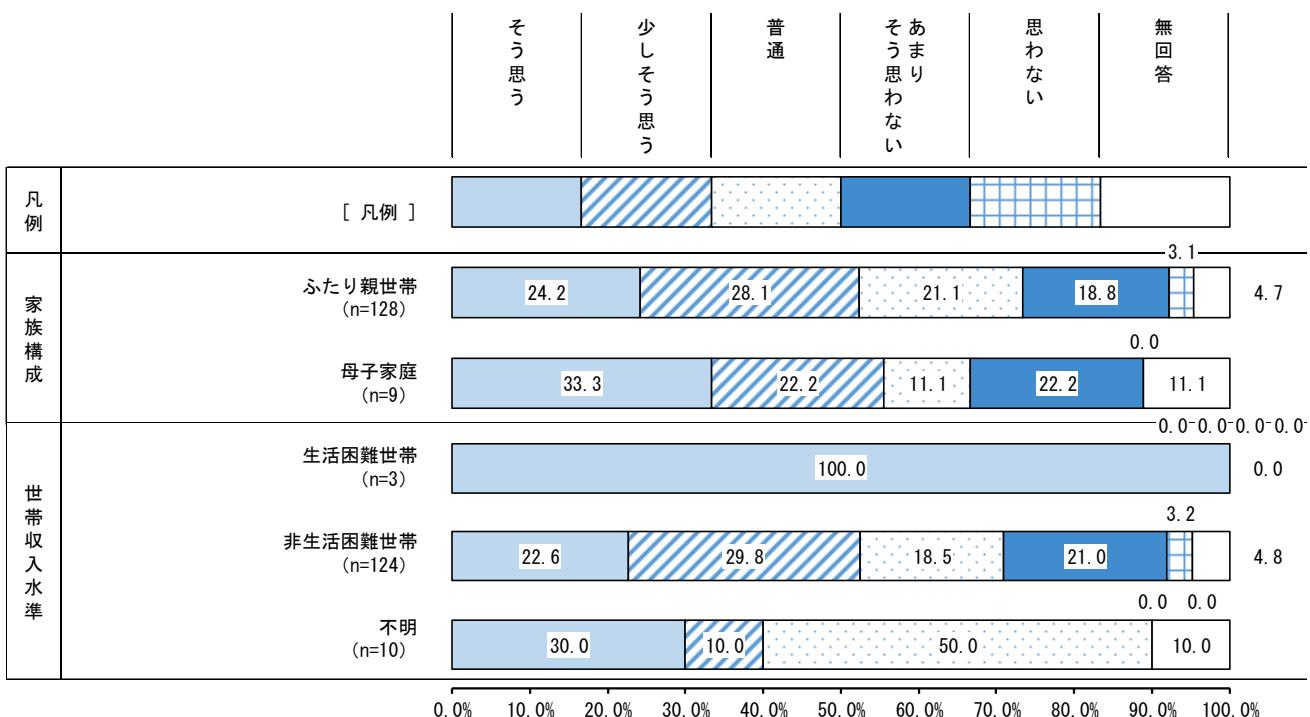
【家族構成】

- 自分の考えをはっきり相手に伝えることができるかについて、「そう思う」「少しそう思う」を合わせた“そう思う人”は母子家庭が 55.5%、ふたり親世帯は 52.3%となっています。
- 「あまりそう思わない」「思わない」を合わせた“そう思わない人”は母子家庭が 22.2%、ふたり親世帯が 21.9%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- “そう思う人”は非生活困難世帯が 52.4%となっているのに対し、生活困難世帯は 100.0%と多くなっています。
- “そう思わない人”は生活困難世帯が 0.0%となっているのに対し、非生活困難世帯は 24.2%となっています。

【自分の考え方をはっきり相手に伝えることができるか】



(5) 自分は友だちから好かれているか

問19d 自分は友だちから好かれていますか。

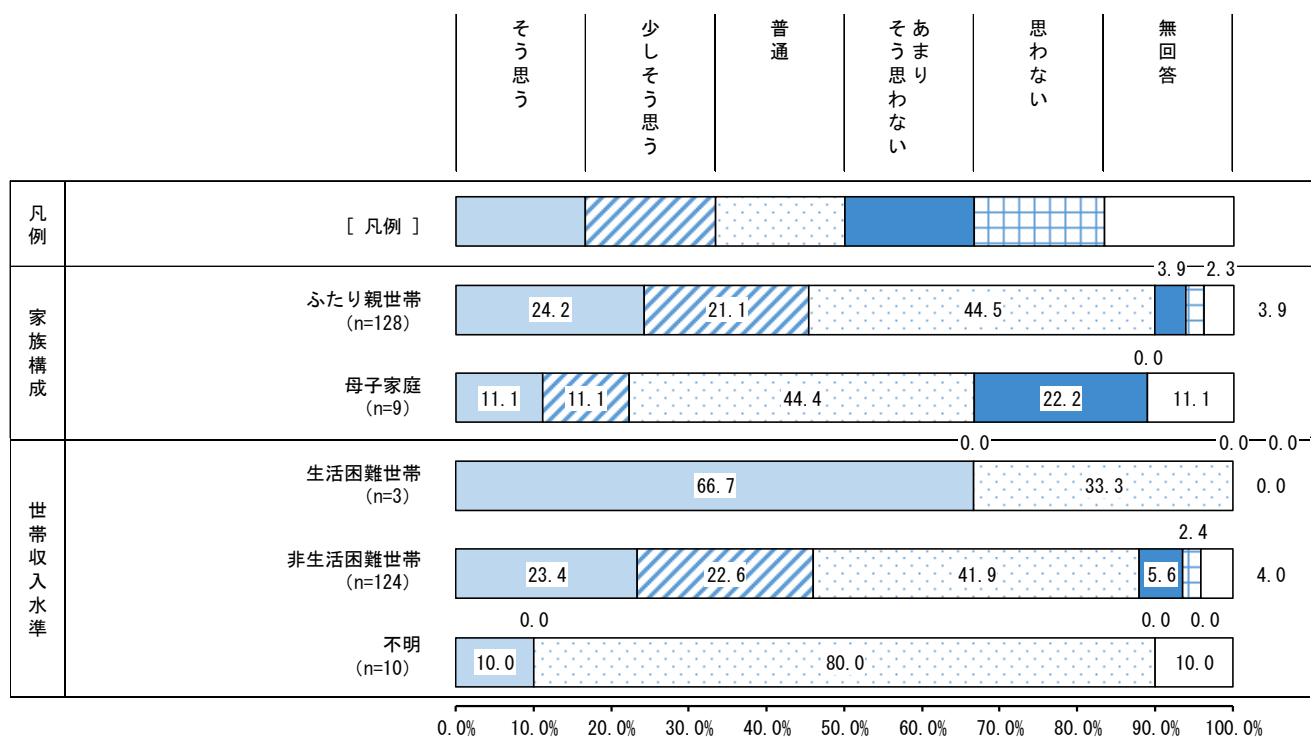
【家族構成】

- 自分は友だちから好かれているかについて、「そう思う」「少しそう思う」を合わせた“そう思う人”は母子家庭が 22.2%となっているのに対し、ふたり親世帯は 45.3%と多くなっています。
- 「あまりそう思わない」「思わない」を合わせた“そう思わない人”はふたり親世帯が 6.2%となっているのに対し、母子家庭が 22.2%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- “そう思う人”は非生活困難世帯が 46.0%となっているのに対し、生活困難世帯は 66.7%と多くなっています。
- “そう思わない人”は生活困難世帯が 0.0%、非生活困難世帯が 8.0%となっています。

【自分は友だちから好かれているか】



(6) 友だちと会うのは楽しいか

問19e 友だちと会うのは楽しいですか。

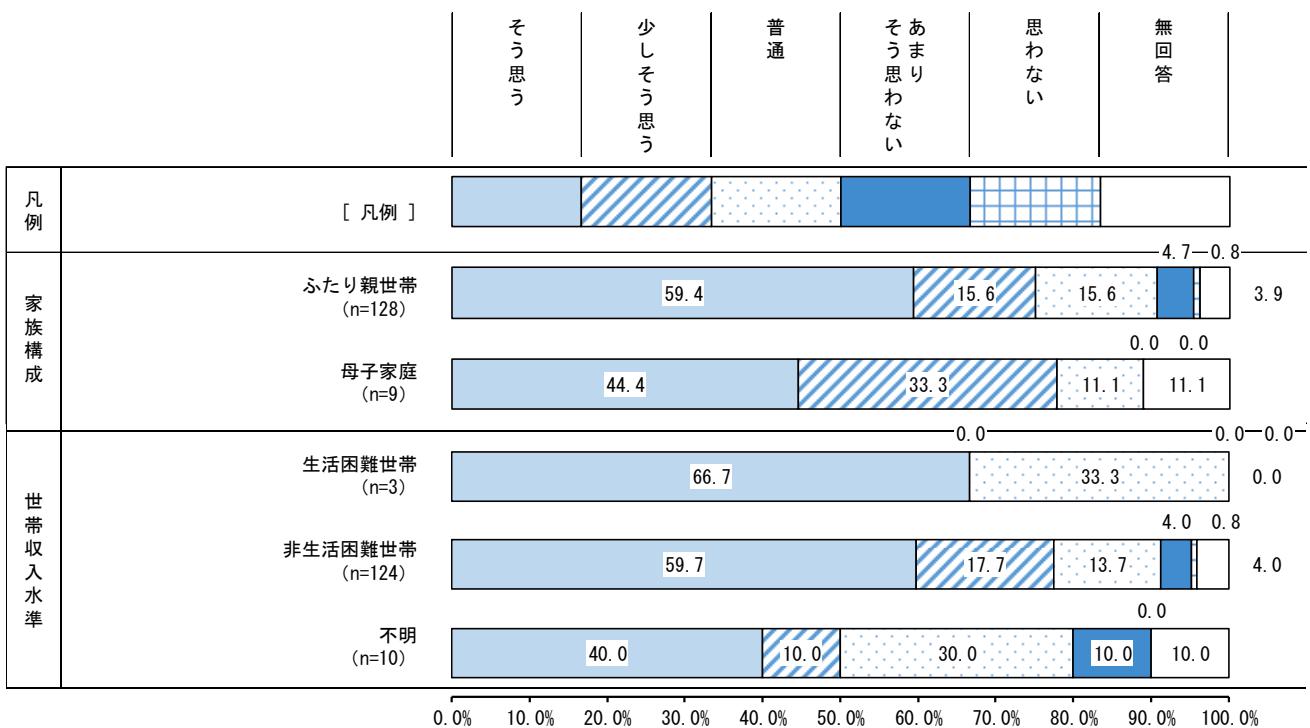
【家族構成】

- 友だちと会うのは楽しいかについて、「そう思う」「少しそう思う」を合わせた“そう思う人”は母子家庭は 77.7%、ふたり親世帯が 75.0%となっています。
- 「あまりそう思わない」「思わない」を合わせた“そう思わない人”は母子家庭が 0.0%となっているのに対し、ふたり親世帯は 5.5%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- “そう思う人”は生活困難世帯が 66.7%となっているのに対し、非生活困難世帯は 77.4%と多くなっています。
- “そう思わない人”は生活困難世帯が 0.0%、非生活困難世带が 4.8%となっています。

【友だちと会うのは楽しいか】



(7) 大人は信用できるか

問19f 大人は信用できますか。

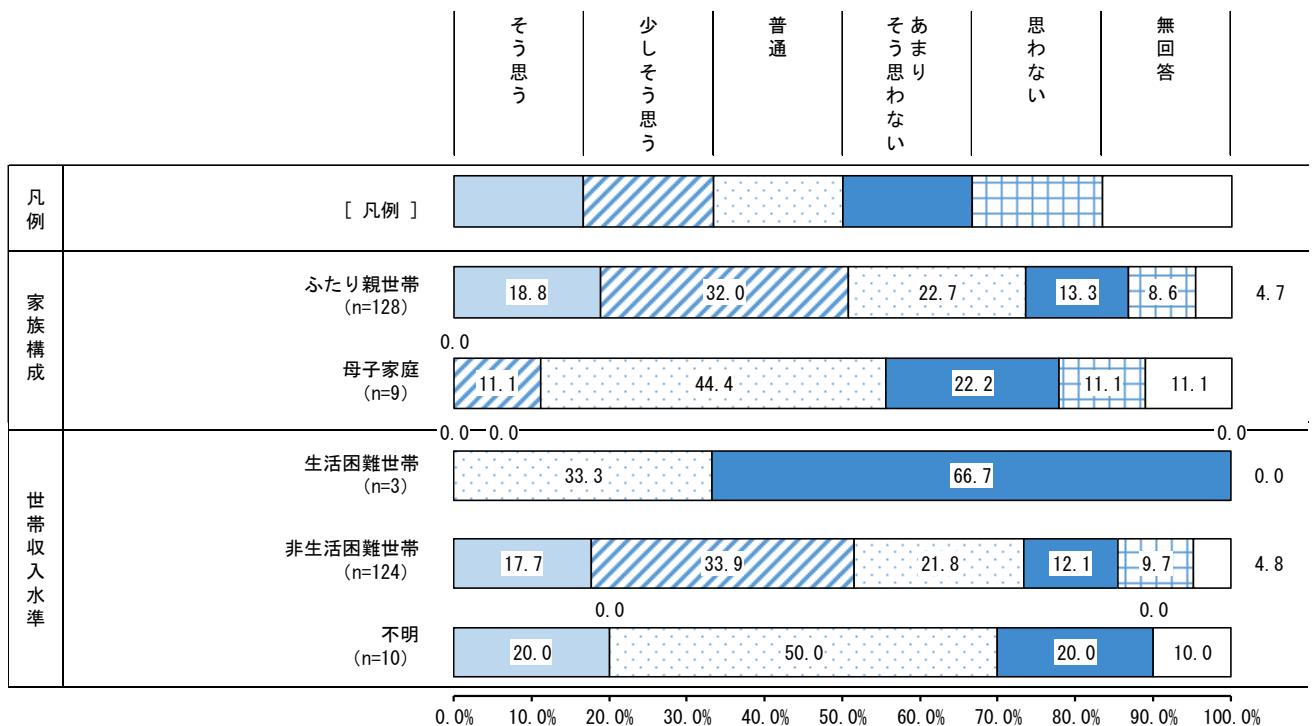
【家族構成】

- 大人は信用できるかについて、「そう思う」「少しそう思う」を合わせた“そう思う人”は母子家庭が 11.1%となっているのに対し、ふたり親世帯は 50.8%と多くなっています。
- 「あまり思わない」「思わない」を合わせた“そう思わない人”はふたり親世帯が 21.9%となっているのに対し、母子家庭が 33.3%となっています。

【世帯収入水準】

- “そう思う人”は生活困難世帯が 0.0%となっているのに対し、非生活困難世帯は 51.6%と多くなっています。
- “そう思わない人”は非生活困難世帯が 21.8%となっているのに対し、生活困難世帯は 66.7%と多くなっています。

【大人は信用できるか】



(8) 自分には将来の夢や目標があるか

問19g 自分には将来の夢や目標がありますか。

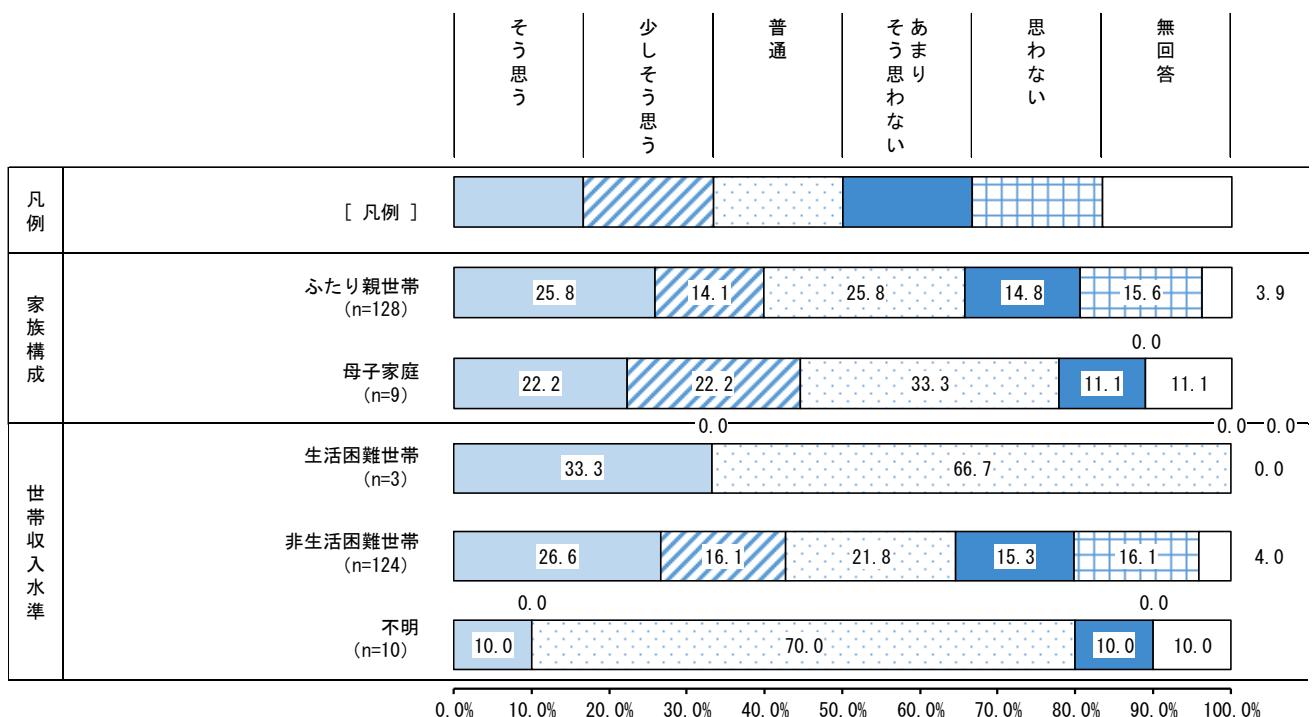
【家族構成】

- 自分には将来の夢や目標があるかについて、「そう思う」「少しそう思う」を合わせた“そう思う人”はふたり親世帯が 39.9%となっているのに対し、母子家庭は 44.4%と多くなっています。
- 「あまり思わない」「思わない」を合わせた“そう思わない人”は母子家庭が 11.1%となっているのに対し、ふたり親世帯は 30.4%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- “そう思う人”は生活困難世帯が 33.3%となっているのに対し、非生活困難世帯は 42.7%と多くなっています。
- “そう思わない人”は生活困難世帯が 0.0%となっているのに対し、非生活困難世帯は 31.4%と多くなっています。

【自分には将来の夢や目標があるか】



(9) 将来のためにも、今、がんばりたいと思うか

問19h 将来のためにも、今、がんばりたいと思いますか。

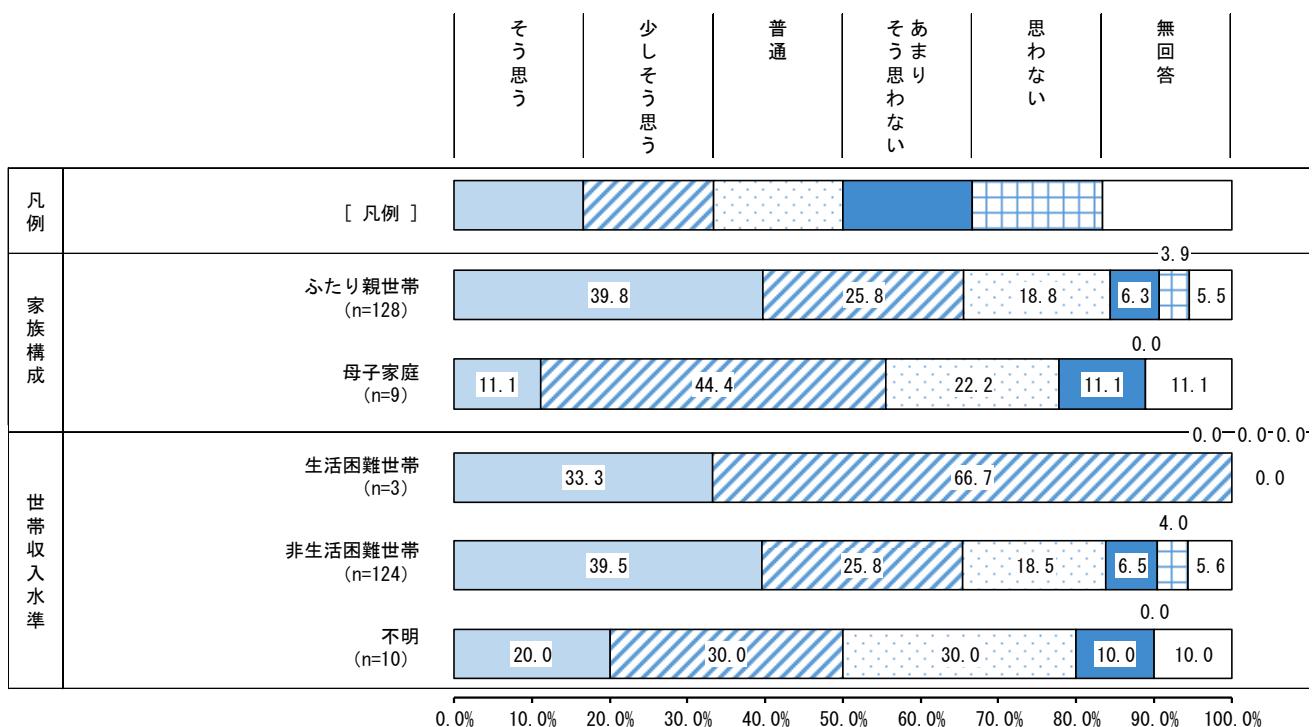
【家族構成】

- 将来のためにも、今、がんばりたいと思うかについて、「そう思う」「少しそう思う」を合わせた“そう思う人”は母子家庭が 55.5%となっているのに対し、ふたり親世帯は 65.6%と多くなっています。
- 「あまりそう思わない」「思わない」を合わせた“そう思わない人”は母子家庭が 11.1%、ふたり親世帯が 10.2%となっています。

【世帯収入水準】

- “そう思う人”は非生活困難世帯が 65.3%となっているのに対し、生活困難世帯は 100.0%と多くなっています。
- “そう思わない人”は生活困難世帯が 0.0%となっているのに対し、非生活困難世帯は 10.5%と多くなっています。

【将来のためにも、今、がんばりたいと思うか】



(10) 将来、働きたいと思うか

問19i 将来、働きたいと思いますか。

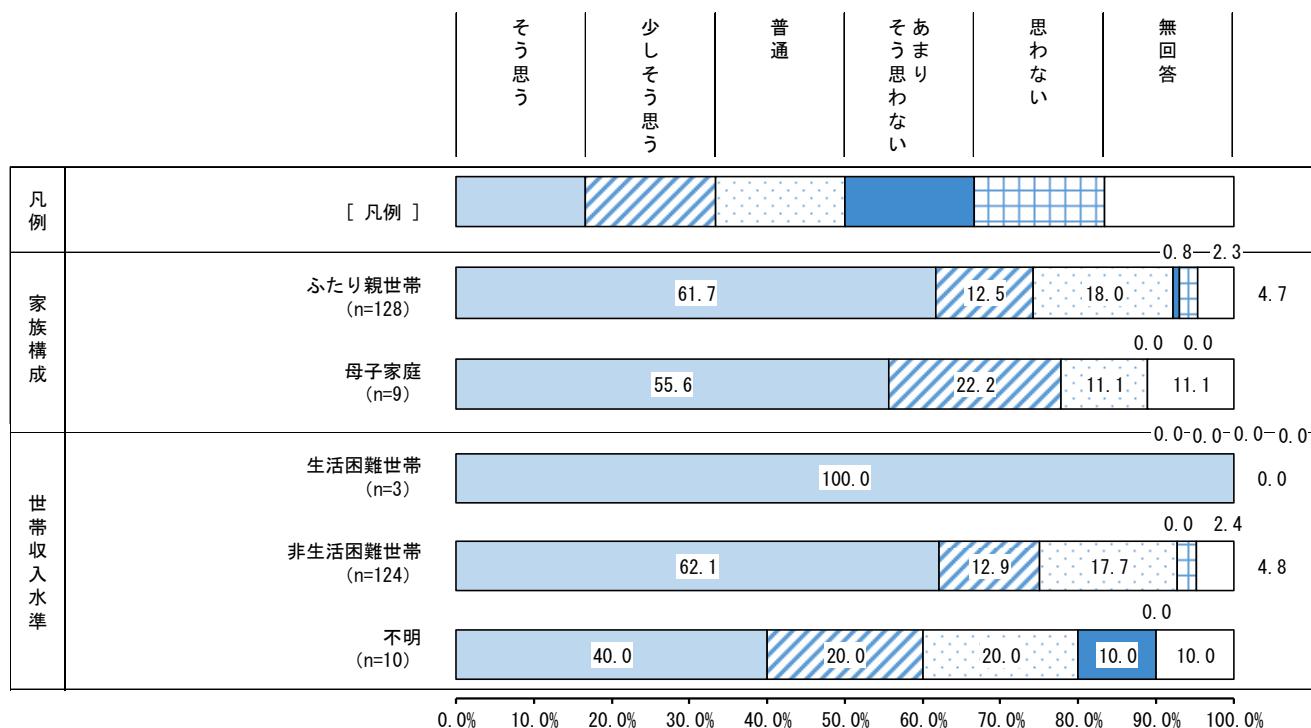
【家族構成】

- 将来、働きたいと思うか「そう思う」「少しそう思う」を合わせた“そう思う人”は母子家庭が 77.8%、ふたり親世帯が 74.2%となっています。
- 「あまりそう思わない」「思わない」を合わせた“そう思わない人”はふたり親世帯が 3.1%、母子家庭が 0.0%となっています。

【世帯収入水準】

- “そう思う人”は非生活困難世帯が 75.0%となっているのに対し、生活困難世帯は 100.0%となっています。
- “そう思わない人”は非生活困難世帯が 2.4%、生活困難世帯が 0.0%となっています。

【将来、働きたいと思うか】



(11) 自分に自信があるか

問19j 自分に自信がありますか。

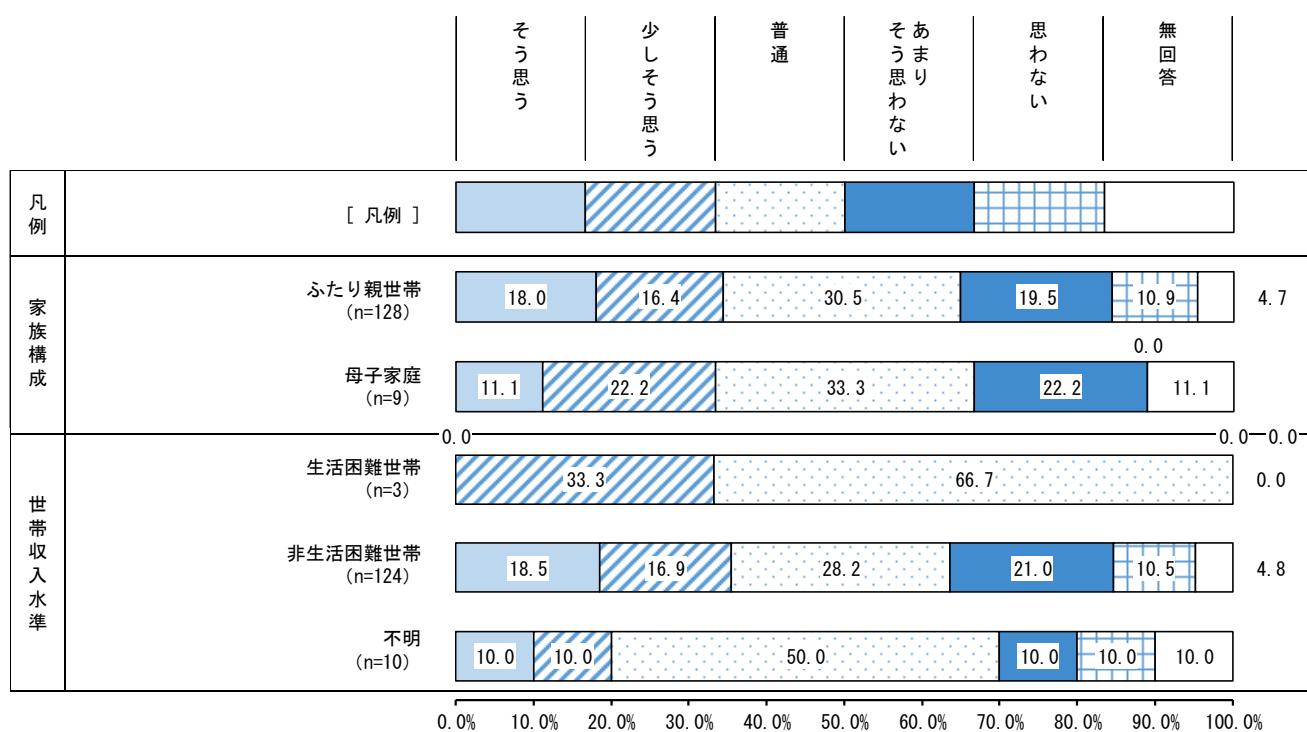
【家族構成】

- 自分に自信があるかについて、「そう思う」「少しそう思う」を合わせた“そう思う人”はふたり親世帯が 34.4%、母子家庭が 33.3%となっています。
- 「あまりそう思わない」「思わない」を合わせた“そう思わない人”は母子家庭が 22.2%となっているのに対し、ふたり親世帯は 30.4%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- “そう思う人”は非生活困難世帯が 35.4%、生活困難世帯は 33.3%となっています。
- “そう思わない人”は生活困難世帯が 0.0%となっているのに対し、非生活困難世帯は 31.5%と多くなっています。

【自分に自信があるか】



(12) 自分のことが好きか

問19k 自分のことが好きですか。

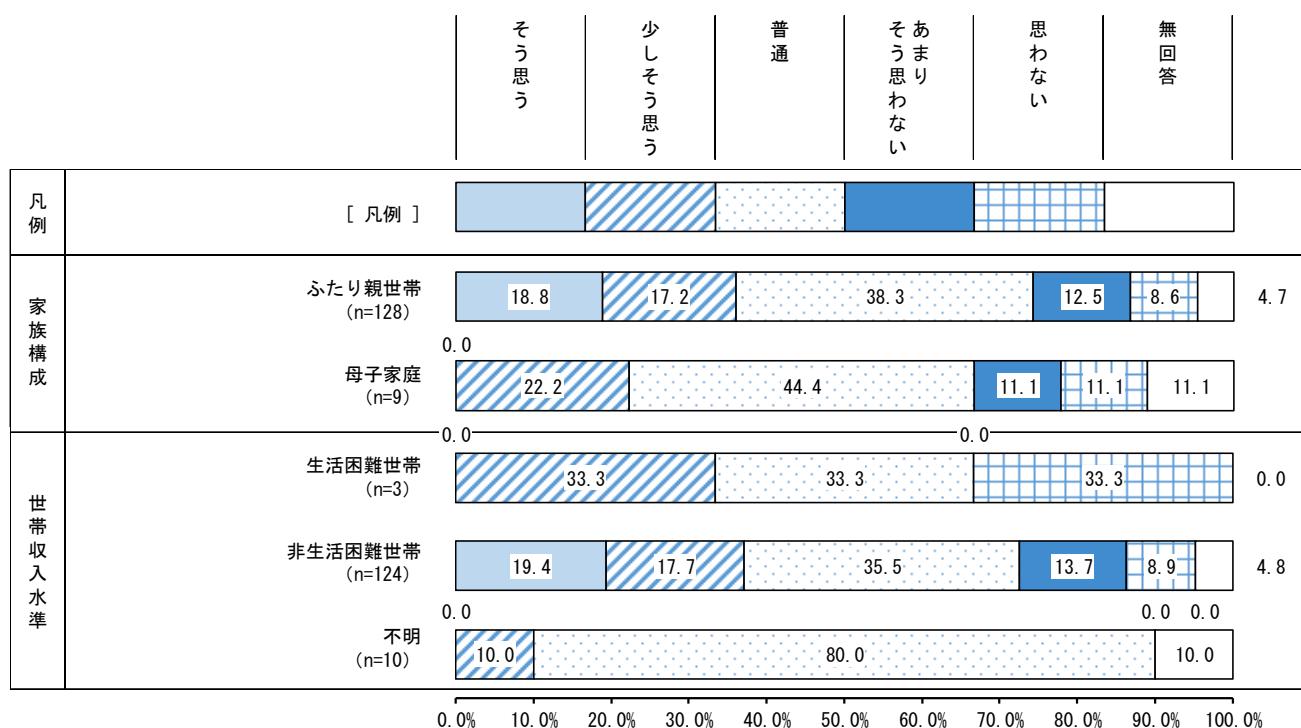
【家族構成】

- 自分のことが好きかについて、「そう思う」「少しそう思う」を合わせた“そう思う人”は母子家庭が 22.2% となっているのに対し、ふたり親世帯は 36.0% と多くなっています。
- 「あまりそう思わない」「思わない」を合わせた“そう思わない人”は母子家庭が 22.2%、ふたり親世帯が 21.1% となっています。

【世帯収入水準】

- “そう思う人”は非生活困難世帯が 37.1%、生活困難世帯が 33.3% となっています。
- “そう思わない人”は非生活困難世帯が 22.6% となっているのに対し、生活困難世帯は 33.3% と多くなっています。

【自分のことが好きか】



III 中学生（アンケート結果からの分析）

1. 学習状況

学校の授業以外での勉強方法は、塾での学習が 67.9%と最も多く、自主学習が 56.2%と続いている。また、学校がない日は、特に母子家庭や生活困難世帯において、勉強時間が少なくなっています。

成績に対する自己評価において、学業成績に自信のある生徒はそれほど多くなく、特に生活困難世帯で自己評価が低い傾向がみられます。

授業で理解できないことが発生する時期については、特に小学5年生・6年生頃から中学校1年生にかけての期間に多くみられ、この傾向も生活困難世帯ではより顕著です。

2. 進学希望

希望する進学先について、最も多くの生徒が「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」を挙げており、次いで「まだわからない」と回答する生徒も多い状況です。「高校卒業以降も進学したい」と考えている生徒は全体の 23.4%となっています。

さらに、進学の理由として、「希望する学校や職業があるから」が最も多く、次いで「自分の成績から考えて」や「特に理由はない」が続いています。一方で、18.2%の生徒が「親がそう言っているから」と答えています。

3. 部活動等への参加状況

地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動への参加状況について、「参加している」が 50.4%である一方、「参加していない」が 16.8%となっています。生活困難世帯では 66.7%が参加しており、非生活困難世帯の 50.8%を上回っています。

参加していない理由として「塾や習い事が忙しいから」が 30.4%、「入りたいクラブ・部活動がないから」が 17.4%となっています。

4. 日常的な生活の状況

食事の頻度では、朝食を「毎日食べる」は、全体で 65.7%となっています。また、夏休みや冬休みの期間の昼食について、「毎日食べる」は全体で 75.2%となっています。

睡眠時間では、ほぼ同じ時間に寝ている人（「そうである」と「どちらかといえばそうである」を合わせた割合）が 21.2%と、あまり定まった睡眠習慣がないことが示されていますが、母子家庭とふたり親世帯の間で大きな差はみられません。

5. 心身の健康状態

健康状態が良い人（「良い」と「どちらかといえば良い」を合わせた割合）がこころの健康では 59.1%、身体の健康では 64.9%と、身体の方がやや良好であることがうかがえます。

家族構成別では、身体の調子が「良い」と答えた割合、こころの調子が「良い」と答えた割合ともに、ふたり親世帯のほうが多くなっています。また、生活困難世帯において、こころの健康状態が「良い」と答えた人が非生活困難世帯より少なくなっています。

6. 毎月のおこづかい

毎月のおこづかいは足りているかについて、足りている人（「十分、足りている」と「どちらかといえば足りている」を合わせた割合）は50.0%となっています。

7. 居場所の利用

（自分の家以外で）夕ごはんを無料か安く食べることができる場所や、勉強を無料でみてくれる場所、（家や学校以外で）何でも相談できる場所などの居場所の利用について、利用したことがある割合は少なくなっているものの、利用したことはないが、あれば利用したいと思う割合は約3割となっています。

8. 子どもの心理的な状態

自分自身の考え方について、そう思う人（「そう思う」と「少しそう思う」を合わせた割合）は、友だちと会うのは楽しいが75.2%、将来、働きたいと思うが74.4%となっている一方で、「自分に自信がある」、「自分のことが好き」は約3割となっています。

IV 中学生の保護者

1. 基本属性等

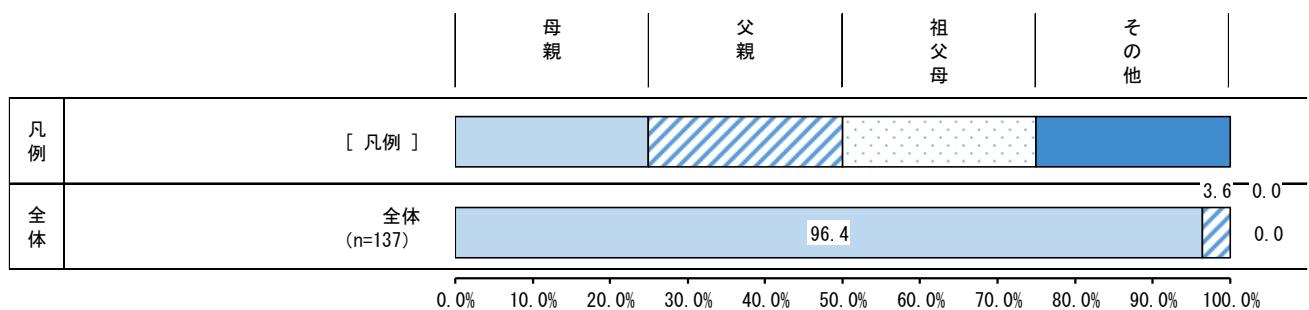
(1) 子どもとの続柄

問1 お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。

【全体】

- お子さんとの関係性について、「母親」が 96.4%で最も多く、次いで「父親」が 3.6%となっています。

【お子さんとの関係性】



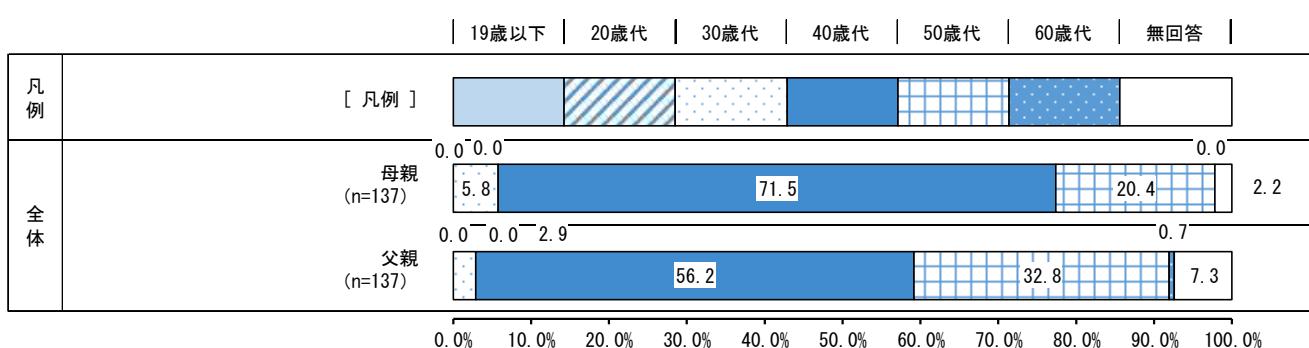
(2) 保護者の年齢

問4 お子さんからみた母親、父親の年齢をお答えください。

【全体】

- 保護者の年齢について、母親、父親ともに「40歳代」が最も多く、次いで「50歳代」、「30歳代」となっています。

【保護者の年齢】



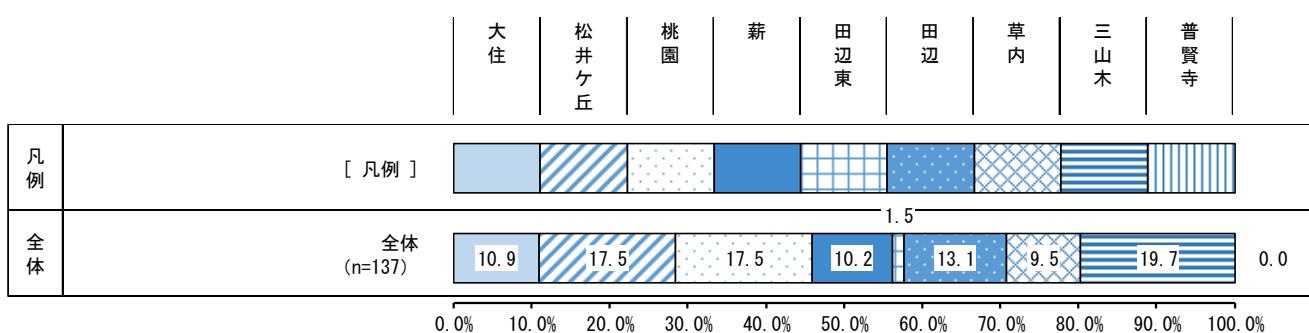
(4) お住いの小学校区

問2 あなたがお住まいの小学校の学区を教えてください。

【全体】

- 小学校区について、「三山木」が 19.7%で最も多く、次いで「松井ヶ丘」「桃園」が 17.5%、「田辺」が 13.1%となっています。

【小学校区】



(5) 家族構成

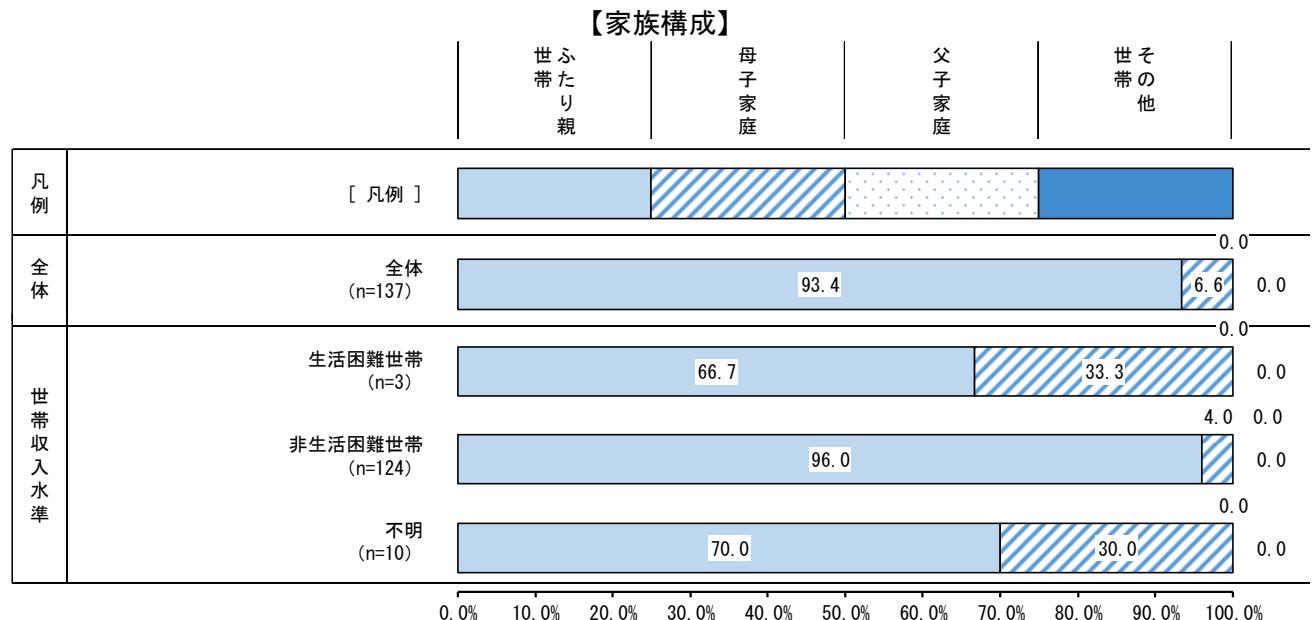
問3 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。

【全体】

- 家族構成について、「ふたり親世帯」が 93.4%で最も多く、次いで「母子家庭」が 6.6%となっています。

【世帯収入水準】

- 「ふたり親世帯」は非生活困難世帯が 96.0%と他の区分に比べて多くなっています。

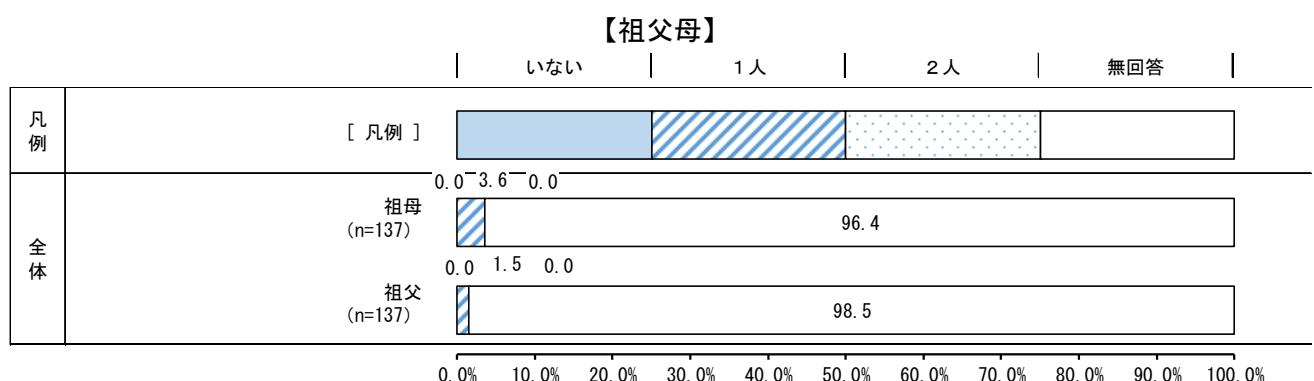


(6) 同居家族の人数

問3a お子さんからみた祖父母と同居していますか。

【全体】

- 祖母について、「1人」が 3.6%となっています。
- 祖父について、「1人」が 1.5%となっています。

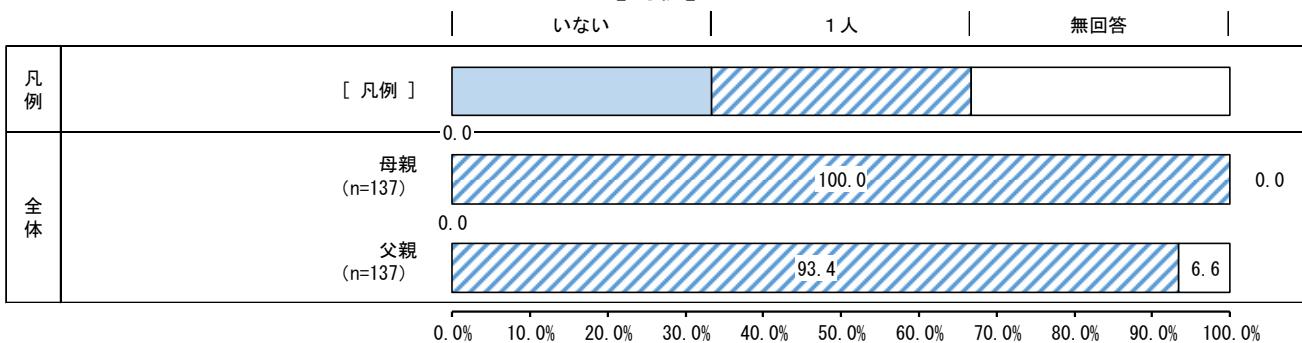


問3b お子さんからみた母親、父親と同居していますか。

【全体】

- 母親について、「1人」が100.0%となっています。
- 父親について、「1人」が93.4%となっています。

【両親】

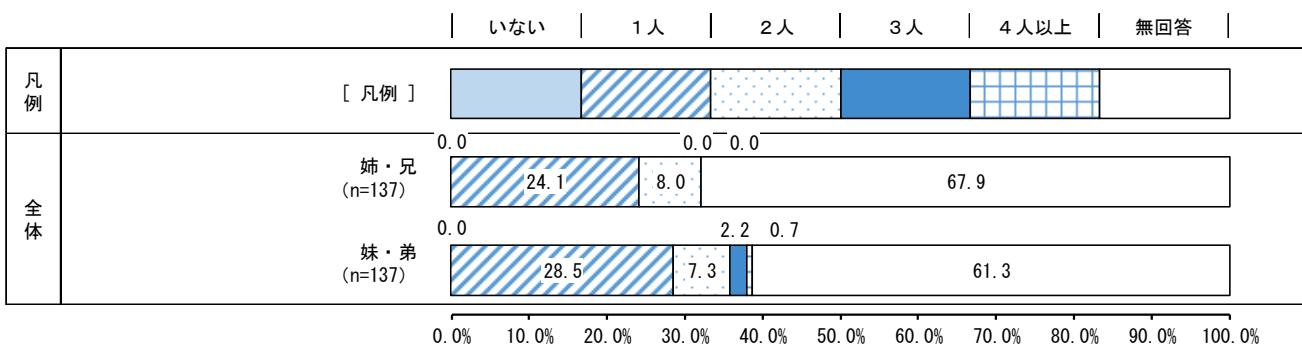


問3c お子さんにきょうだいはいますか。

【全体】

- 姉・兄について、「1人」が24.1%で最も多く、次いで「2人」が8.0%となっています。
- 妹・弟について、「1人」が28.5%で最も多く、次いで「2人」が7.3%、「3人」が2.2%となっています。

【きょうだい】



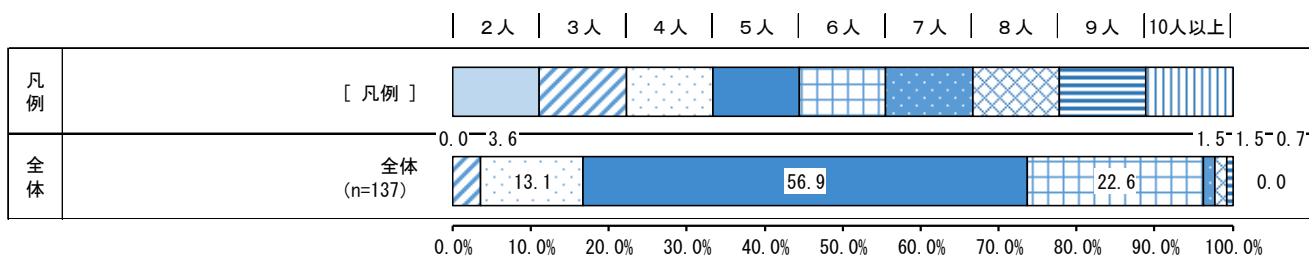
※「問3d その他」について、有効回答がありませんでした。

問3e ご家族の合計人数を教えてください。(あなたや対象のお子さんを含む。)

【全体】

- 合計(あなたや対象のお子さんを含む。)について、「5人」が56.9%で最も多く、次いで「6人」が22.6%、「4人」が13.1%となっています。

【合計(あなたや対象のお子さんを含む。)】

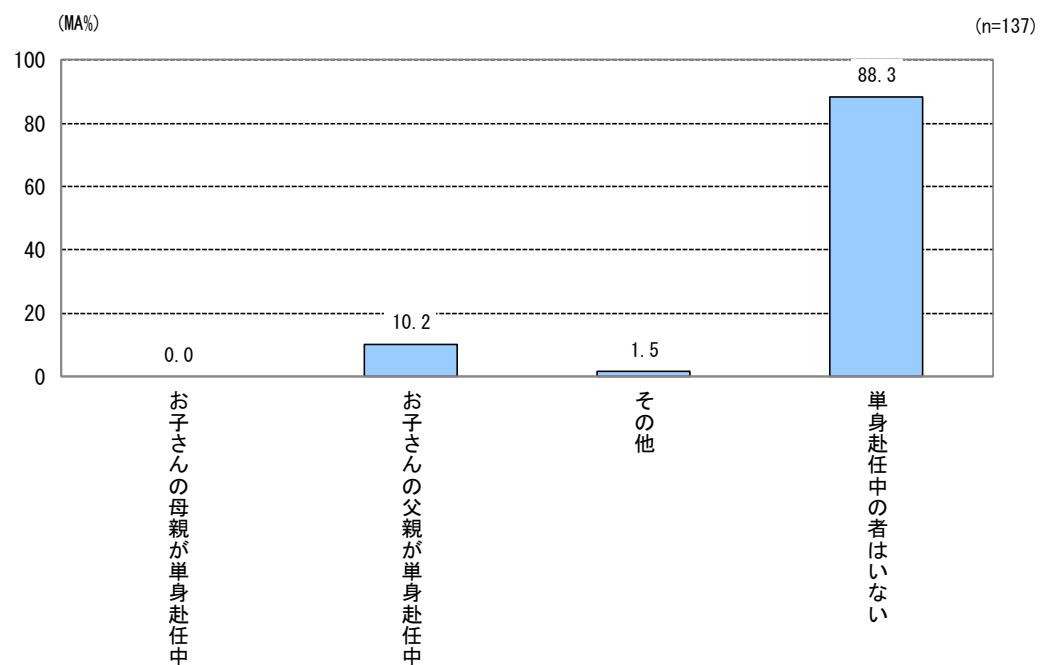


問5 お子さんのご家族のうち、現在単身赴任中の方はいらっしゃいますか。(MA)

【全体】

- 現在単身赴任中の方はいるかについて、「単身赴任中の者はいない」が88.3%で最も多く、次いで「お子さんの父親が単身赴任中」が10.2%、「その他」が1.5%となっています。

【現在単身赴任中の方はいるか(MA)】



(7) 婚姻状況

問6 お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。

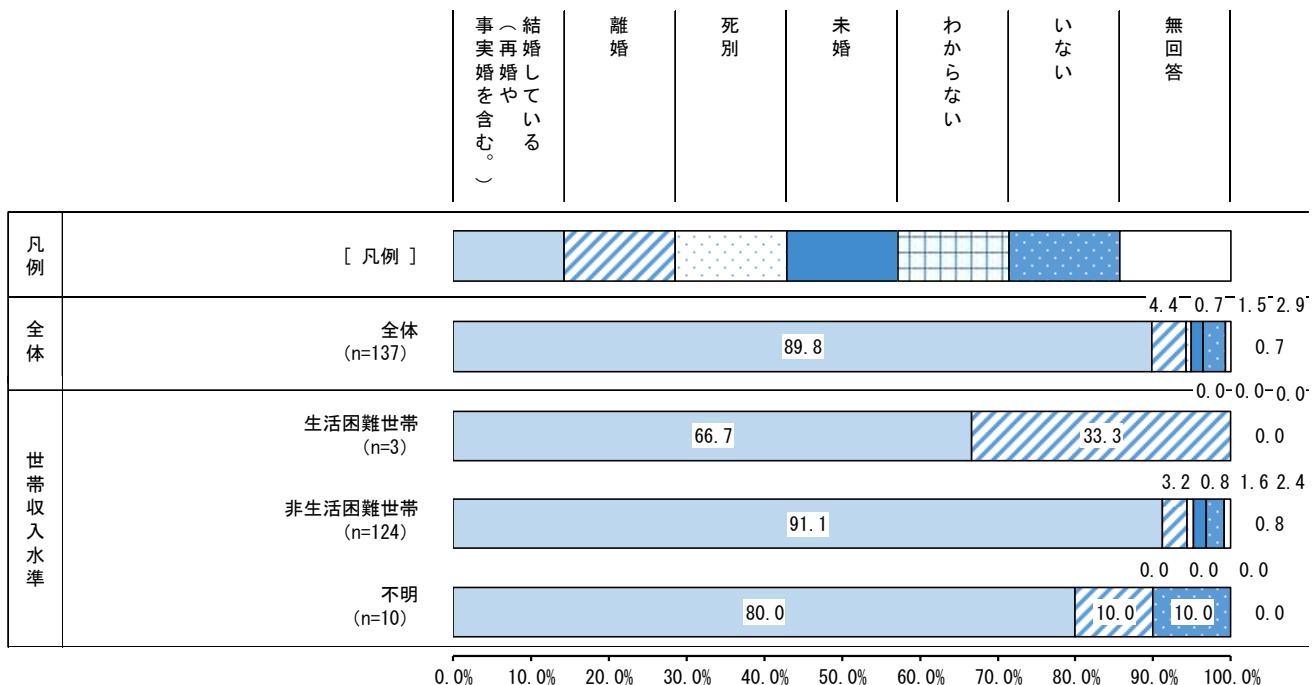
【全体】

- お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況について、「結婚している（再婚や事実婚を含む。）」が89.8%で最も多く、次いで「離婚」が4.4%、「いない」が2.9%となっています。

【世帯収入水準】

- 「結婚している（再婚や事実婚を含む。）」は非生活困難世帯が91.9%と他の区分に比べて多くなっています。

【お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況】



2. 最終学歴

(1) 母親と父親の最終学歴

問8a 卒業・修了した学校をお答えください。(母親)

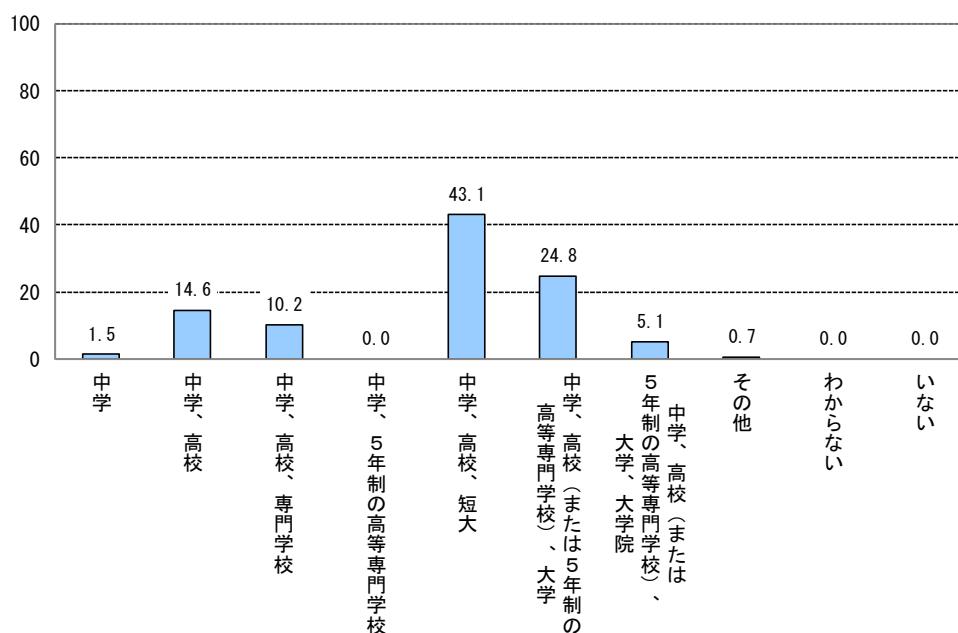
【全体】

- 卒業・修了した学校(母親)について、「中学、高校、短大」が43.1%で最も多く、次いで「中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学」が24.8%、「中学、高校」が14.6%となっています。

【世帯収入水準】

- 「中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学」は非生活困難世帯が26.6%となっているのに対し、生活困難世帯は33.3%と多くなっています。
- 「中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学、大学院」は生活困難世帯が0.0%、非生活困難世帯が5.6%となっています。

(%) **【卒業・修了した学校(母親)】** (n=137)



単位 : %

		母数 (n)	卒業・修了した学校(母親)					
			中学	中学、 高校	中学、 高校、 専門学校	5年制 の高等 専門学校	中学、 高校、 短大	高等 専門 学校(ま たは 大学5年 制の)
全體 (n=137)		137	1.5	14.6	10.2	-	43.1	24.8
入世 水帯 準収	生活困難世帯 (n=3)	3	-	-	-	-	△ 66.7	33.3
	非生活困難世帯 (n=124)	124	1.6	13.7	11.3	-	41.1	26.6
	不明 (n=10)	10	-	△ 30.0	-	-	△ 60.0	-

単位 : %

		母数 (n)	卒業・修了した学校(母親)				
			大学5年 制の 高等 専門 学校(ま たは 大学5年 制の) 、 その 他		わ か ら な い	い な い	無 回 答
全體 (n=137)		137	5.1	0.7	-	-	-
入世 水帯 準収	生活困難世帯 (n=3)	3	-	-	-	-	-
	非生活困難世帯 (n=124)	124	5.6	-	-	-	-
	不明 (n=10)	10	-	10.0	-	-	-

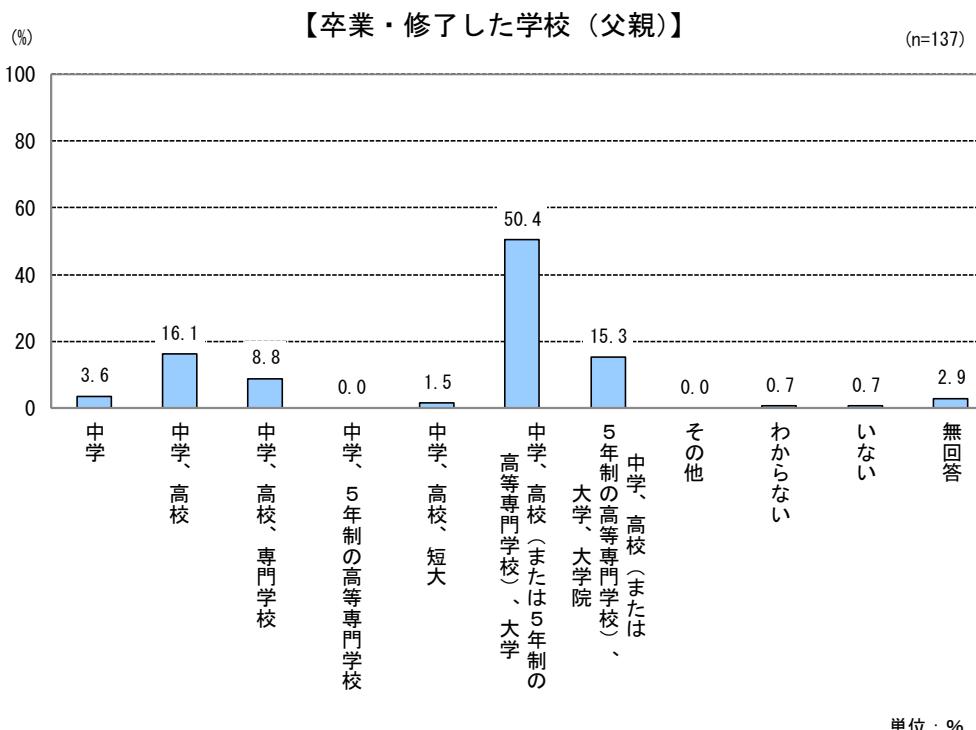
問8b 卒業・修了した学校をお答えください。(父親)

【全体】

- 卒業・修了した学校(父親)について、「中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学」が50.4%で最も多く、次いで「中学、高校」が16.1%、「中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学、大学院」が15.3%となっています。

【世帯収入水準】

- 「中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学」は非生活困難世帯が50.8%となっているのに対し、生活困難世帯は66.7%と多くなっています。
- 「中学、高校(または5年制の高等専門学校)、大学、大学院」は生活困難世帯が0.0%、非生活困難世帯は15.3%となっています。



単位 : %

		母数 (n)	卒業・修了した学校(父親)					
			中学	中学、 高校	中学、 高校、 専門 学校	5中 学、 高 等 専 門 学 校	中 学、 高 校、 短 大	中 学、 高 校、 高 等 専 門 学 校 (ま た は 5 年 制 の 大 学)
全体 (n=137)		137	3.6	16.1	8.8	-	1.5	50.4
入世 水 準 収	生活困難世帯 (n=3)	3	-	-	-	-	-	△ 66.7
	非生活困難世帯 (n=124)	124	3.2	16.9	8.9	-	1.6	50.8
	不明 (n=10)	10	10.0	10.0	10.0	-	-	▼ 40.0

単位 : %

		母数 (n)	卒業・修了した学校(父親)				
			大5中 学年学 制、 大の高 等院等 (ま た は 専 門 学 校)	その 他	わ か ら な い	い な い	無 回 答
全体 (n=137)		137	15.3	-	0.7	0.7	2.9
入世 水 準 収	生活困難世帯 (n=3)	3	-	-	-	-	33.3
	非生活困難世帯 (n=124)	124	15.3	-	-	0.8	2.4
	不明 (n=10)	10	20.0	-	10.0	-	-

3. 生活状況

(1) 母親と父親の就労状況

問9a 就労状況をお答えください。(母親)

【全体】

- 就労状況(母親)について、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が41.6%で最も多く、次いで「正社員・正規職員・会社役員」が25.5%、「働いていない(専業主婦／主夫を含む。)」が20.4%となっています。

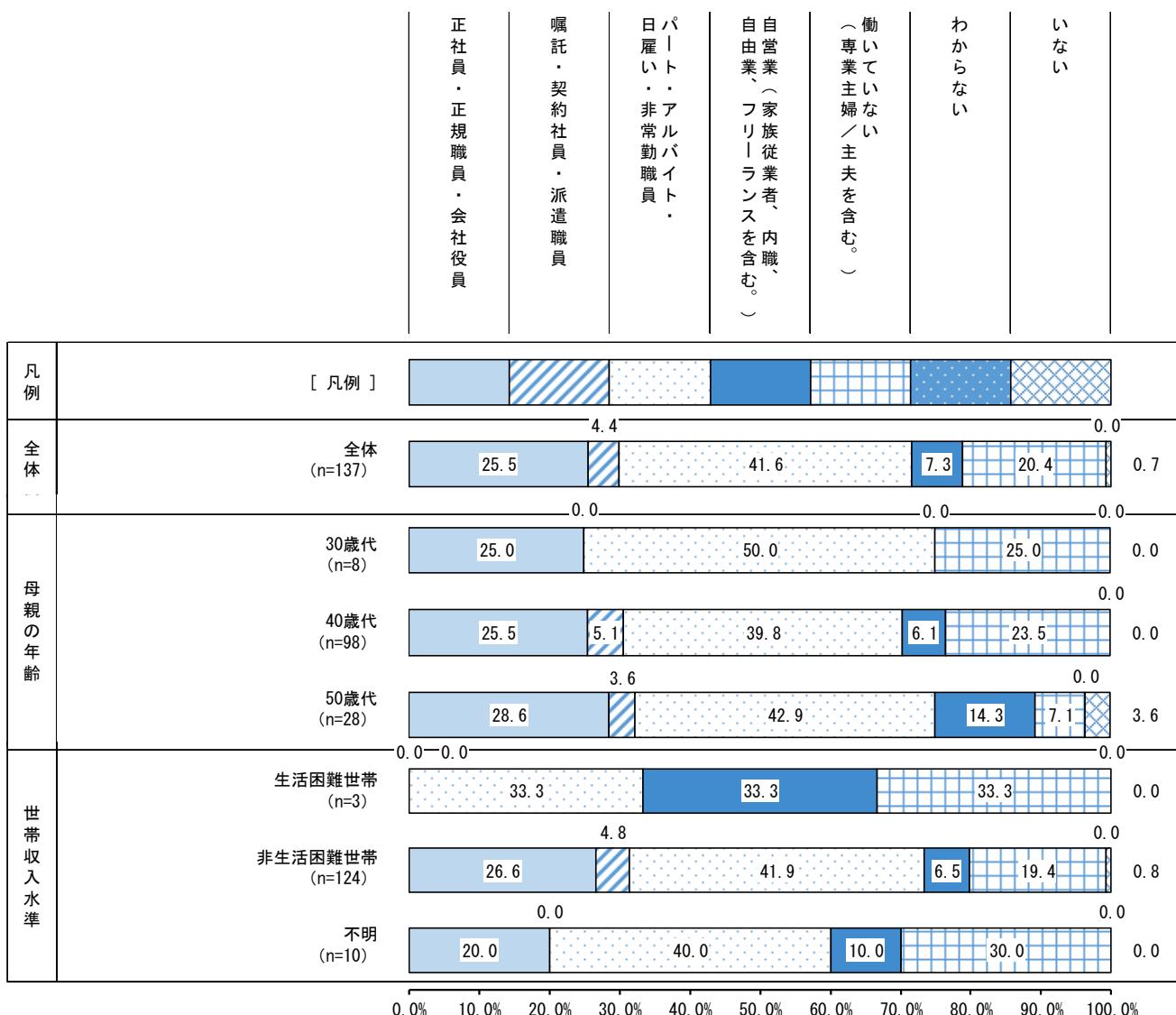
【母親の年齢】

- 「正社員・正規職員・会社役員」は50歳代が28.6%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」は30歳代が50.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【世帯収入水準】

- 「正社員・正規職員・会社役員」は生活困難世帯が0.0%となっているのに対し、非生活困難世帯が26.6%と多くなっています。

【就労状況(母親)】



問9b 就労状況をお答えください。(父親)

【全体】

- 就労状況(父親)について、「正社員・正規職員・会社役員」が66.4%で最も多く、次いで「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)」が6.6%、「嘱託・契約社員・派遣職員」「いない」が1.5%となっています。

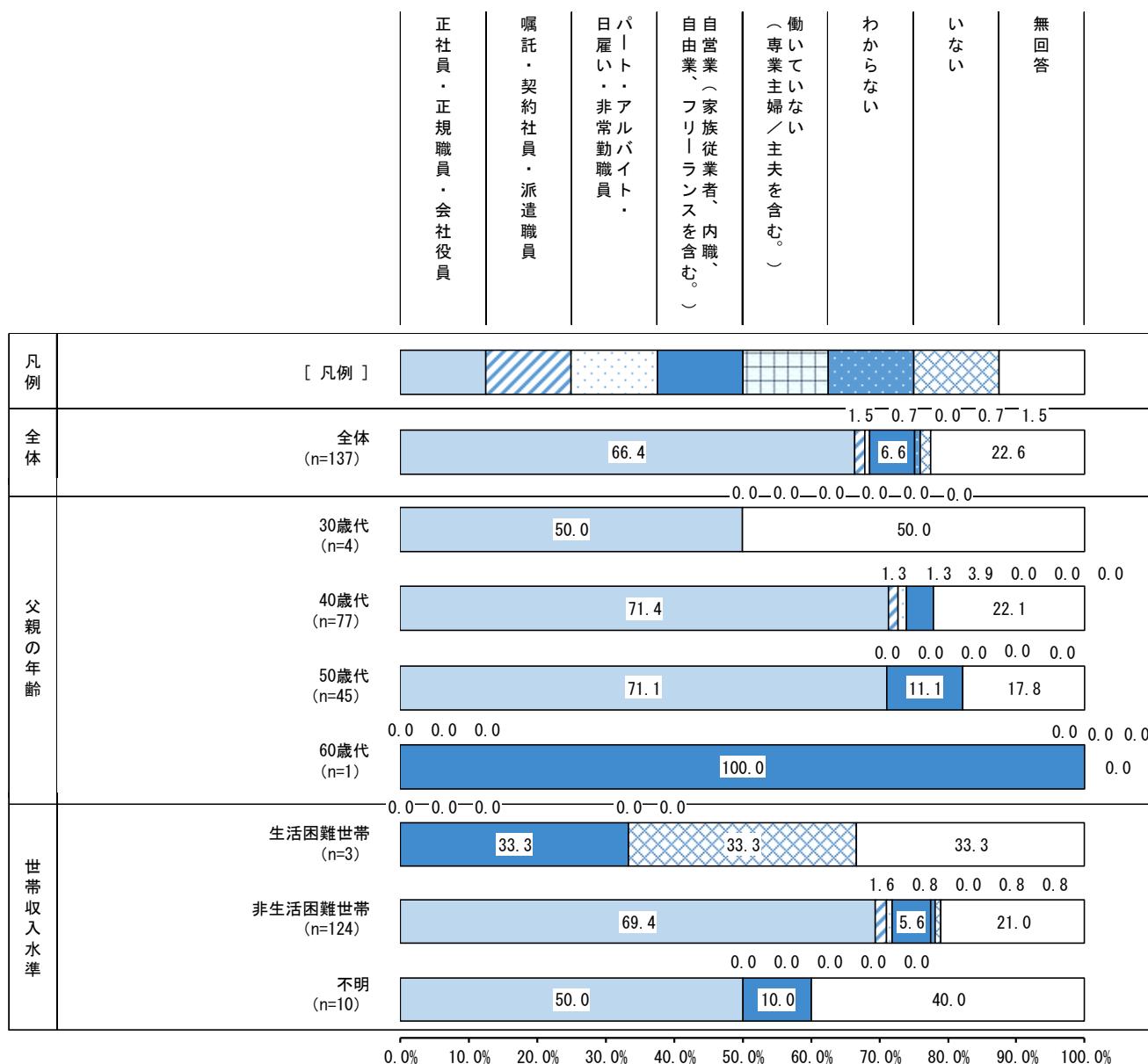
【保護者の年齢 父親】

- 「正社員・正規職員・会社役員」は30歳代が50.0%と他の区分に比べて少なくなっています。

【世帯収入水準】

- 「正社員・正規職員・会社役員」は生活困難世帯が0.0%となっているのに対し、非生活困難世帯は69.4%と多くなっています。

【就労状況(父親)】



(2) 働いていない理由

問10a 働いていない最も主な理由を教えてください。(母親) (前の質問で「5. 働いていない」を選んだ人)

【全体】

- 働いていない最も主な理由(母親)について、「子育てを優先したいため」が42.9%で最も多く、次いで「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が21.4%、「家族の介護・介助のため」が10.7%となっています。

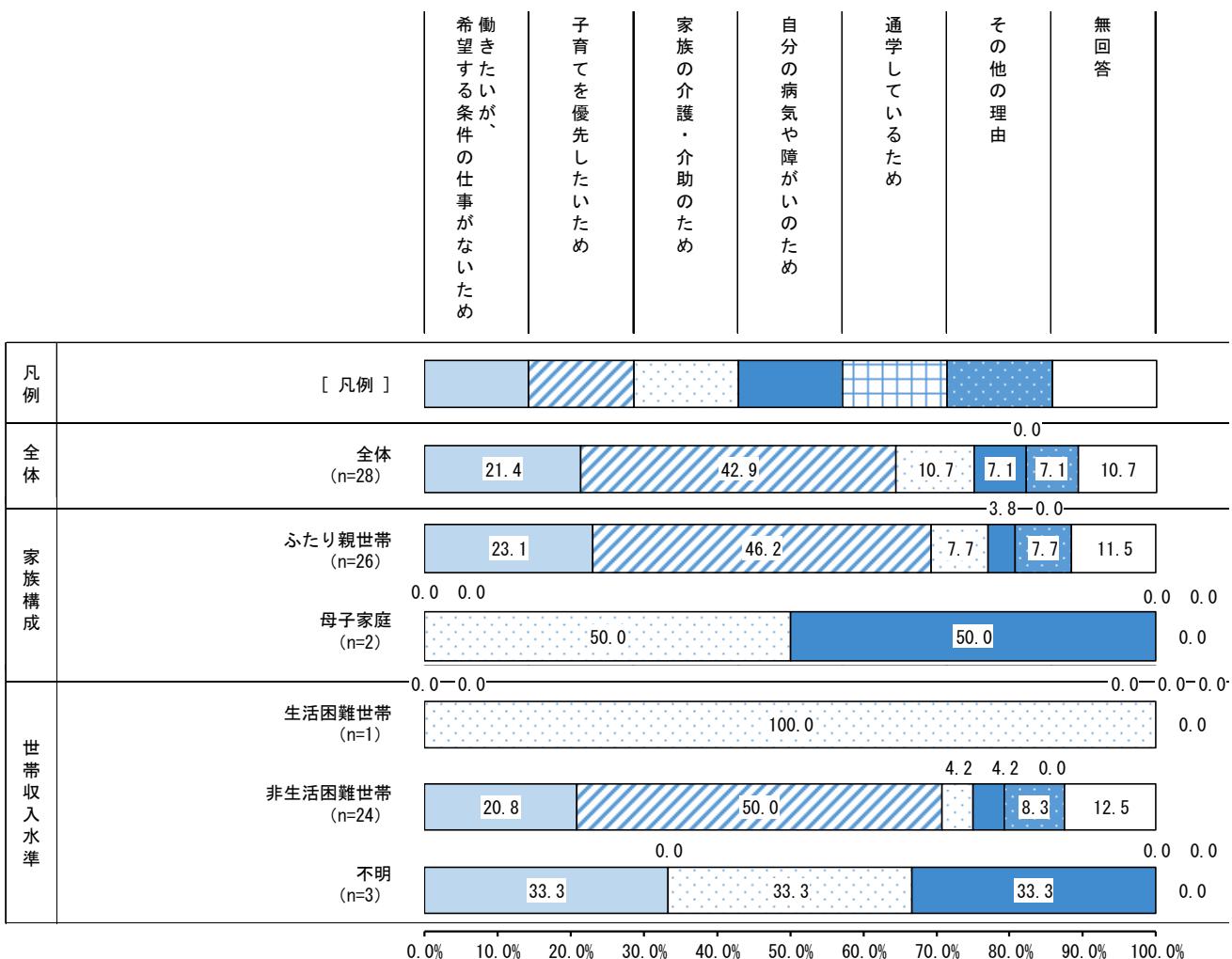
【家族構成】

- 「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」はふたり親世帯が23.1%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- 「子育てを優先したいため」は非生活困難世帯が50.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【働いていない最も主な理由(母親)】



※問10b 働いていない最も主な理由を教えてください。(父親)について、有効回答がありませんでした。

4. 保育の状況

(1) 子どもが0～2歳のときに通っていた教育・保育施設等

問11 お子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なものをお答えください。

【全体】

- お子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等について、「もっぱら親・親族が面倒をみていた」が62.8%で最も多く、次いで「認可保育所・認定こども園」が24.8%、「その他の教育・保育等の施設」が6.6%となっています。

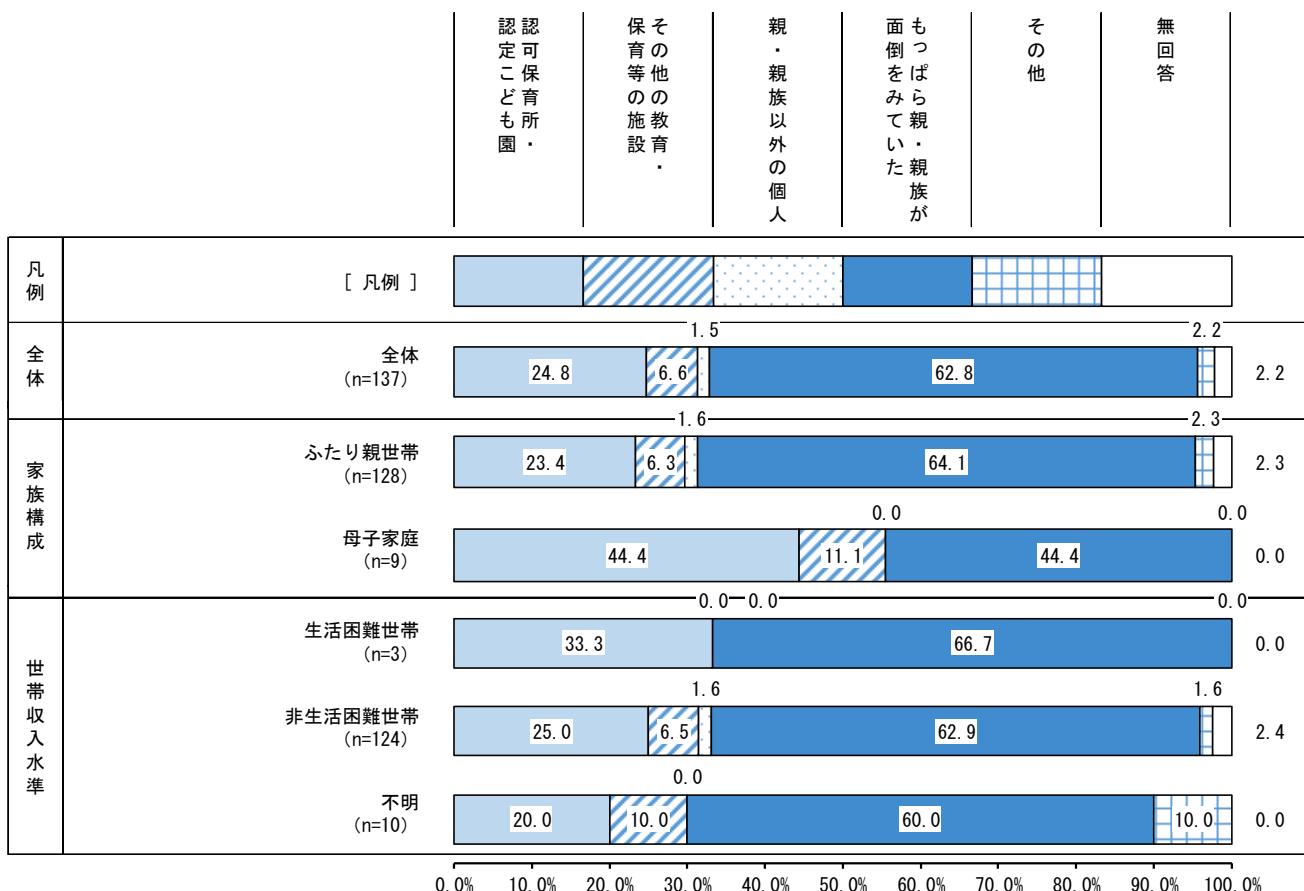
【家族構成】

- 「認可保育所・認定こども園」はふたり親世帯が23.4%となっているのに対し、母子家庭は44.4%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- 「認可保育所・認定こども園」は非生活困難世帯が25.0%となっているのに対し、生活困難世帯は33.3%と多くなっています。
- 「もっぱら親・親族が面倒をみていた」は生活困難世帯が66.7%、非生活困難世帯は62.9%となっています。

【お子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等】



(2) こども3～5歳のときに通っていた教育・保育施設等

問12 お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なものをお答えください。

【全体】

- お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等について、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」が91.2%で最も多く、次いで「もっぱら親・親族が面倒をみていた」が3.6%、「その他の教育・保育等の施設」が2.9%となっています。

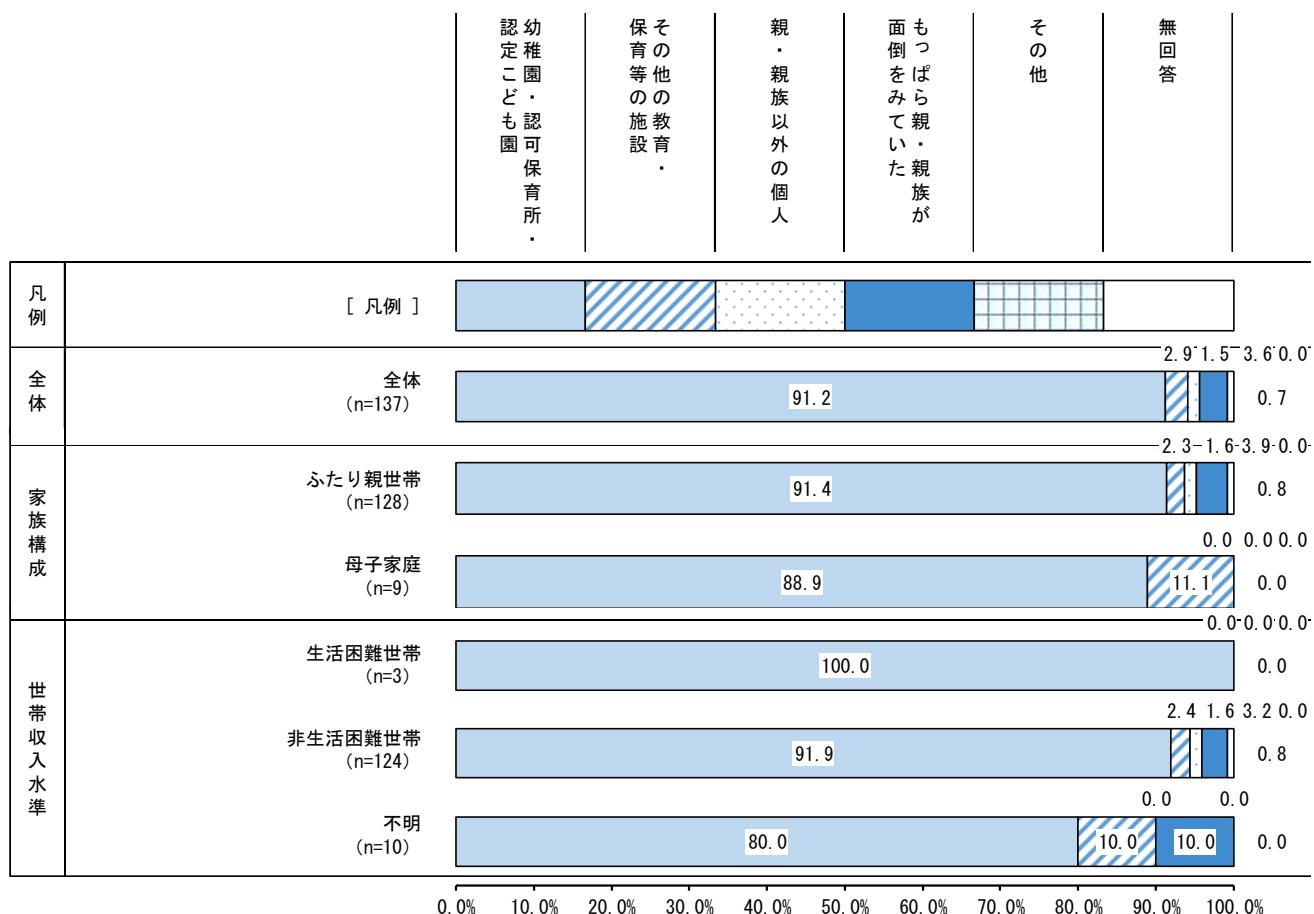
【家族構成】

- 「幼稚園・認可保育所・認定こども園」はふたり親世帯が91.4%、母子家庭は88.9%となっています。

【世帯収入水準】

- 「幼稚園・認可保育所・認定こども園」は生活困難世帯が100.0%となっているのに対し、非生活困難世帯が91.9%となっています。

【お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等】



5. 子どもとの関わり方

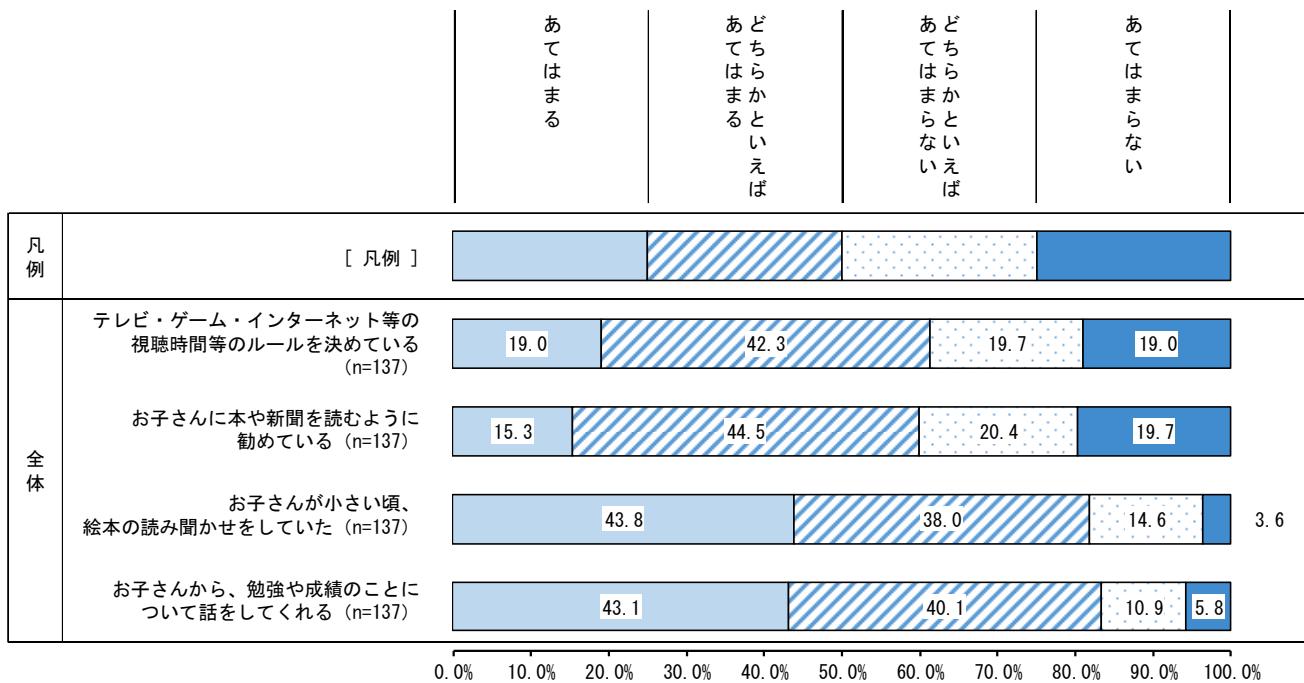
(1) 子どもとの関わり方

問13 あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。

【全体】

- 「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を合わせた“あてはまる人”は、お子さんから、勉強や成績のことについて話してくれるが 83.2%、お子さんが小さい頃、絵本の読み聞かせをしていたが 81.8% と他の区分に比べて多くなっています。

【お子さんとの関わり方】



(2) テレビ等のルールについて

問13a テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めていますか。

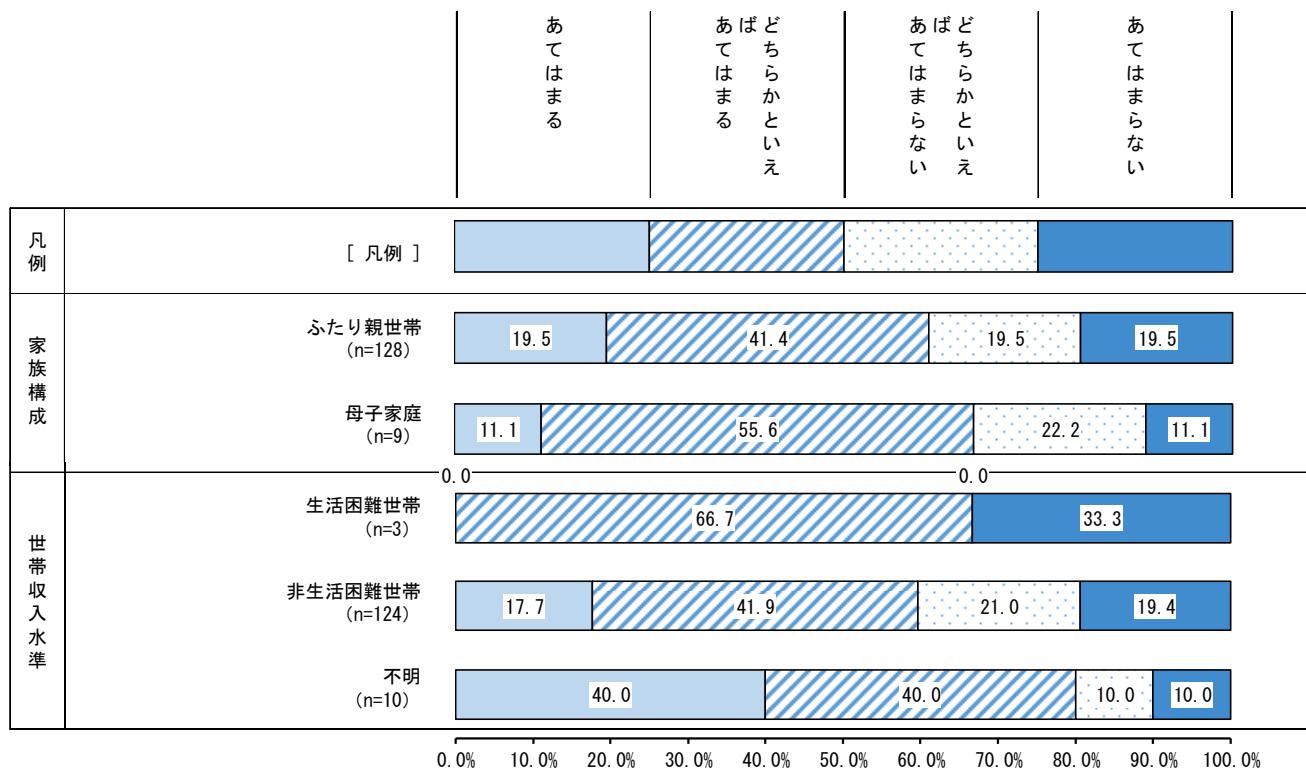
【家族構成】

- テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めているかについて、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を合わせた“あてはまる人”はふたり親世帯が 60.9%となっているのに対し、母子家庭は 66.7%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- “あてはまる人”は非生活困難世帯が 59.6%となっているのに対し、生活困難世帯は 66.7%と多くなっています。

【テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めているか】



(3) 本や新聞を読むことについて

問13b お子さんに本や新聞を読むように勧めていますか。

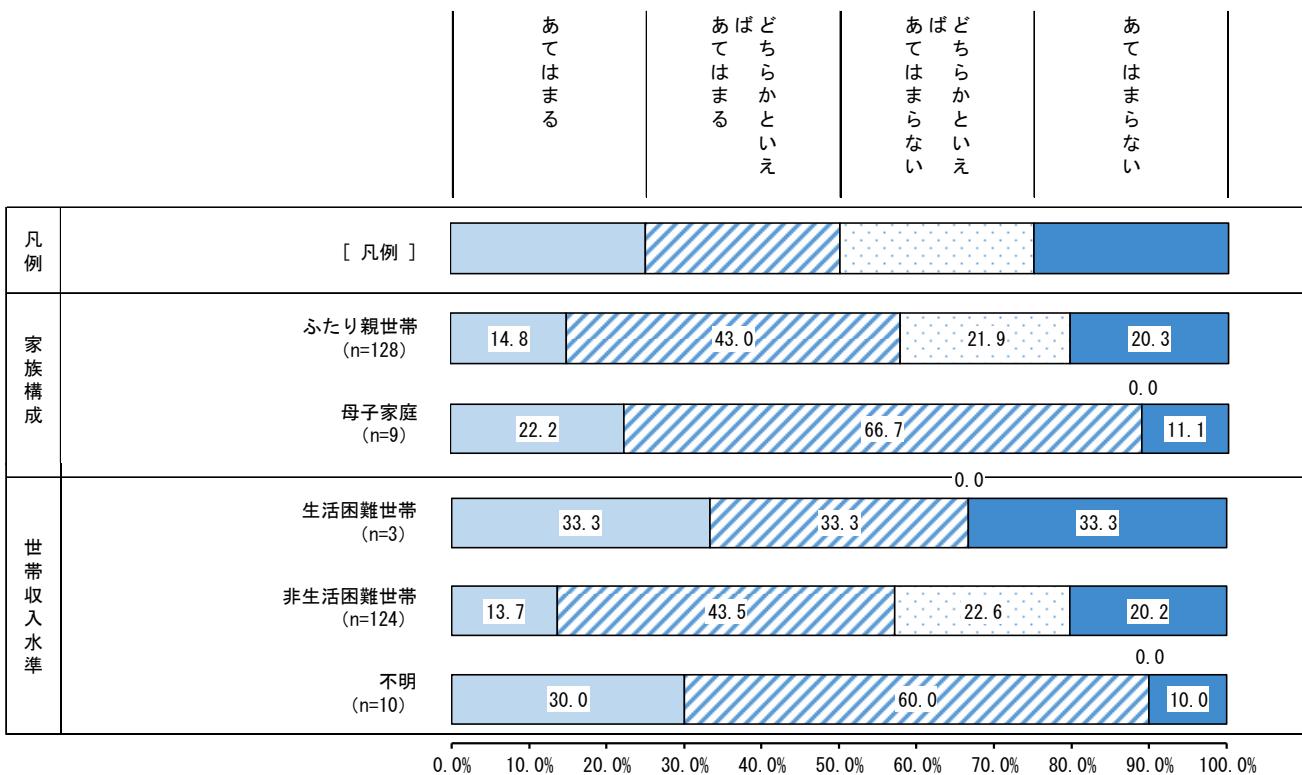
【家族構成】

- お子さんに本や新聞を読むように勧めているかについて、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を合わせた“あてはまる人”はふたり親世帯が 57.8%となっているのに対し、母子家庭は 88.9%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- “あてはまる人”は非生活困難世帯が 57.2%となっているのに対し、生活困難世帯は 66.6%と多くなっています。

【お子さんに本や新聞を読むように勧めているか】



(4) 絵本の読み聞かせについて

問13c お子さんが小さい頃、絵本の読み聞かせをしていましたか。

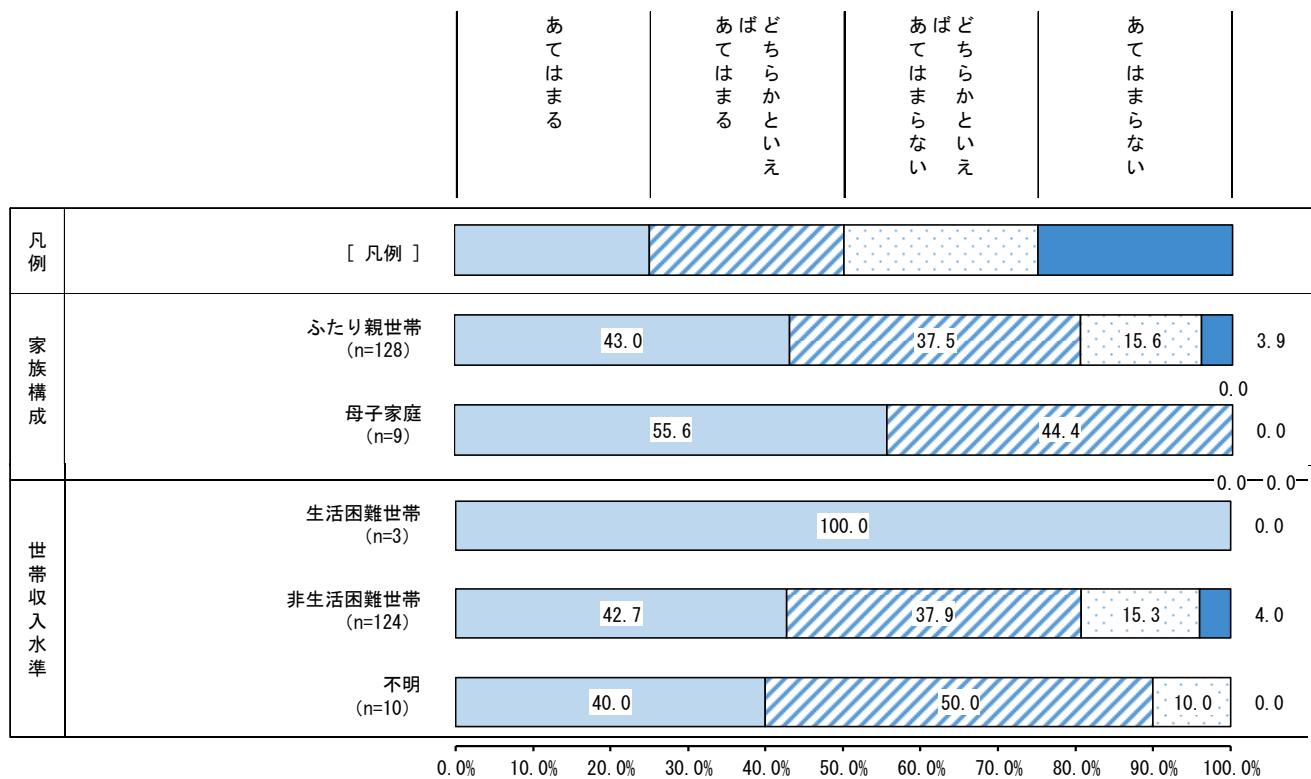
【家族構成】

- お子さんが小さい頃、絵本の読み聞かせをしていたかについて、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を合わせた“あてはまる人”はふたり親世帯が 80.5%となっているのに対し、母子家庭は 100.0%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- “あてはまる人”は非生活困難世帯が 80.6%となっているのに対し、生活困難世帯は 100.0%となっています。

【お子さんが小さい頃、絵本の読み聞かせをしていたか】



(5) 勉強や成績のことについて

問13d お子さんから、勉強や成績のことについて話してくれますか。

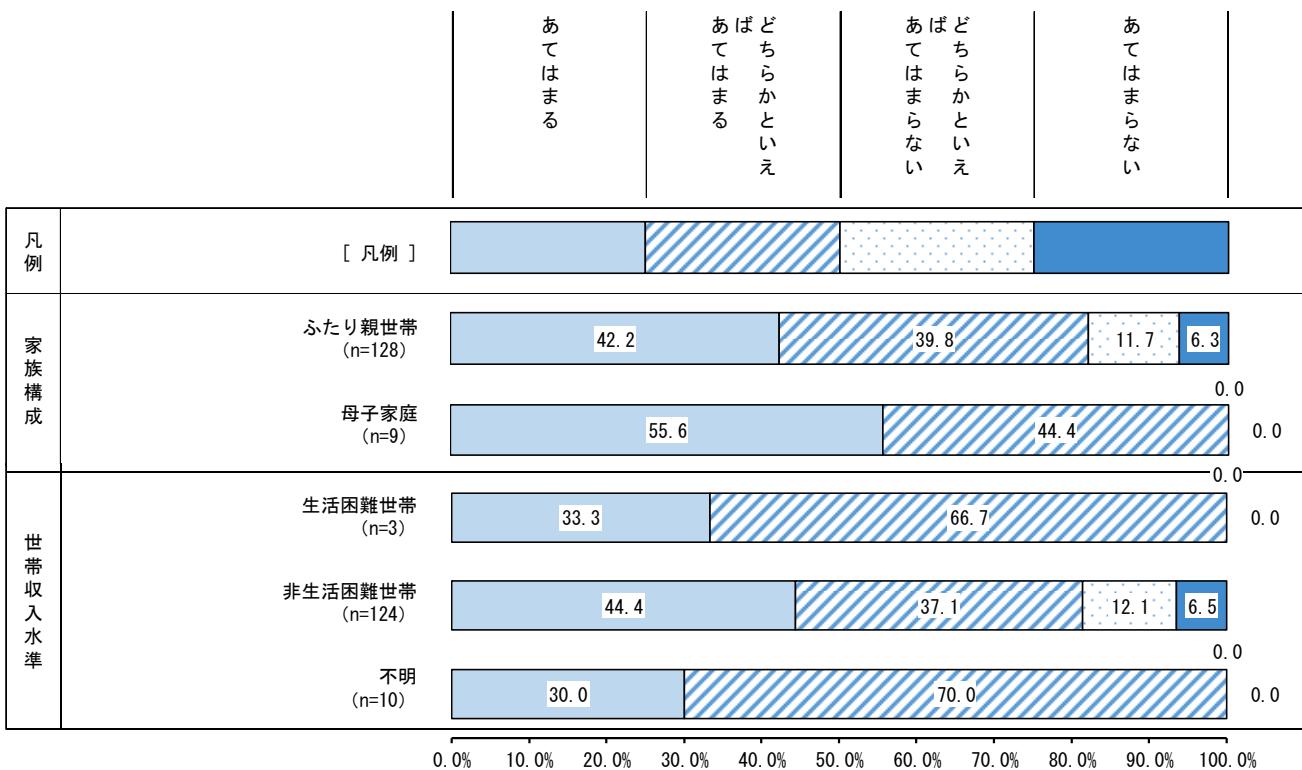
【家族構成】

- お子さんから、勉強や成績のことについて話してくれるかについて、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を合わせた“あてはまる人”はふたり親世帯が 82.0%となっているのに対し、母子家庭が 100.0%となっています。

【世帯収入水準】

- “あてはまる人”は非生活困難世帯が 81.5%となっているのに対し、生活困難世帯は 100.0%と多くなっています。

【お子さんから、勉強や成績のことについて話してくれるか】



6. 学校との関わり・参加

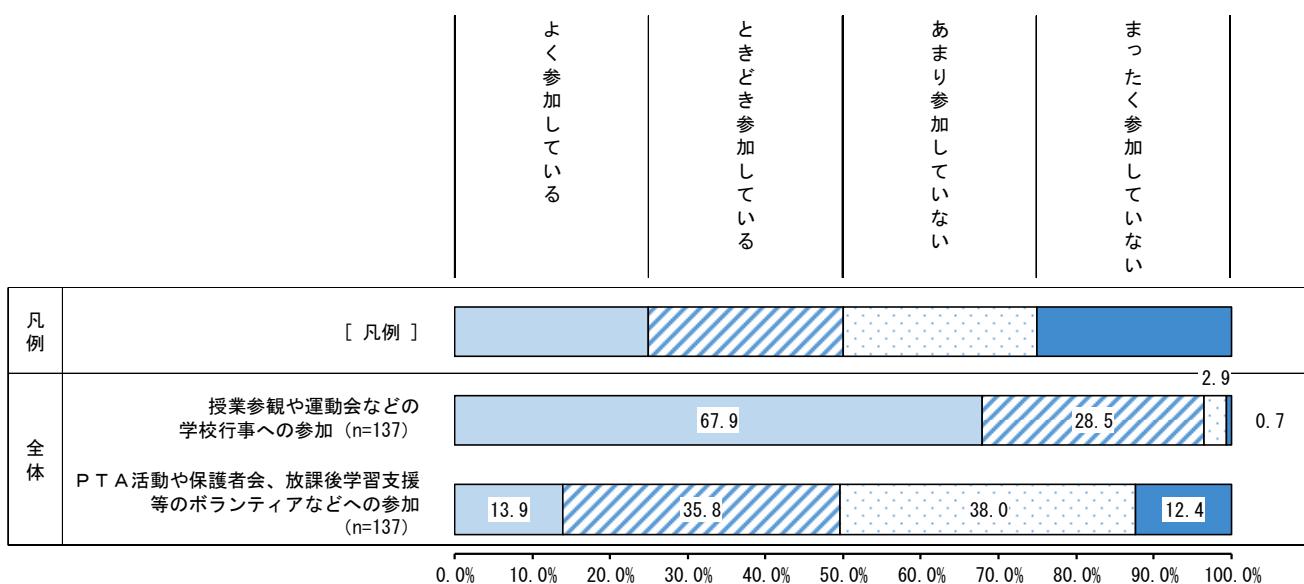
(1) 学校との関わり・参加

問14 あなたは、次のようなことをどの程度していますか。

【全体】

- 活動への参加について、「よく参加している」「ときどき参加している」を合わせた“参加している人”はPTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加が49.7%となっているのに対し、授業参観や運動会などの学校行事への参加は96.4%と多くなっています。
- 「あまり参加していない」「まったく参加していない」を合わせた“参加していない人”は授業参観や運動会などの学校行事への参加が3.6%となっているのに対し、PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加は50.4%と多くなっています。

【活動への参加】



(2) 学校行事への参加

問14a 授業参観や運動会などの学校行事へ参加していますか。

【家族構成】

- 授業参観や運動会などの学校行事への参加について、「よく参加している」「ときどき参加している」を合わせた「参加している人」は母子家庭が 88.9%となっているのに対し、ふたり親世帯は 96.9%と多くなっています。

【母親の年齢】

- 「参加している人」は30歳代が 100.0%、50歳代が 96.4%、40歳代が 95.9%となっています。

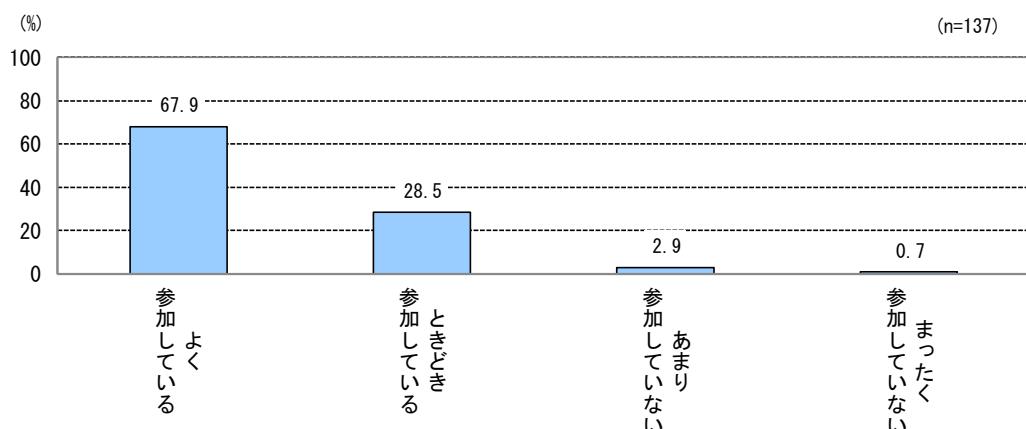
【父親の年齢】

- 「参加している人」は30歳代が 100.0%、40歳代が 98.7%、50歳代が 95.6%となっています。

【世帯収入水準】

- 「参加している人」は生活困難世帯が 66.7%となっているのに対し、非生活困難世帯は 97.5%と多くなっています。

【授業参観や運動会などの学校行事への参加】



	母数 (n)	授業参観や運動会などの学校行事への参加			
		しょくい参加	参と加きどしてきい	参あ加ましりていな	参ま加つしたくていな
全体 (n=137)	137	67.9	28.5	2.9	0.7
家族構成	ふたり親世帯 (n=128)	128	68.0	28.9	2.3
	母子家庭 (n=9)	9	66.7	22.2	11.1
	父子家庭 (n=0)	-	-	-	-
	その他世帯 (n=0)	-	-	-	-
母親の年齢	19歳以下 (n=0)	-	-	-	-
	20歳代 (n=0)	-	-	-	-
	30歳代 (n=8)	8	▼ 50.0	△ 50.0	-
	40歳代 (n=98)	98	70.4	25.5	3.1
	50歳代 (n=28)	28	64.3	32.1	3.6
	60歳代 (n=0)	-	-	-	-
父親の年齢	19歳以下 (n=0)	-	-	-	-
	20歳代 (n=0)	-	-	-	-
	30歳代 (n=4)	4	▼ 50.0	△ 50.0	-
	40歳代 (n=77)	77	66.2	32.5	1.3
	50歳代 (n=45)	45	75.6	20.0	4.4
	60歳代 (n=1)	1	-	-	△ 100.0
入世水準収	生活困難世帯 (n=3)	3	66.7	-	- △ 33.3
	非生活困難世帯 (n=124)	124	68.5	29.0	2.4
	不明 (n=10)	10	60.0	30.0	10.0

(3) PTAへの参加

問14b PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへ参加していますか。

【家族構成】

- P T A活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加について、「よく参加している」「ときどき参加している」を合わせた“参加している人”はふたり親世帯が 49.3%となっているのに対し、母子家庭は 55.5%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「あまり参加していない」「まったく参加していない」を合わせた“参加していない人”は母子家庭が 44.4%となっているのに対し、ふたり親世帯は 50.8%と多くなっています。

【母親の年齢】

- “参加している人”は30歳代が 87.5%、40歳代が 46.9%、50歳代が 46.5%となっています。
- “参加していない人”は50歳代が 53.6%、40歳代が 53.0%、30歳代が 12.5%となっています。

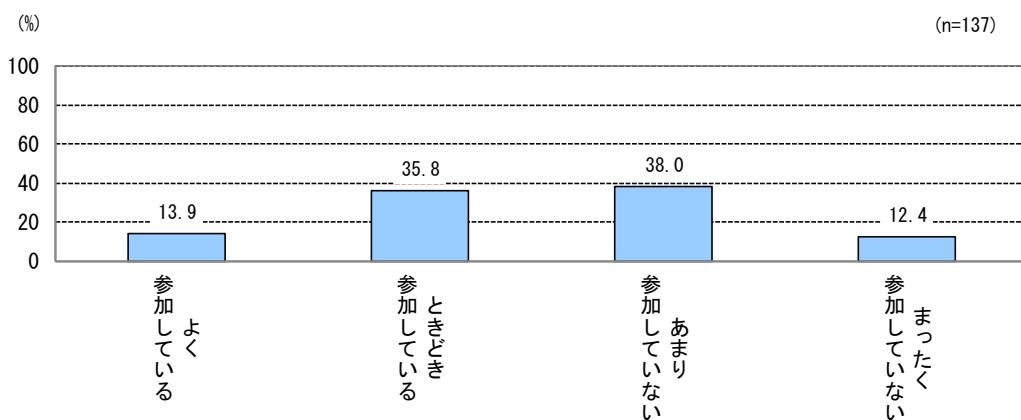
【父親の年齢】

- “参加している人”は30歳代が 75.0%、50歳代が 53.4%、40歳代が 46.8%となっています。
- “参加していない人”は40歳代が 53.3%、50歳代が 46.7%、30歳代が 25.0%となっています。

【世帯収入水準】

- “参加している人”は生活困難世帯が 33.3%となっているのに対し、非生活困難世帯は 50.8%と多くなっています。
- “参加していない人”は非生活困難世帯が 49.2%となっているのに対し、生活困難世帯は 66.7%と多くなっています。

【PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加】



	母数 (n)	PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加				単位：%
		しょ く い参 加	参 と 加 き し ど て き い る	参 あ 加 ま り し い な い	参 ま 加 つ し た く い な い	
全体 (n=137)	137	13.9	35.8	38.0	12.4	
家族構成	ふたり親世帯 (n=128)	128	14.1	35.2	39.1	11.7
	母子家庭 (n=9)	9	11.1	44.4	▼ 22.2	22.2
	父子家庭 (n=0)	-	-	-	-	-
	その他世帯 (n=0)	-	-	-	-	-
母親の年齢	19歳以下 (n=0)	-	-	-	-	-
	20歳代 (n=0)	-	-	-	-	-
	30歳代 (n=8)	8	12.5	△ 75.0	▼ 12.5	-
	40歳代 (n=98)	98	12.2	34.7	40.8	12.2
	50歳代 (n=28)	28	17.9	28.6	35.7	17.9
	60歳代 (n=0)	-	-	-	-	-
父親の年齢	19歳以下 (n=0)	-	-	-	-	-
	20歳代 (n=0)	-	-	-	-	-
	30歳代 (n=4)	4	-	△ 75.0	▼ 25.0	-
	40歳代 (n=77)	77	14.3	32.5	40.3	13.0
	50歳代 (n=45)	45	15.6	37.8	40.0	6.7
	60歳代 (n=1)	1	-	-	-	△ 100.0
入世水準収	生活困難世帯 (n=3)	3	-	33.3	-	△ 66.7
	非生活困難世帯 (n=124)	124	14.5	36.3	37.9	11.3
	不明 (n=10)	10	10.0	30.0	△ 50.0	10.0

7. 進学期待・展望

(1) 子どもの進学段階に関する希望・展望

問15 お子さんは将来、現実的にみてどの学校に進学すると思いますか。

【全体】

- お子さんは将来、現実的にみてどの学校に進学すると思うかについて、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」が62.0%で最も多く、次いで「まだわからない」が16.8%、「中学、高校」が8.8%となっています。

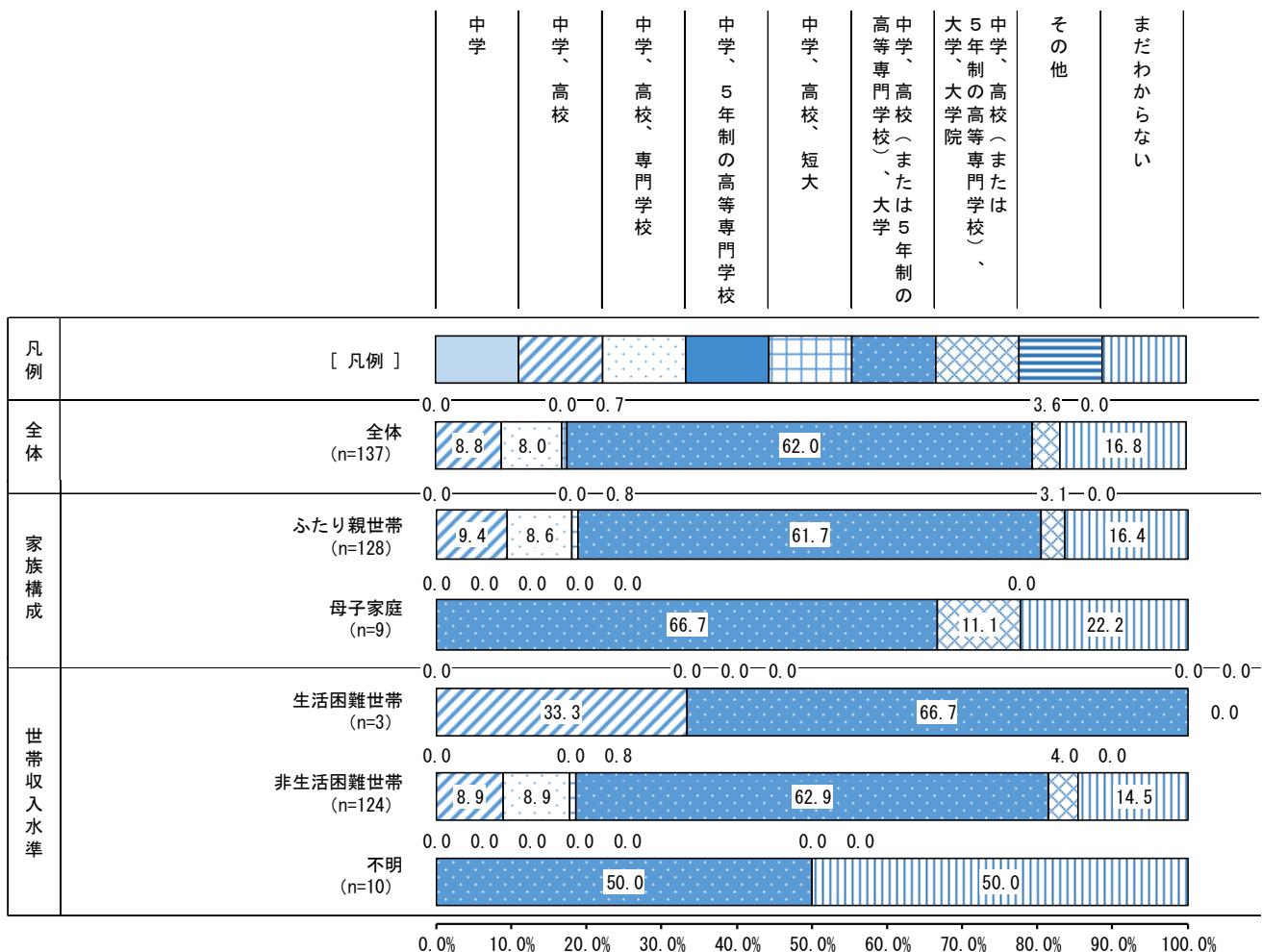
【家族構成】

- 「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」は母子家庭が66.7%、ふたり親世帯が61.7%となっています。

【世帯収入水準】

- 「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」は生活困難世帯が66.7%、非生活困難世帯が62.9%となっています。

【お子さんは将来、現実的にみてどの学校に進学すると思うか】



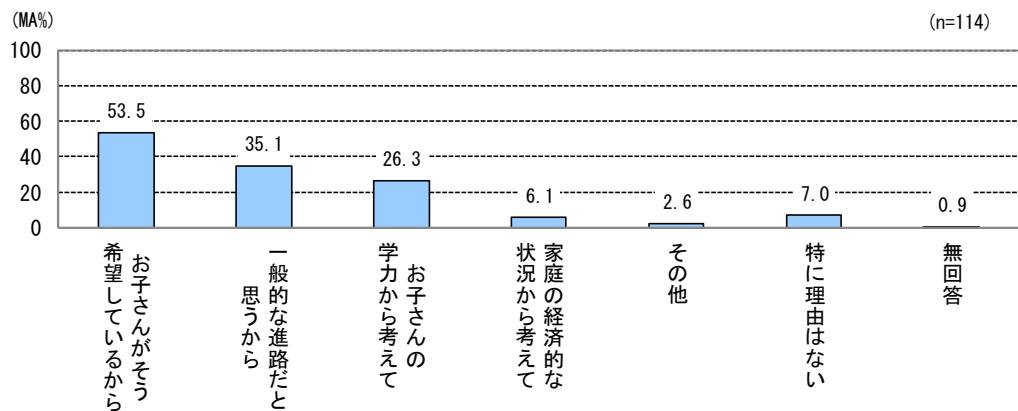
(2) 進学段階に関する希望・展望についてそう考える理由

問16 進学すると思う理由は何ですか。(MA) (前の質問で「9. まだわからない」以外を選んだ人)

【全体】

- 進学すると思う理由について、「お子さんがそう希望しているから」が 53.5%で最も多く、次いで「一般的な進路だと思うから」が 35.1%、「お子さんの学力から考えて」が 26.3%となっています。

【進学すると思う理由 (MA)】



8. 頼れる人の有無・相手

(1) 子育てに関する相談

問17a-1 子育てに関する相談で頼れる人はいますか。

【全体】

- 子育てに関する相談について、「頼れる人がいる」が 90.5%で最も多く、次いで「いない」が 1.5%、「そのことでは人に頼らない」が 0.7%となっています。

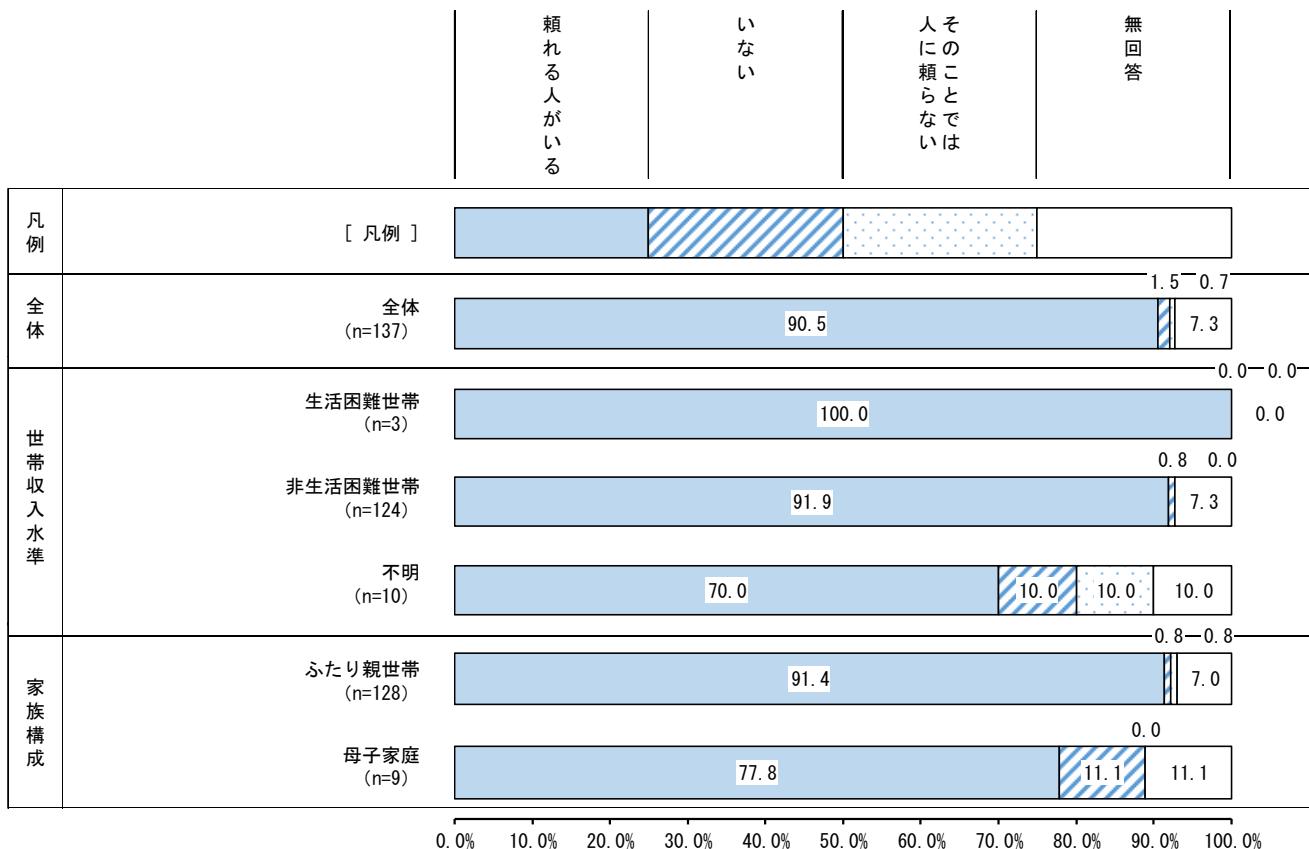
【家族構成】

- 「頼れる人がいる」は母子家庭が 77.8%となっているのに対し、ふたり親世帯は 91.4%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- 「頼れる人がいる」は非生活困難世帯が 91.9%となっているのに対し、生活困難世帯は 100.0%多くなっています。

【子育てに関する相談】

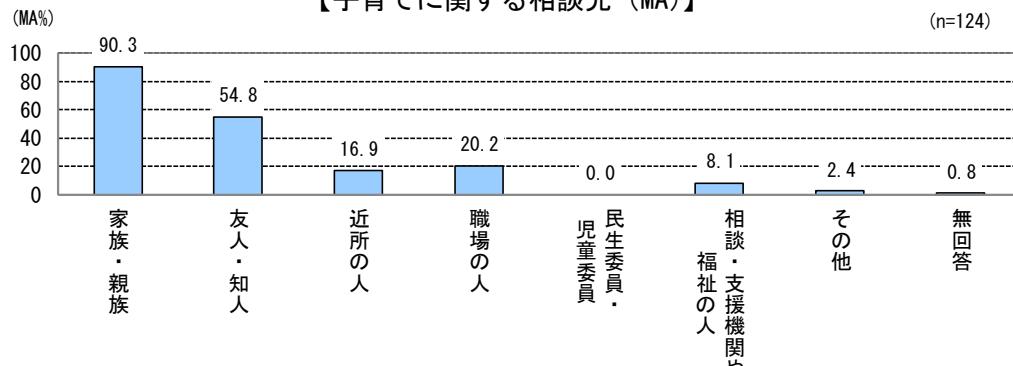


問17a-2 頼れる人は誰ですか。 (MA)

【全体】

- 子育てに関する相談先について、「家族・親族」が 90.3%で最も多く、次いで「友人・知人」が 54.8%、「職場の人」が 20.2%となっています。

【子育てに関する相談先 (MA)】



(2) 重要な事柄の相談

問17b-1 重要な事柄の相談で頼れる人はいますか。

【全体】

- 重要な事柄の相談について、「頼れる人がいる」が 90.5%で最も多く、次いで「いない」が 1.5%、「そのことでは人に頼らない」が 0.7%となっています。

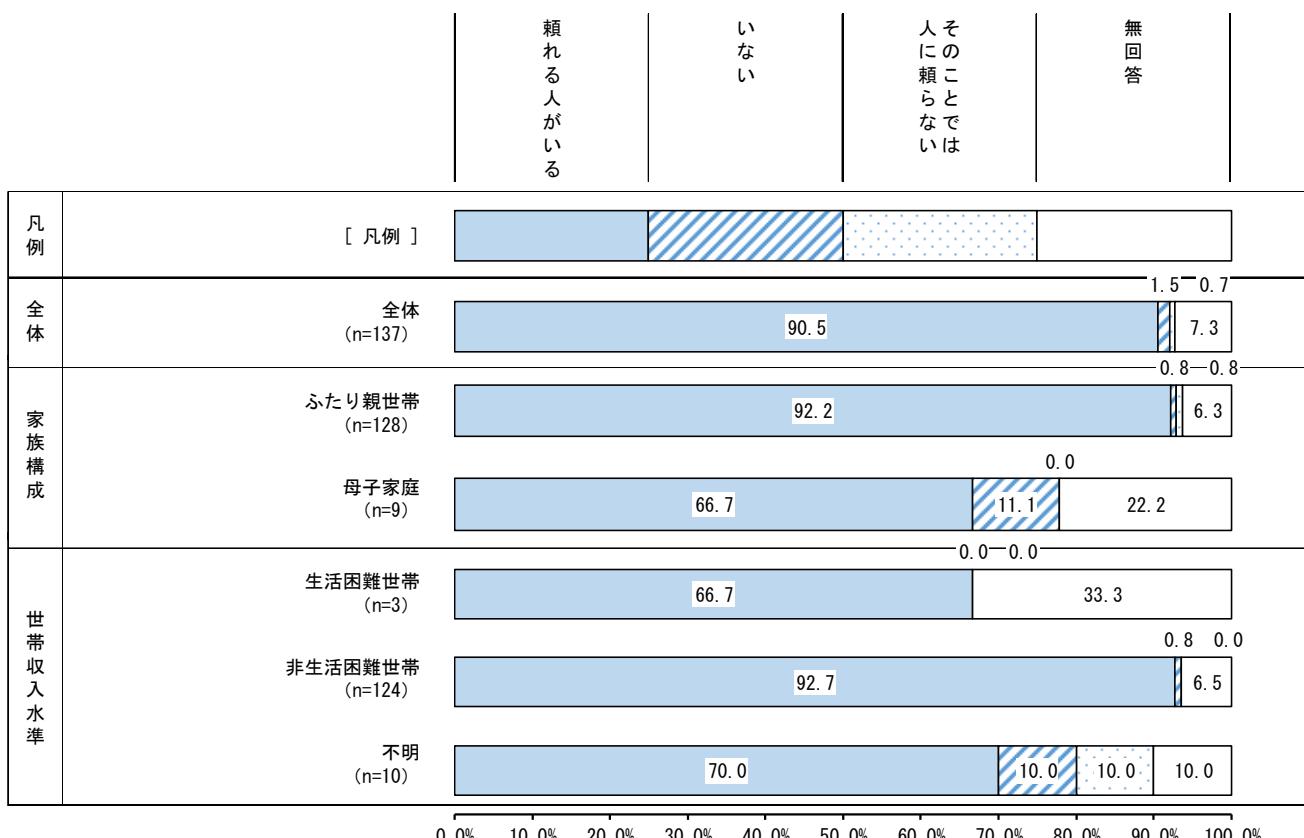
【家族構成】

- 「頼れる人がいる」は母子家庭が 66.7%となっているのに対し、ふたり親世帯は 92.2%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- 「頼れる人がいる」は生活困難世帯が 66.7%となっているのに対し、非生活困難世帯は 92.7%と多くなっています。

【重要な事柄の相談】

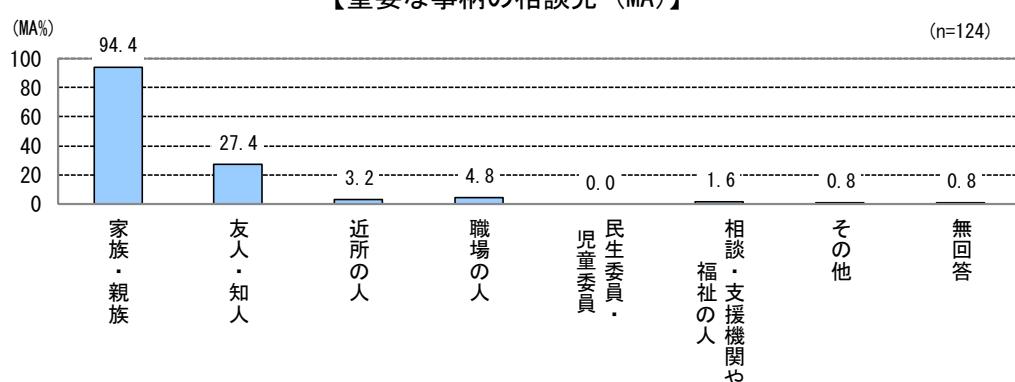


問17b-2 頼れる人は誰ですか。 (MA)

【全体】

- 重要な事柄の相談先について、「家族・親族」が 94.4%で最も多く、次いで「友人・知人」が 27.4%、「職場の人」が 4.8%となっています。

【重要な事柄の相談先 (MA)】



(3) いざというときのお金の援助

問17c-1 いざというときのお金の援助で頼れる人はいますか。

【全体】

- いざというときのお金の援助について、「頼れる人がいる」が 74.5%で最も多く、次いで「そのことでは人に頼らない」が 2.9%、「いない」が 1.5%となっています。

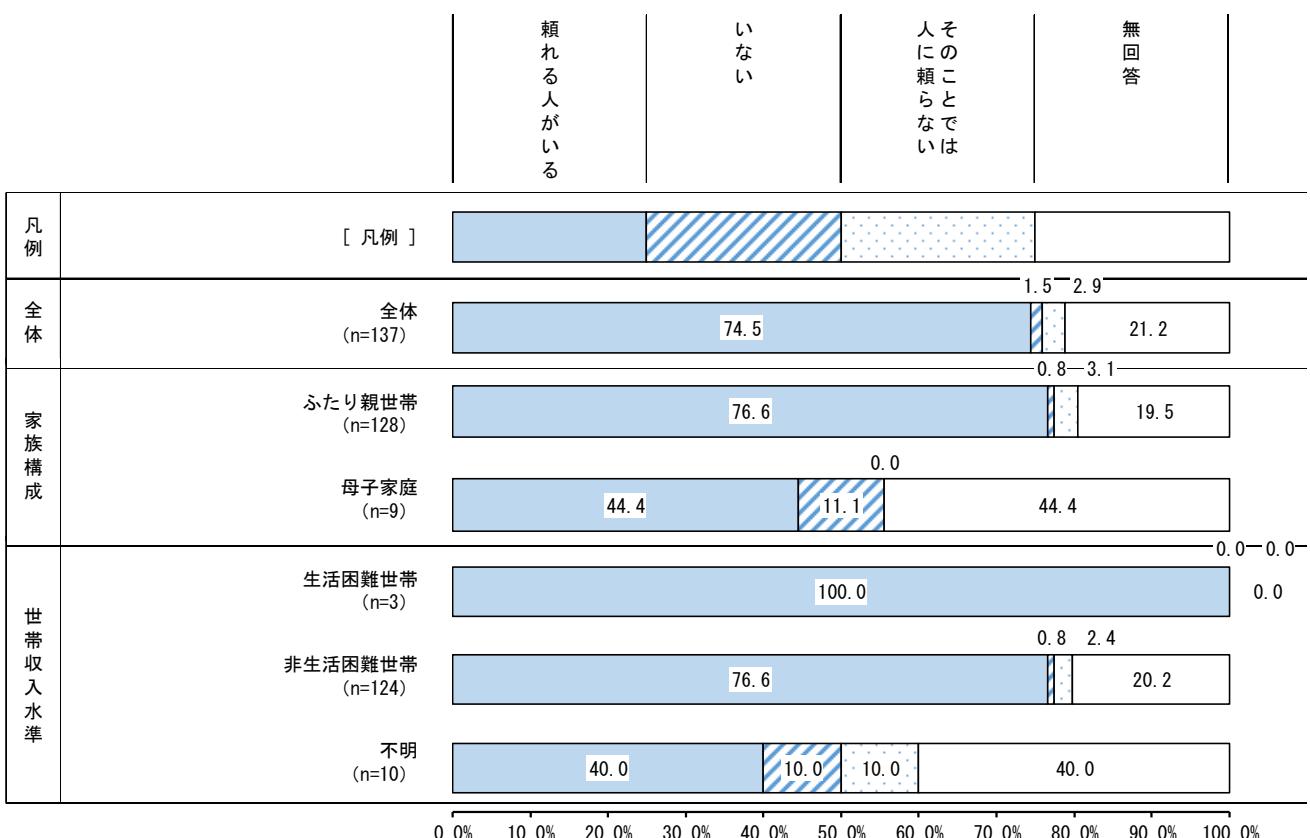
【家族構成】

- 「頼れる人がいる」は母子家庭が 44.4%となっているのに対し、ふたり親世帯は 76.6%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- 「頼れる人がいる」は非生活困難世帯が 76.6%となっているのに対し、生活困難世帯は 100.0%と多くなっています。

【いざというときのお金の援助】

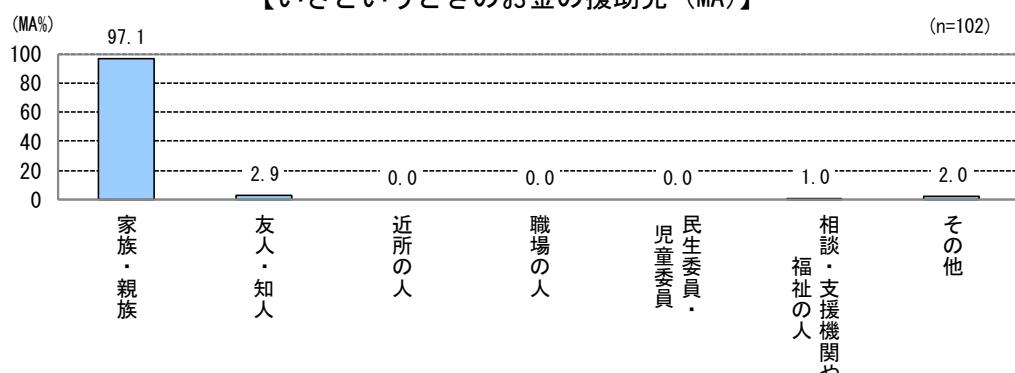


問17c-2 頼れる人は誰ですか。 (MA)

【全体】

- いざというときのお金の援助先について、「家族・親族」が 97.1%で最も多く、次いで「友人・知人」が 2.9%、「その他」が 2.0%となっています。

【いざというときのお金の援助先 (MA)】



9. 経済的な状況、暮らしの状況

(1) 暮らしの状況についての認識

問18 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。

【全体】

- 現在の暮らしの状況について、「普通」が 57.7%で最も多く、次いで「ゆとりがある」が 22.6%、「苦しい」が 11.7%となっています。
- 「大変ゆとりがある」「ゆとりがある」を合わせた“ゆとりがある人”は 24.8%となっています。
- 「苦しい」「大変苦しい」を合わせた“苦しい人”は 17.5%となっています。

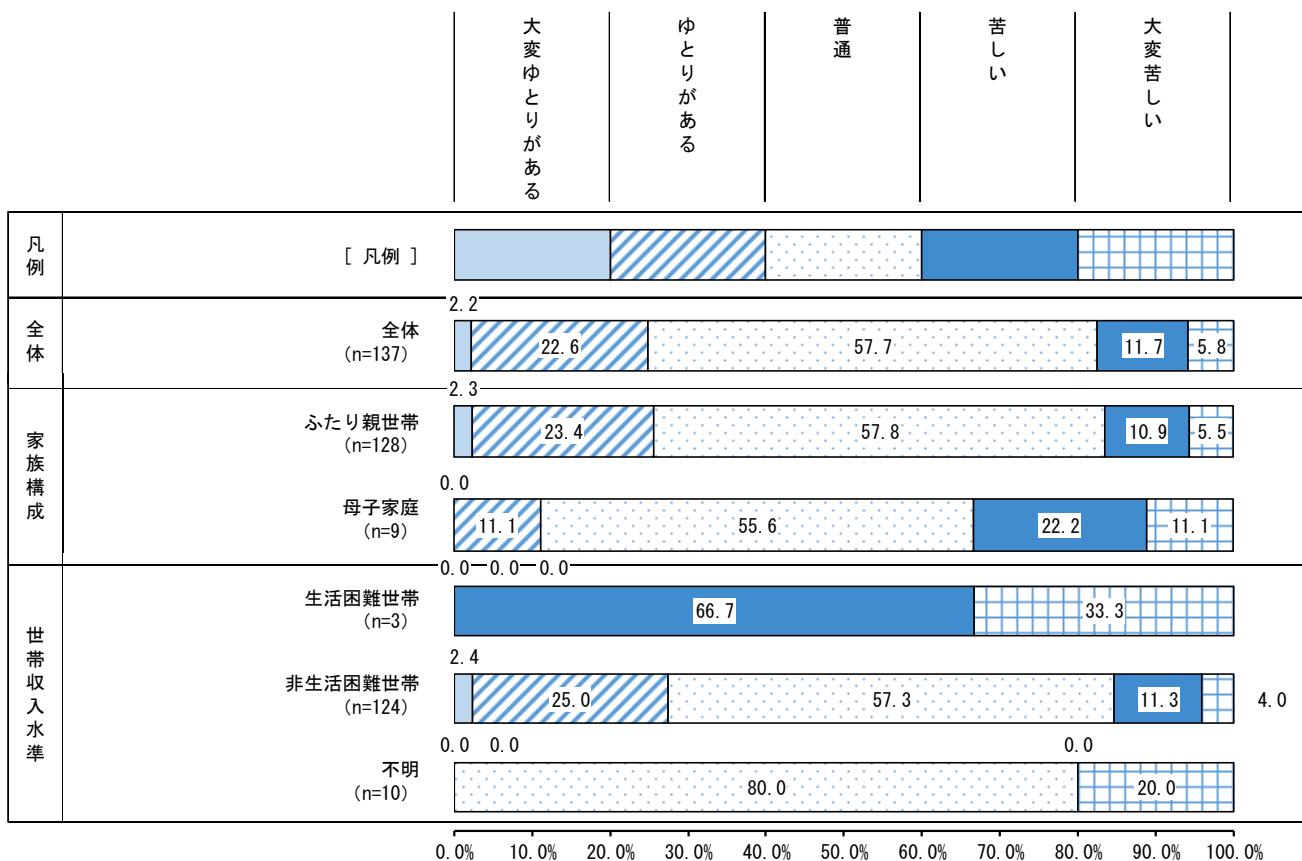
【家族構成】

- “ゆとりがある人”は母子家庭が 11.1%となっているのに対し、ふたり親世帯は 25.7%と多くなっています。
- “苦しい人”はふたり親世帯が 16.4%となっているのに対し、母子家庭は 33.3%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- “ゆとりがある人”は生活困難世帯が 0.0%となっているのに対し、非生活困難世帯は 27.4%と多くなっています。
- “苦しい人”は非生活困難世帯が 15.3%となっているのに対し、生活困難世帯は 100.0%と多くなっています。

【現在の暮らしの状況】



(2) 世帯全体の年間収入

問19 世帯全体のおおよその年間収入はいくらですか。

【全体】

- 世帯全体のおおよその年間収入について、「1,000万円以上」が24.1%で最も多く、次いで「600～700万円未満」が13.9%、「900～1,000万円未満」が12.4%となっています。
- 民間給与実態統計調査（令和4（2023）年度）の平均給与である458万円と比べると、高い傾向がみられます。

【家族構成】

- ふたり親世帯は「1,000万円以上」が25.0%と最も多くなっています。
- 母子家庭では「300～350万円未満」が22.2%と最も多くなっています。

【世帯全体のおおよその年間収入】



単位：%

	母数 (n)	世帯全体のおおよその年間収入								
		50万円 未満	50～100万 円未満	100～150万 円未満	150～200万 円未満	200～250万 円未満	250～300万 円未満	300～350万 円未満	350～400万 円未満	400～450万 円未満
全体 (n=137)	137	-	0.7	-	1.5	-	1.5	2.2	2.9	3.6
家族構成	ふたり親世帯 (n=128)	128	-	0.8	-	0.8	-	0.8	0.8	3.1
	母子家庭 (n=9)	9	-	-	-	11.1	-	11.1	△ 22.2	-
	父子家庭 (n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他世帯 (n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-

単位：%

	母数 (n)	世帯全体のおおよその年間収入							
		450～500万 円未満	500～600万 円未満	600～700万 円未満	700～800万 円未満	800～900万 円未満	900～1,000 万円未満	1,000万円 以上	無回答
全体 (n=137)	137	4.4	7.3	13.9	7.3	10.9	12.4	24.1	7.3
家族構成	ふたり親世帯 (n=128)	128	4.7	7.8	14.1	7.8	11.7	13.3	25.0
	母子家庭 (n=9)	9	-	-	11.1	-	-	▼ 11.1	33.3
	父子家庭 (n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他世帯 (n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-

問19-1 生活状況をお答えください。

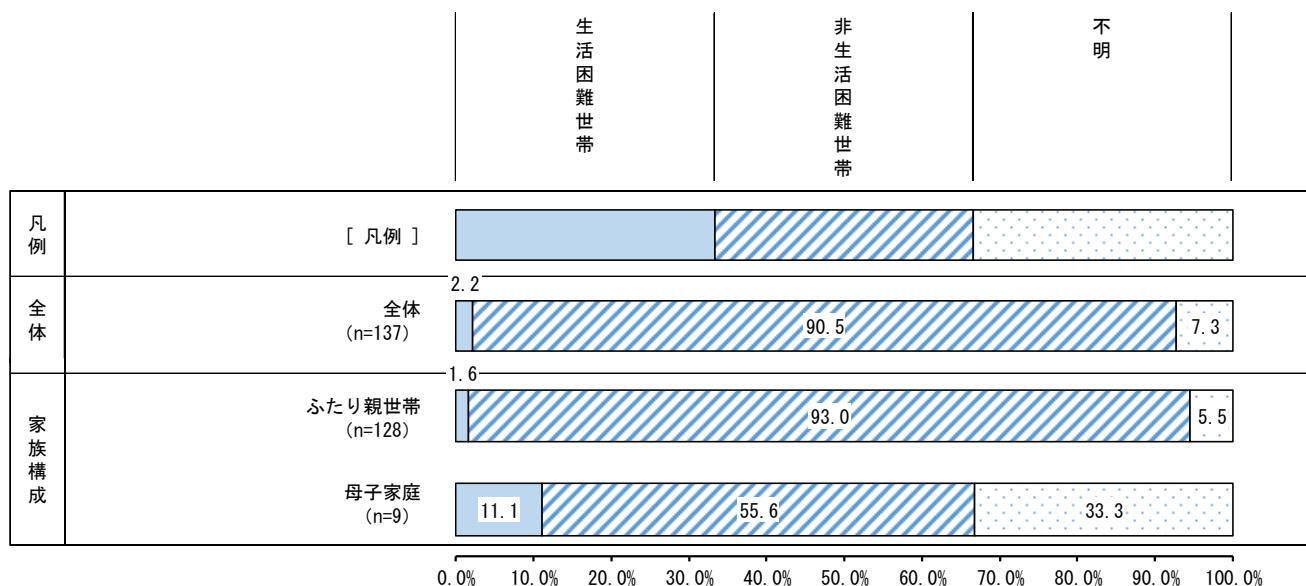
【全体】

- 生活困難世帯の判定について、「生活困難世帯」が 2.2%、「非生活困難世帯」が 90.5%となっています。

【家族構成】

- 「生活困難世帯」はふたり親世帯が 1.6%となっているのに対し、母子家庭は 11.1%と多くなっています。

【生活困難世帯の判定】



【生活困難世帯の判定方法】

本調査において、世帯年収水準は「問3 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。」と「問19 世帯全体のおおよその年間収入はいくらですか。」の情報を踏まえて下記のような処理をし、分類しています。

- 年間収入に関する回答の各選択肢の中央値をその世帯の収入値とする（例えば、「50万円未満」であれば25万円、「50～100万円未満」であれば75万円とする。なお、「1,000万円以上」は1,050万円とする。）。
- 上記の値を、同居家族の人数の平方根を取ったもので除す。
- 上記の方法で算出した値（等価可処分所得）を 2021（令和3）年の貧困線（等価可処分所得の中央値の半分）にあたる 127万円以下を生活困難世帯と判定する。

(3) 食料が買えなかつた経験

問20 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。

【全体】

- お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがあったかについて、「まったくなかつた」が89.8%で最も多く、次いで「まれにあった」が5.1%、「ときどきあった」が2.2%となっています。
- 「よくあった」「ときどきあった」を合わせた“あった人”は3.7%となっています。

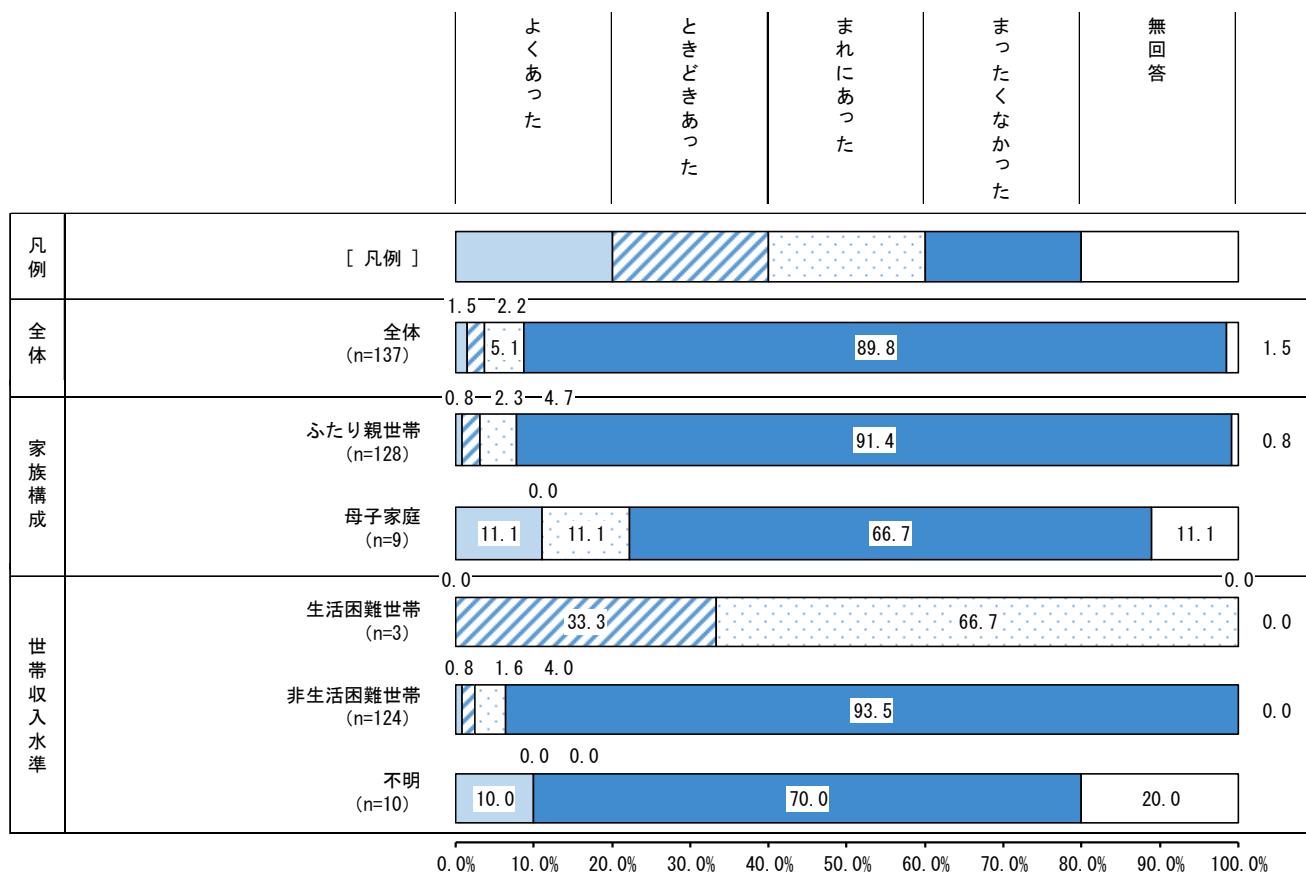
【家族構成】

- “あった人”はふたり親世帯が3.1%となっているのに対し、母子家庭は11.1%と多くなっています。
- 「まったくなかつた」は母子家庭が66.7%となっているのに対し、ふたり親世帯は91.4%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- “あった人”は非生活困難世帯が2.4%となっているのに対し、生活困難世帯は33.3%と多くなっています。
- 「まったくなかつた」は生活困難世帯が0.0%となっているのに対し、非生活困難世帯は93.5%と多くなっています。

【お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えなかつた経験】



(4) 衣服が買えなかつた経験

問21 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。

【全体】

- お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがあったかについて、「まったくなかつた」が85.4%で最も多く、次いで「まれにあった」が8.0%、「ときどきあった」が2.9%となっています。
- 「よくあった」「ときどきあった」を合わせた“あった人”は5.1%となっています。

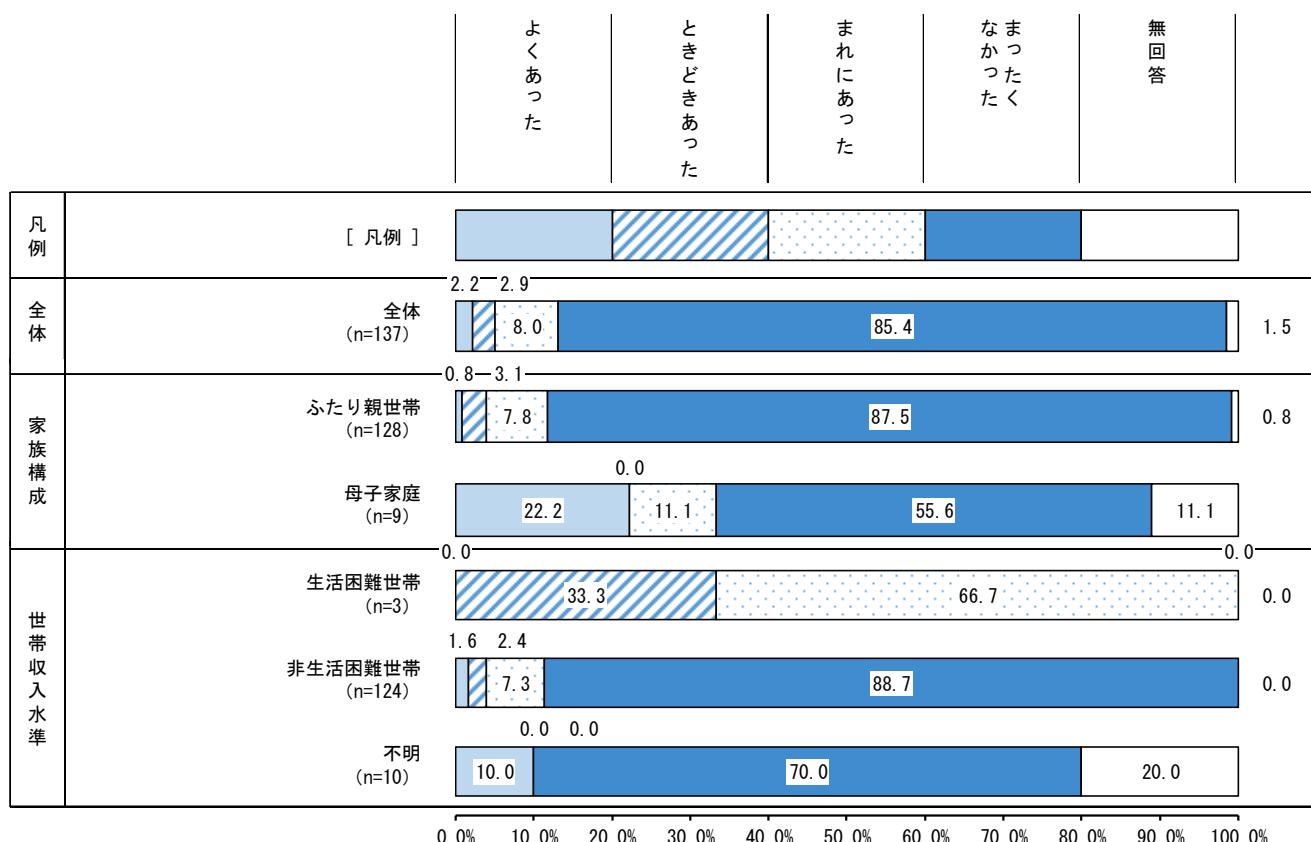
【家族構成】

- “あった人”はふたり親世帯が3.9%となっているのに対し、母子家庭は22.2%と多くなっています。
- 「まったくなかつた」は母子家庭が55.6%となっているのに対し、ふたり親世帯は87.5%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- “あった人”は非生活困難世帯が4.0%となっているのに対し、生活困難世帯は33.3%と多くなっています。
- 「まったくなかつた」は生活困難世帯が0.0%となっているのに対し、非生活困難世帯は88.7%と多くなっています。

【お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えなかつた経験】



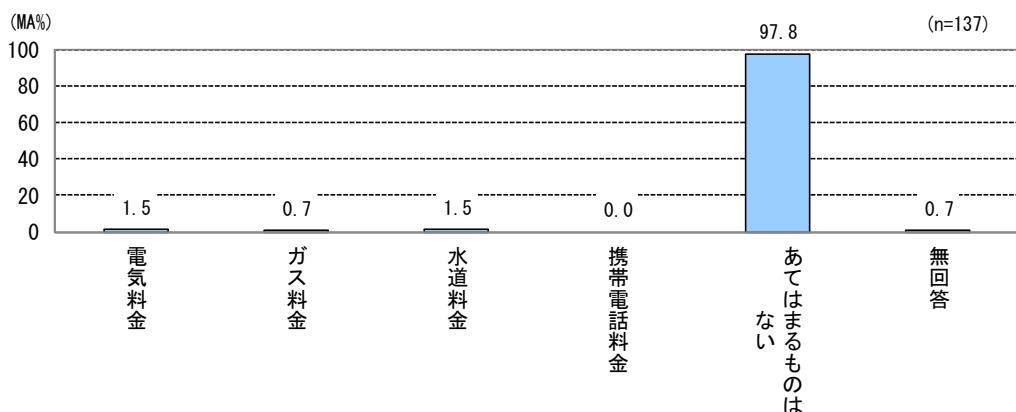
(5) 未払いの経験

問22 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありますか。(MA)

【全体】

- 経済的な理由で未払いになったことがあったかについて、「あてはまるものはない」が97.8%で最も多く、次いで「電気料金」「水道料金」が1.5%、「ガス料金」が0.7%となっています。

【経済的な理由で未払いになったことがあったか (MA)】



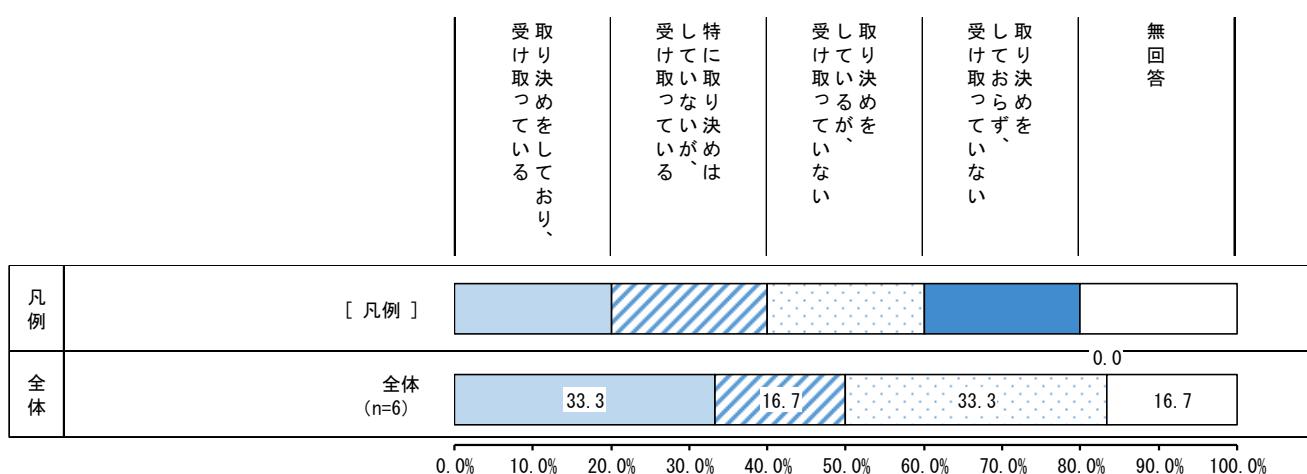
(6) 養育費の取り決めの有無

問7 離婚相手とお子さんの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。(問6で「2. 離婚」を選んだ人)

【全体】

- 教育費について、「取り決めをしており、受け取っている」「取り決めをしているが、受け取っていない」が33.3%で最も多く、次いで「特に取り決めはしていないが、受け取っている」が16.7%となっています。
- 「取り決めをしており、受け取っている」「特に取り決めはしていないが、受け取っている」を合わせた“受け取っている人”は50.0%となっています。
- 「取り決めをしているが、受け取っていない」「取り決めをしておらず、受け取っていない」を合わせた“受け取っていない人”は33.3%となっています。

【教育費】



10. 保護者の心理的な状態

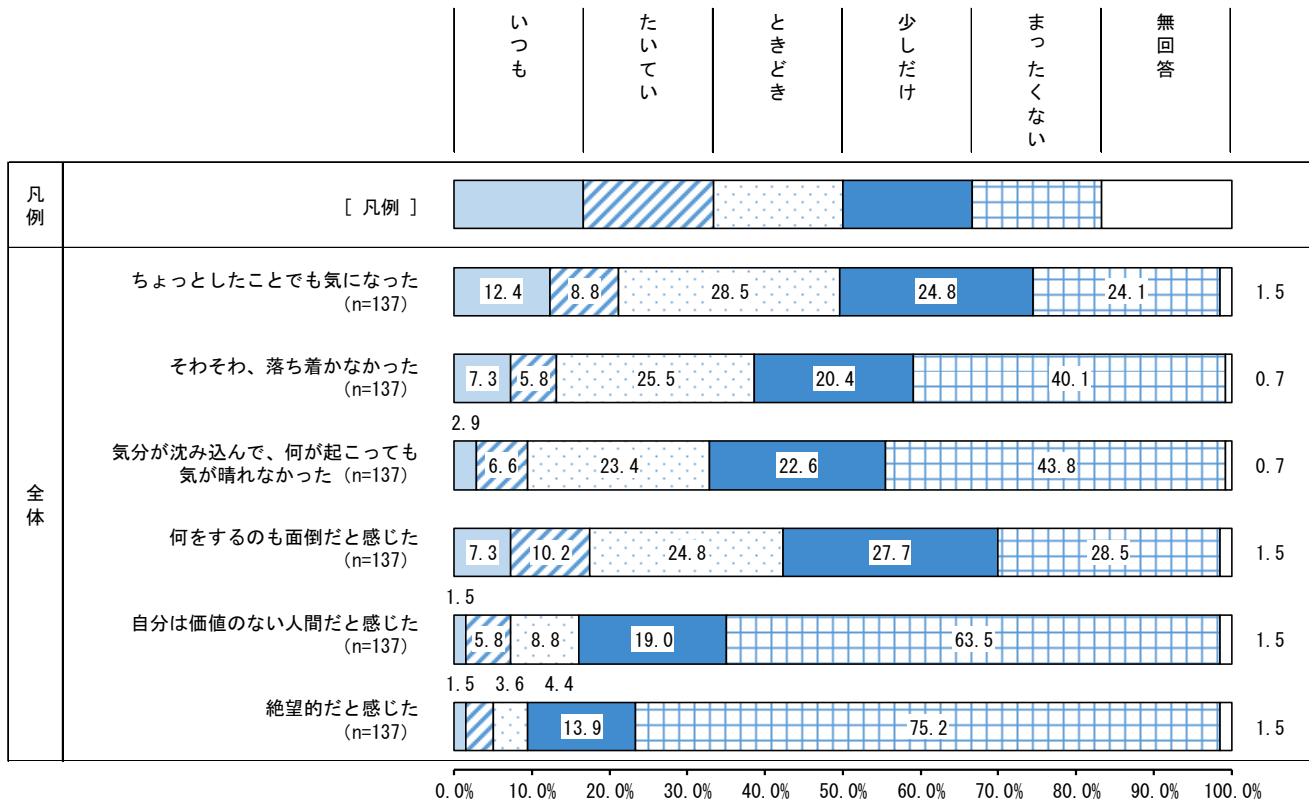
(1) 心理的な状態

問23 次の質問について、この1か月間のあなたの気持ちはどのようにでしたか。

【全体】

- 1か月間の気持ちについて、「いつも」はちょっとしたことでも気になったが 12.4%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「まったくない」は絶望的だと感じたが 75.2%と他の区分に比べて多くなっています。

【1か月間の気持ち】



(2) ちょっとしたことでも気になったこと

問23a ちょっとしたことでも気になったことはありましたか。

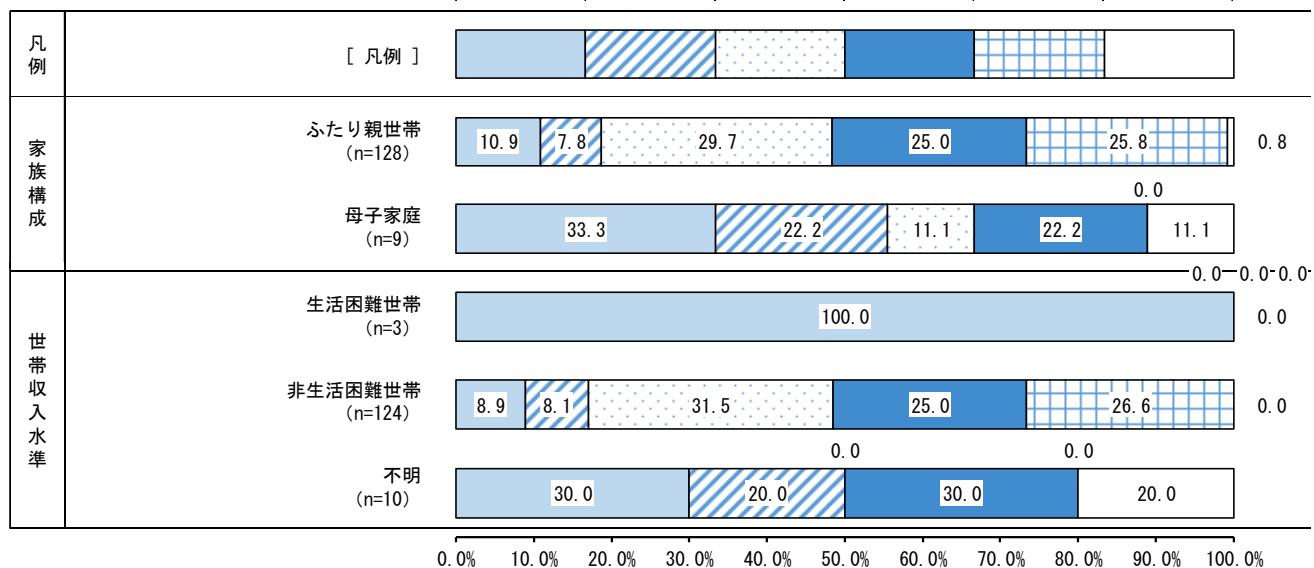
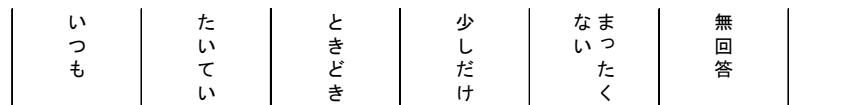
【家族構成】

- ちょっとしたことでも気になったことについて、「いつも」は母子家庭が 33.3%と多くなっています。
- 「まったくない」はふたり親世帯が 25.8%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- 「まったくない」は非生活困難世帯が 26.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【ちょっとしたことでも気になったこと】



(3) そわそわ、落ち着かなかつたこと

問23b そわそわ、落ち着かなかつたことはありましたか。

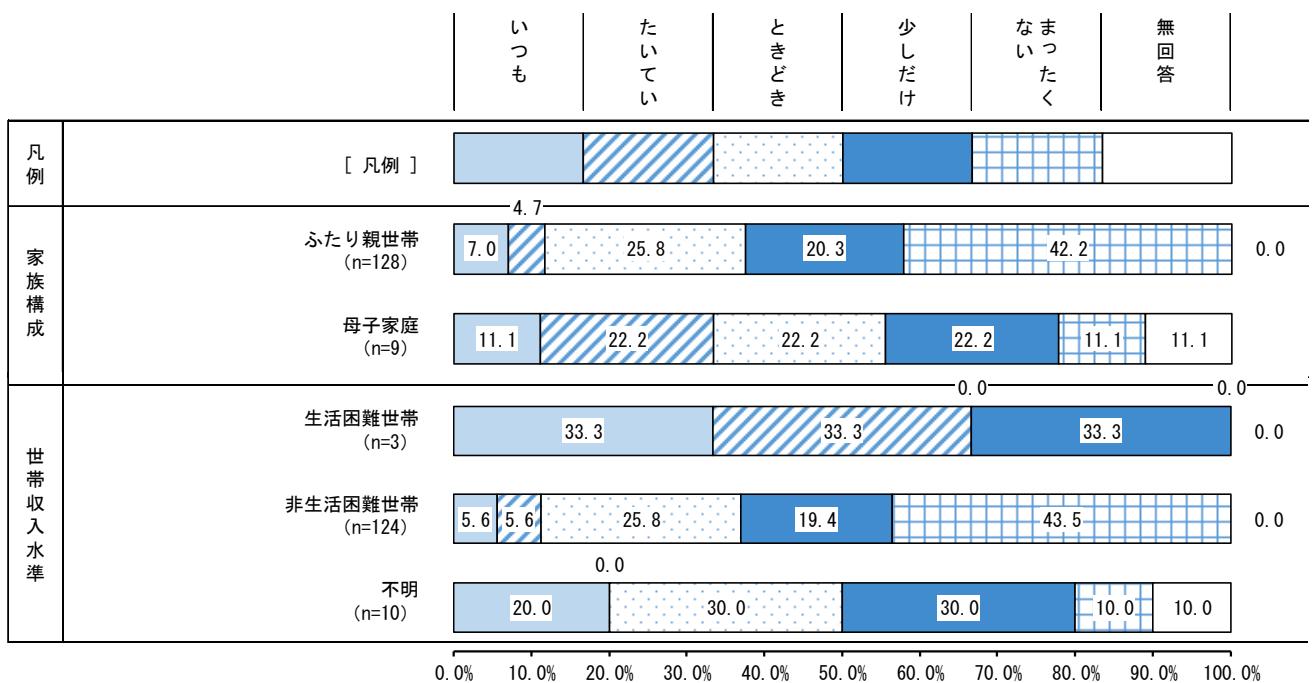
【家族構成】

- そわそわ、落ち着かなかつたことについて、「いつも」は母子家庭が 11.1%と多くなっています。
- 「まったくない」はふたり親世帯が 42.2%と多くなっています

【世帯収入水準】

- 「いつも」は非生活困難世帯が 5.6%と他の区分に比べて少なくなっています。

【そわそわ、落ち着かなかつたこと】



(4) 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れなかつたこと

問23c 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れなかつたことはありましたか。

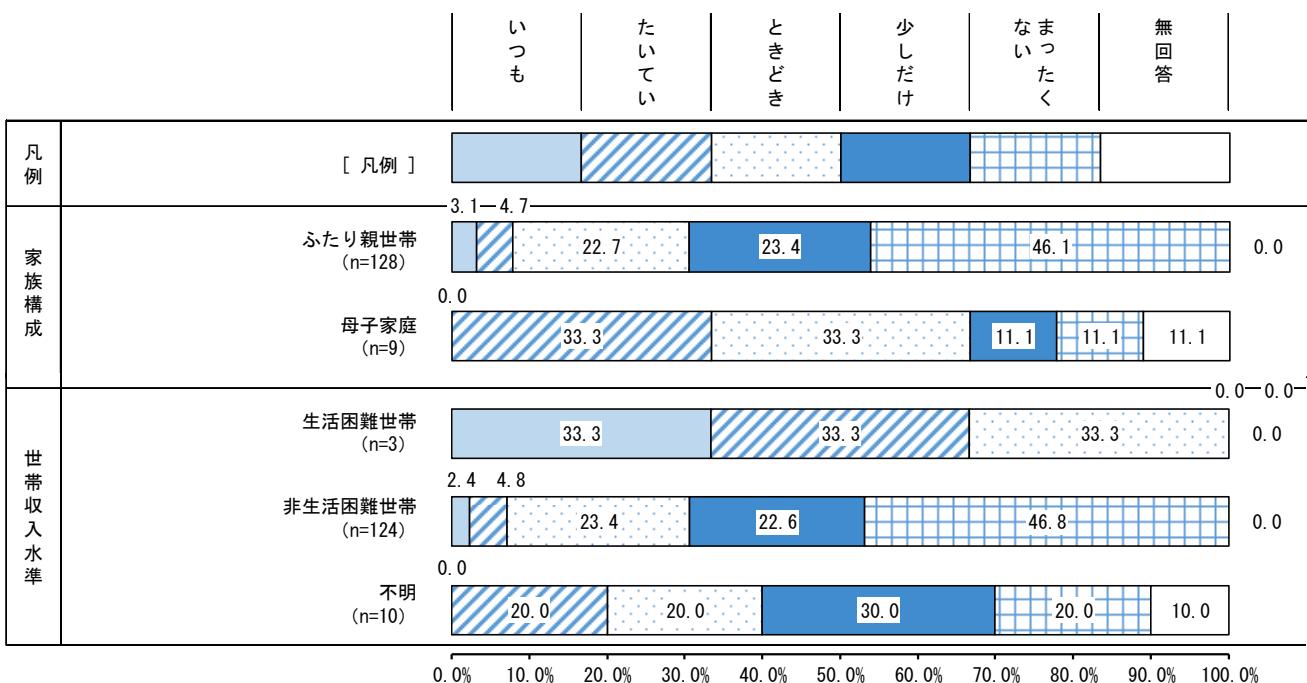
【家族構成】

- 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れなかつたことについて、「まったくない」はふたり親世帯が 46.1%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- 「まったくない」は非生活困難世帯が 46.8%と他の区分に比べて多くなっています。

【気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れなかつたこと】



(5) 何をするのも面倒だと感じたこと

問23d 何をするのも面倒だと感じたことはありましたか。

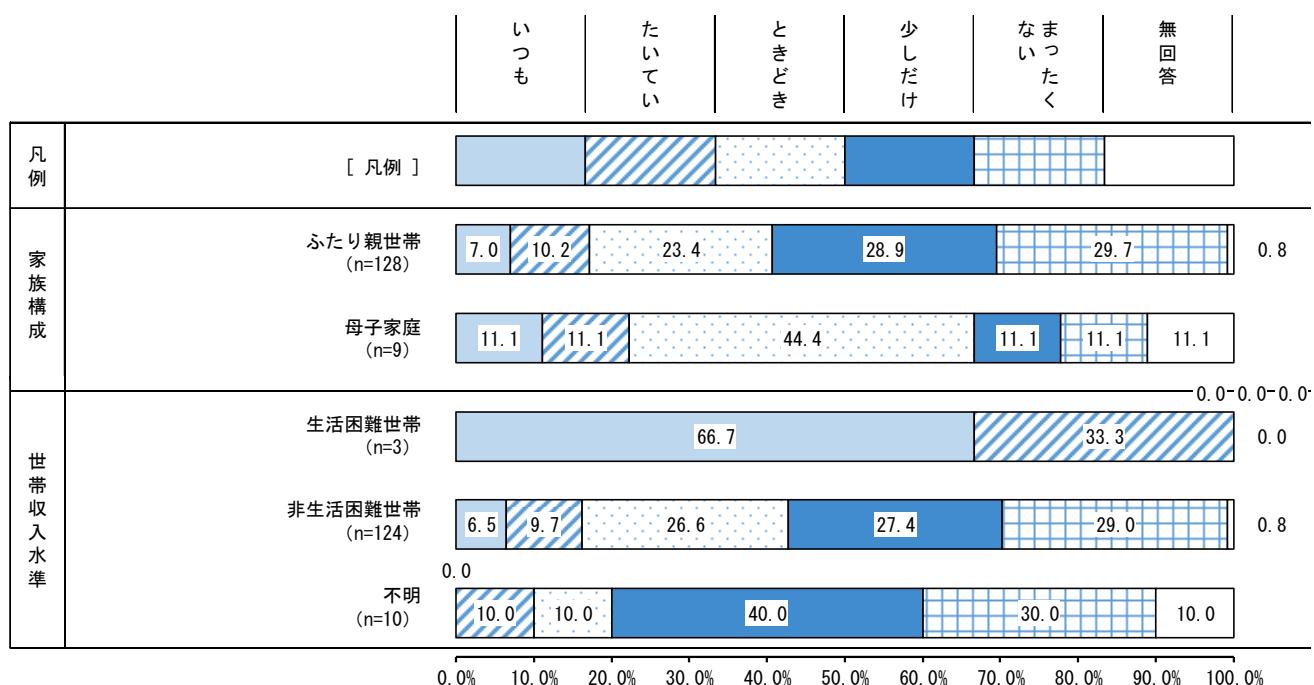
【家族構成】

- 何をするのも面倒だと感じたことについて、「まったくない」はふたり親世帯が 29.7%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- 「まったくない」は非生活困難世帯が 29.0%となっています。

【何をするのも面倒だと感じたこと】



(6) 自分は価値のない人間だと感じたこと

問23e 自分は価値のない人間だと感じたことはありましたか。

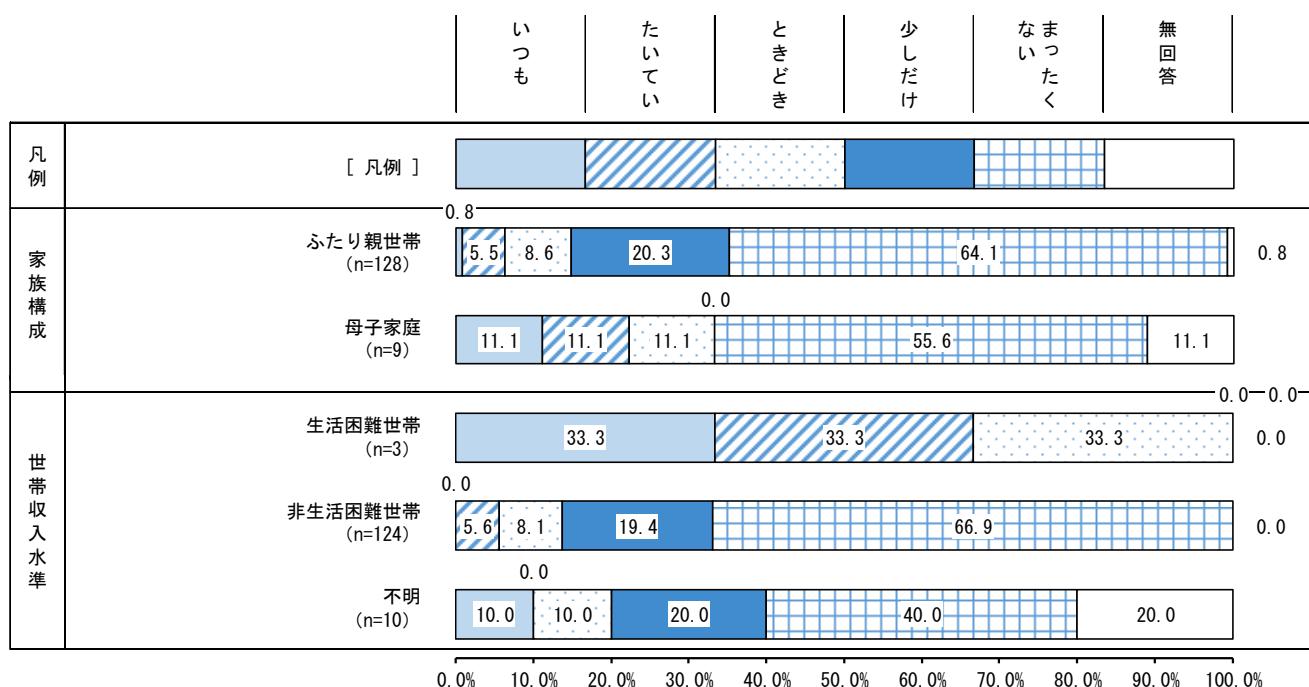
【家族構成】

- 自分は価値のない人間だと感じたことについて、「いつも」は母子家庭が 11.1%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- 「まったくない」は非生活困難世帯が 66.9%と他の区分に比べて多くなっています。

【自分は価値のない人間だと感じたこと】



(7) 絶望的だと感じたこと

問23f 絶望的だと感じたことはありましたか。

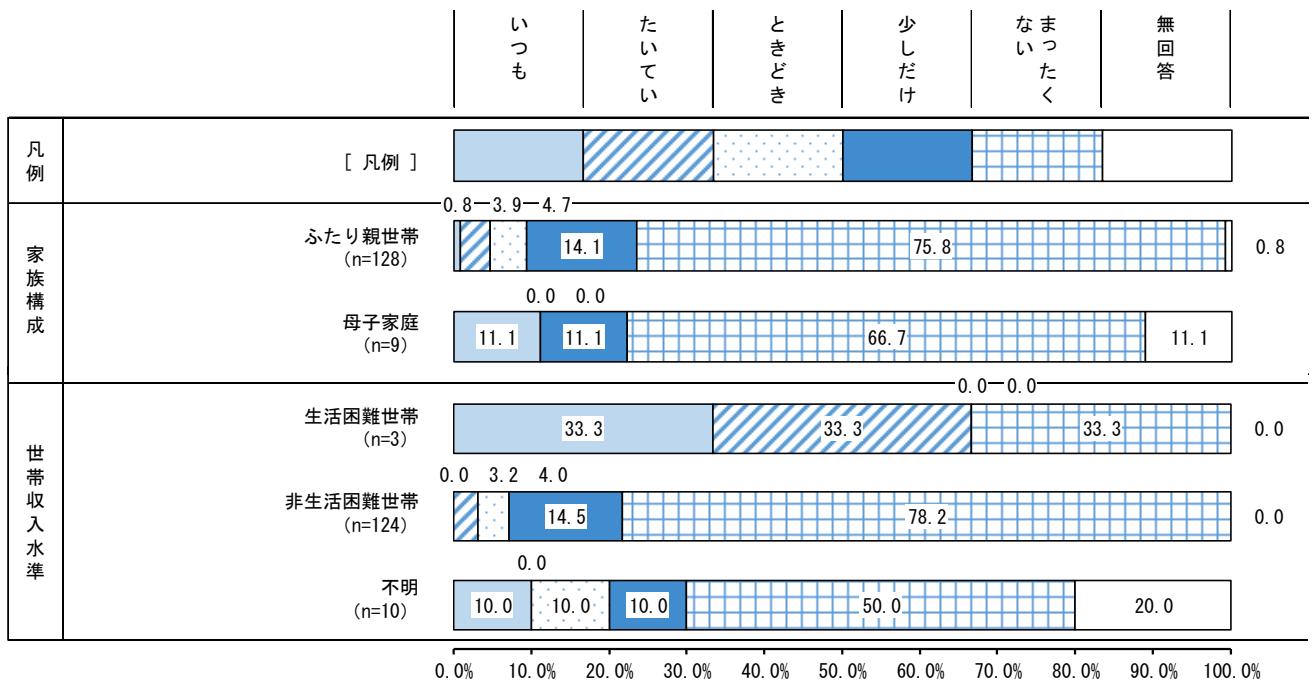
【家族構成】

- 絶望的だと感じたことについて、「まったくない」はふたり親世帯が 75.8%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- 「まったくない」は非生活困難世帯が 78.2%と他の区分に比べて多くなっています。

【絶望的だと感じたこと】



1.1. 支援の利用状況

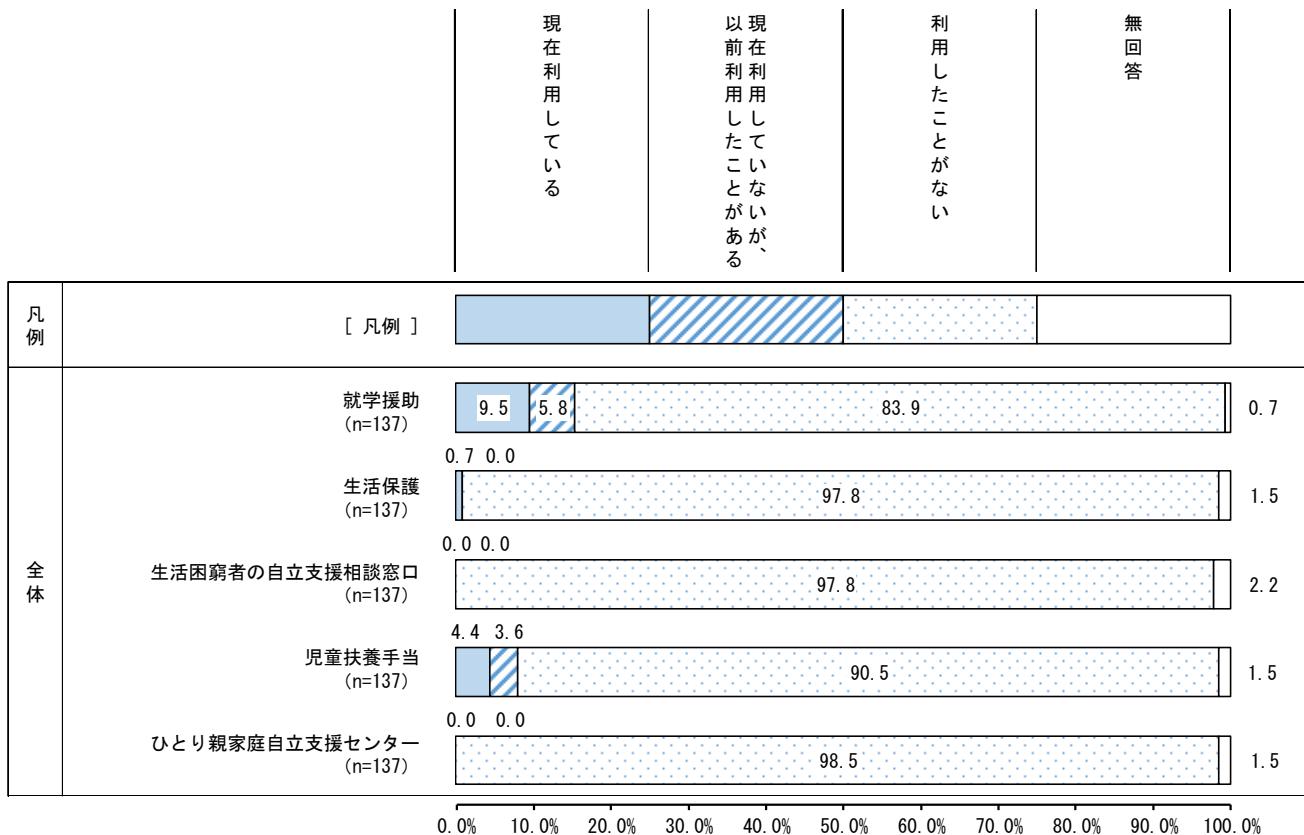
(1) 支援の利用状況

問24-1 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。

【全体】

- 支援制度の利用について、「現在利用している」は生活保護、生活困窮者の自立支援相談窓口、ひとり親家庭自立支援センターは 1.0%未満となっているのに対し、就学援助が 9.5%、児童扶養手当が 4.4%と多くなっています。
- 「利用したことがない」はひとり親家庭自立支援センターが 98.5%、生活保護、生活困窮者の自立支援相談窓口が 97.8%と他の区分に比べて多くなっています。

【支援制度の利用】



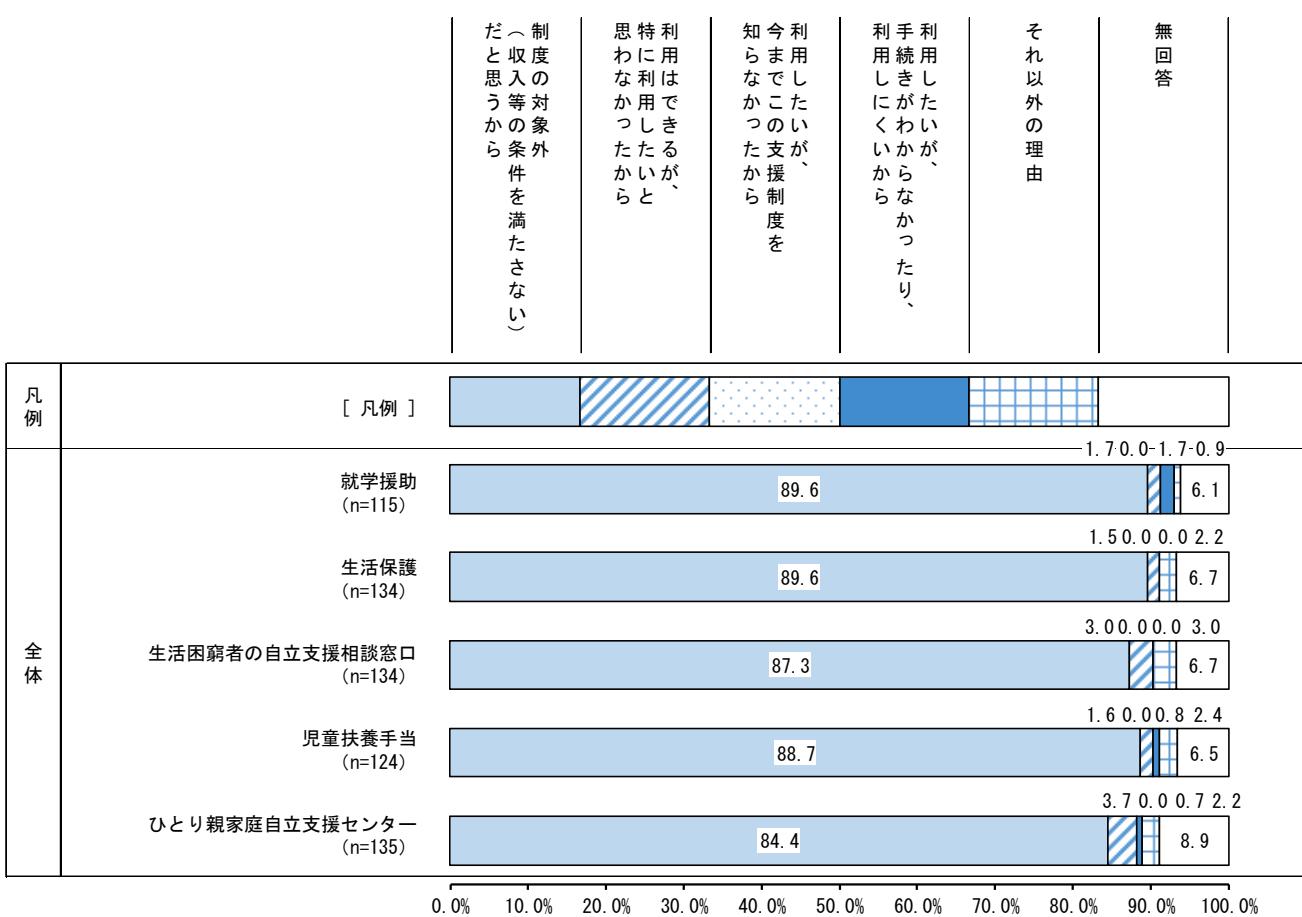
(2) 支援を利用したことがない理由

問24-2 利用したことがない理由は何ですか。（前の質問で「3. 利用したことがない」を選んだ人）

【全体】

- 利用したことがない理由について、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」はすべて 80.0%以上と多くなっています。
- 「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかつたから」「利用したいが、手続きがわからなかつたり、利用しにくいから」を合わせた“利用の希望がある人”は就学援助が 1.7%、児童扶養手当が 0.8%、ひとり親家庭自立支援センターが 0.7%、生活保護、生活困窮者の自立支援相談窓口が 0.0%となっています。

【利用したことがない理由】



(3) 就学援助の利用状況

問24a-1 就学援助をこれまでに利用したことはありますか。

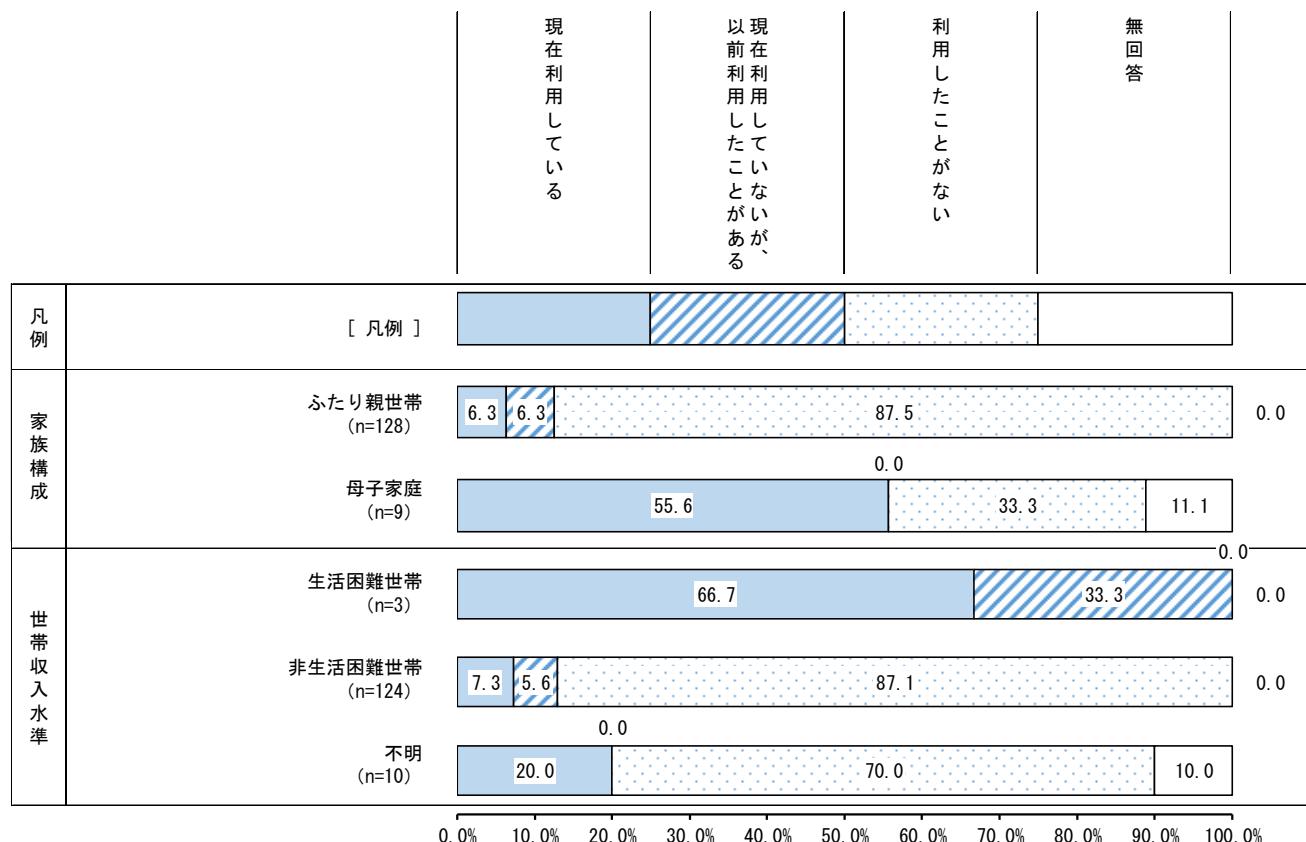
【家族構成】

- 就学援助の利用について、「現在利用している」はふたり親世帯が 6.3%となっているのに対し、母子家庭が 55.6%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- 「現在利用している」は非生活困難世帯が 7.3%となっているのに対し、生活困難世帯は 66.7%と多くなっています。

【就学援助の利用】



(4) 支援を利用したことがない理由

問24a-2 就学援助を利用したことがない理由は何ですか。（前の質問で「3. 利用したことがない」を選んだ人）

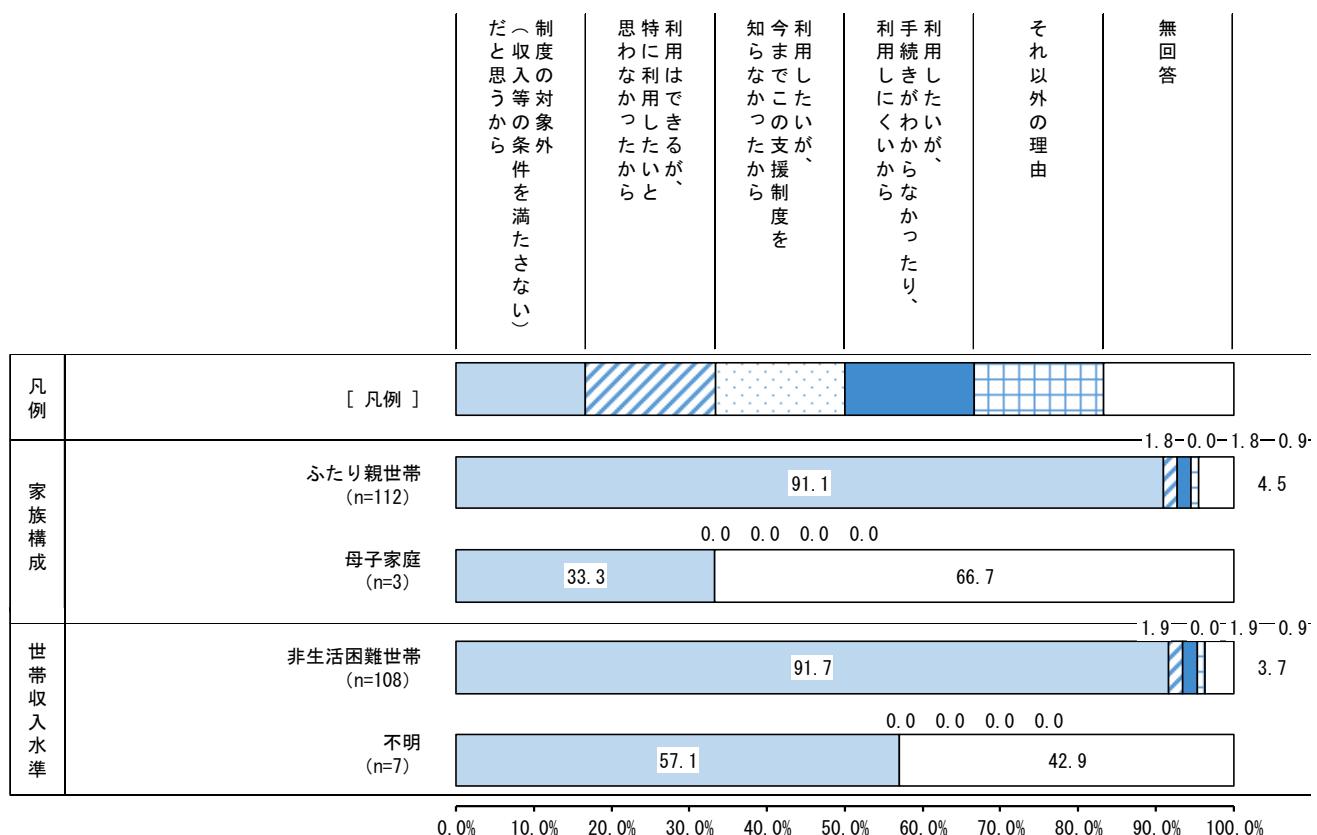
【家族構成】

- 就学援助を利用したことがない理由について、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかつたから」「利用したいが、手続きがわからなかつたり、利用しにくいから」を合わせた“利用の希望がある人”は母子家庭が0.0%、ふたり親世帯が1.8%となっています。

【世帯収入水準】

- “利用の希望がある人”は、非生活困難世帯が1.9%となっています。
- 生活困難世帯について、有効回答がありませんでした。

【就学援助を利用したことがない理由】



(5) 生活保護の利用状況

問24b-1 生活保護をこれまでに利用したことがありますか。

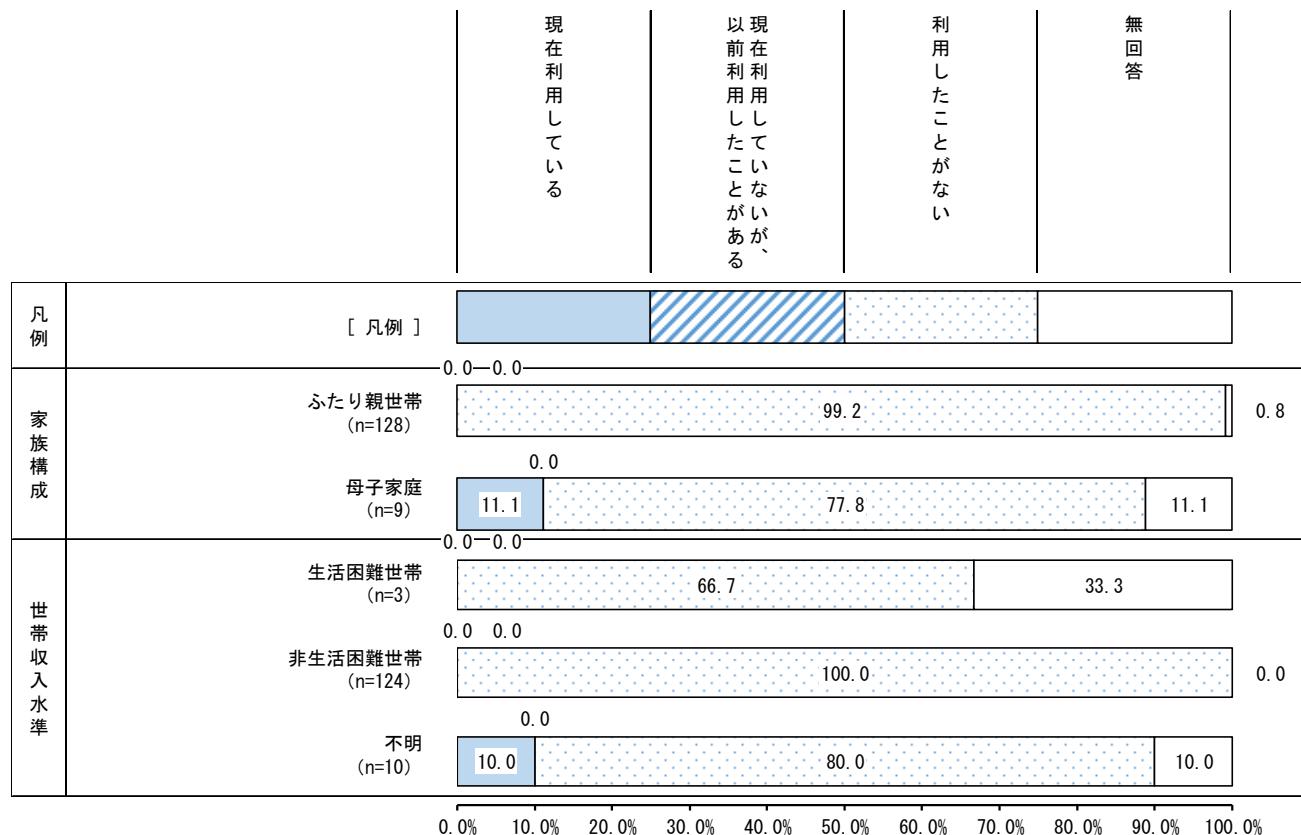
【家族構成】

- 生活保護の利用について、「現在利用している」はふたり親世帯が 0.0%となっているのに対し、母子家庭は 11.1%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- 「現在利用している」は生活困難世帯、非生活困難世帯ともに 0.0%となっています。

【生活保護の利用】



(6) 支援を利用したことがない理由

問24b-2 生活保護を利用したことがない理由は何ですか。（前の質問で「3. 利用したことがない」を選んだ人）

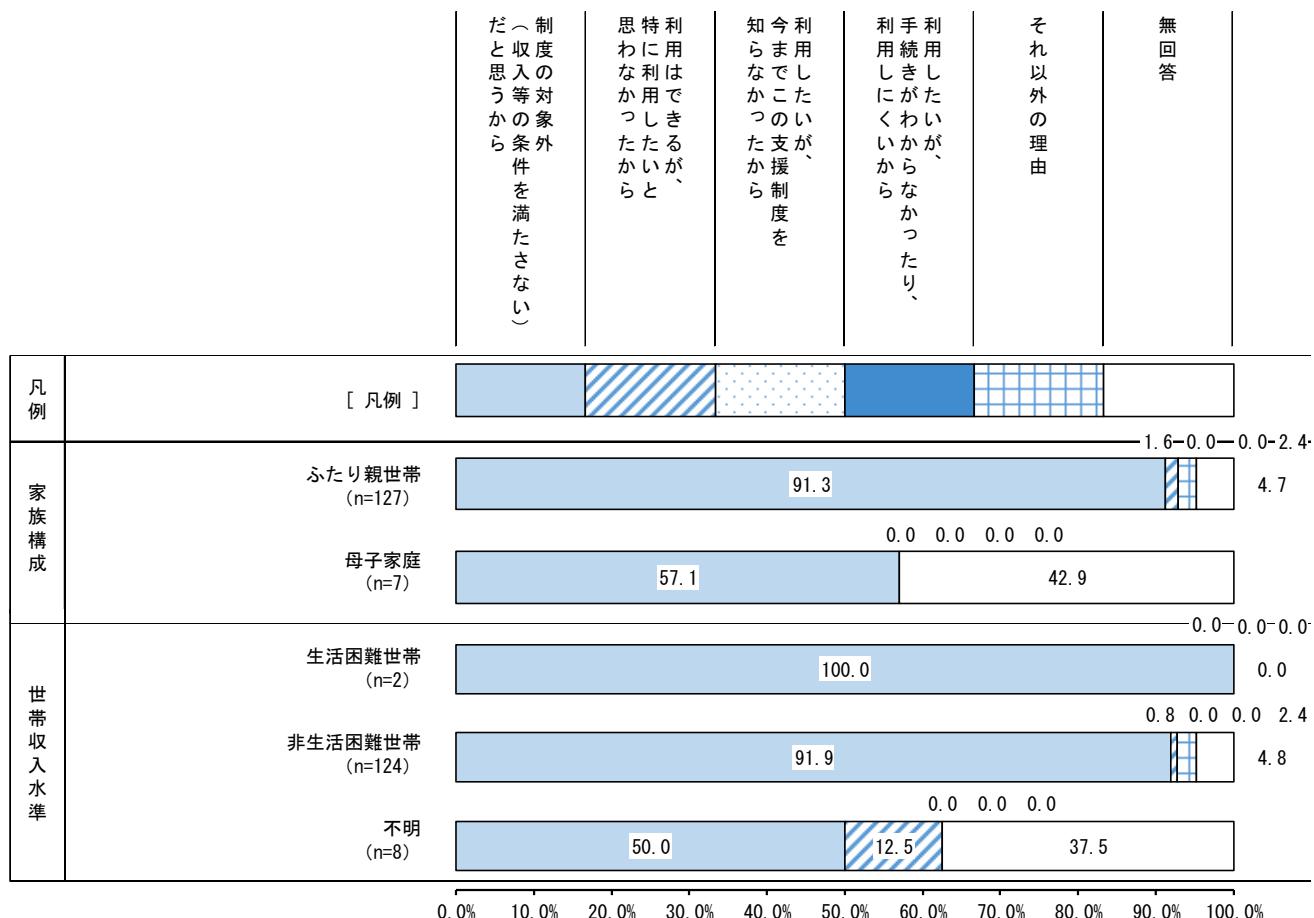
【家族構成】

- 生活保護を利用したことがない理由について、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかつたから」「利用したいが、手続きがわからなかつたり、利用しにくいかから」を合わせた“利用の希望がある人”はふたり親世帯、母子家庭ともに0.0%となってています。

【世帯収入水準】

- “利用の希望がある人”は生活困難世帯、非生活困難世帯ともに0.0%となってています。

【生活保護を利用したことがない理由】



(7) 生活困窮者の自立支援相談窓口の利用状況

問24c-1 生活困窮者の自立支援相談窓口をこれまでに利用したことがありますか。

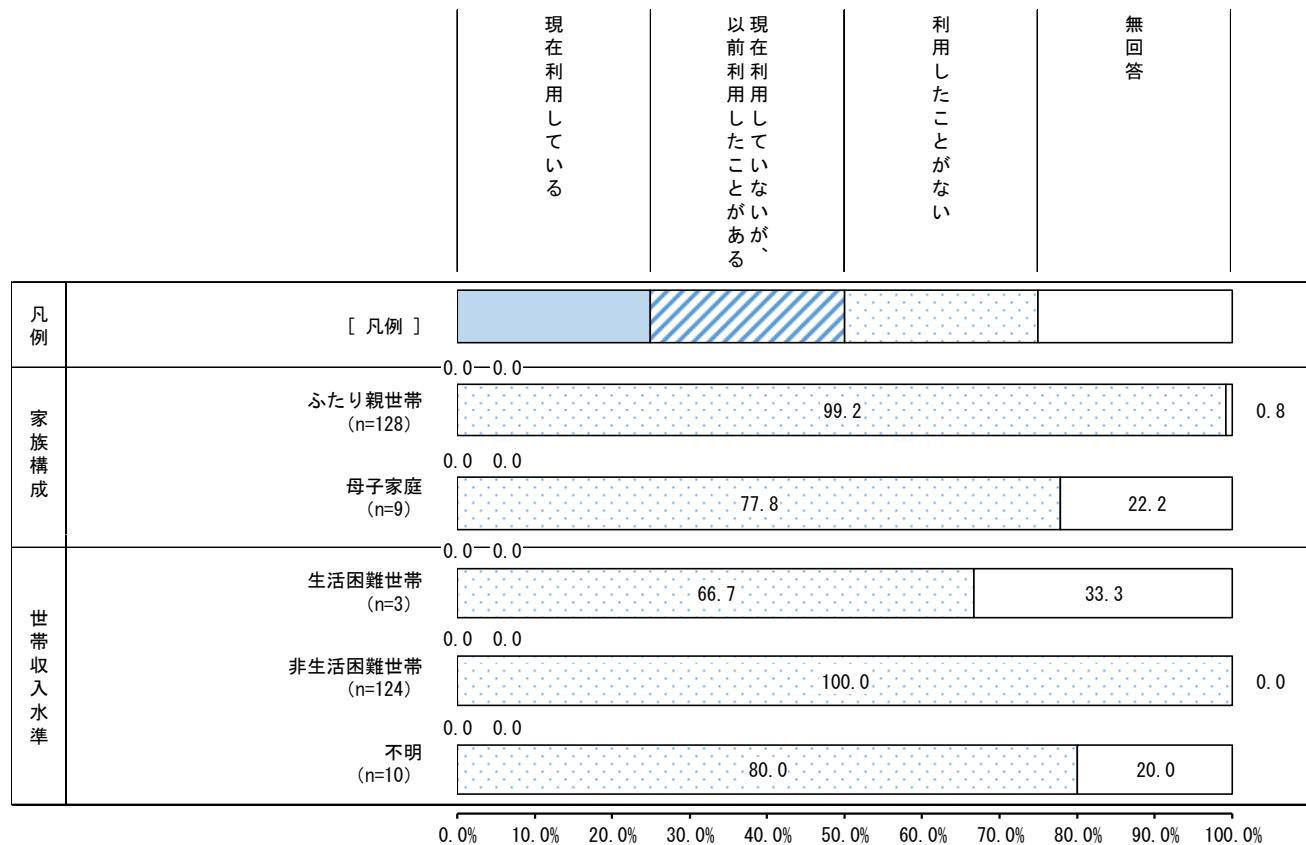
【家族構成】

- 生活困窮者の自立支援相談窓口の利用について、「現在利用している」はふたり親世帯、母子家庭ともに0.0%となっています。

【世帯収入水準】

- 「現在利用している」は生活困難世帯、非生活困難世帯とともに0.0%となっています。

【生活困窮者の自立支援相談窓口の利用】



(8) 支援を利用したことがない理由

問24c-2 生活困窮者の自立支援相談窓口を利用したことがない理由は何ですか。（前の質問で「3. 利用したことがない」を選んだ人）

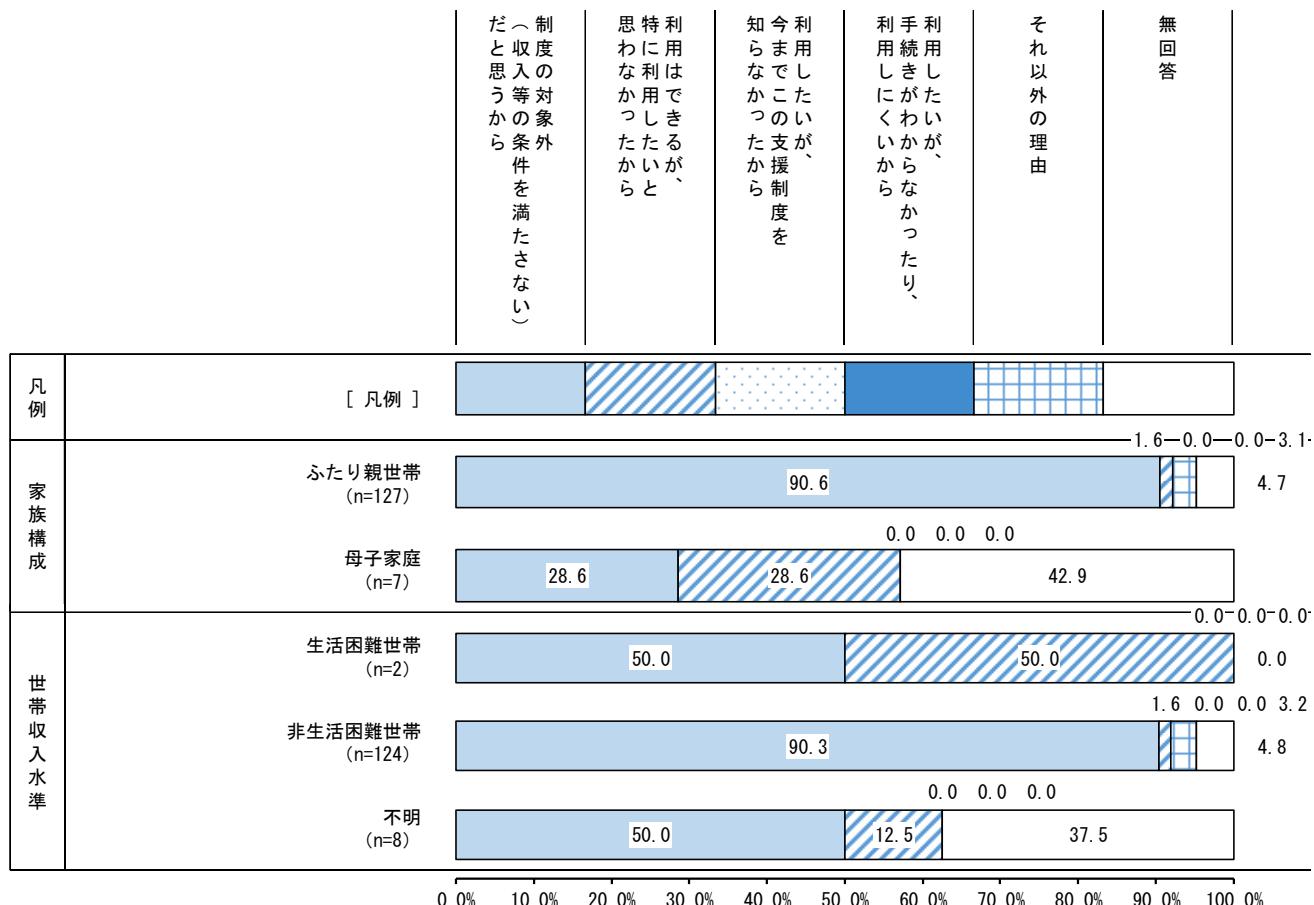
【家族構成】

- 生活困窮者の自立支援相談窓口を利用したことがない理由について、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかつたから」「利用したいが、手続きがわからなかつたり、利用しにくいから」を合わせた“利用の希望がある人”はふたり親世帯、母子家庭ともに0.0%となっています。

【世帯収入水準】

- “利用の希望がある人”は生活困難世帯、非生活困難世帯ともに0.0%となっています。

【生活困窮者の自立支援相談窓口を利用したことがない理由】



(9) 児童扶養手当の利用状況

問24d-1 児童扶養手当をこれまでに利用したことがありますか。

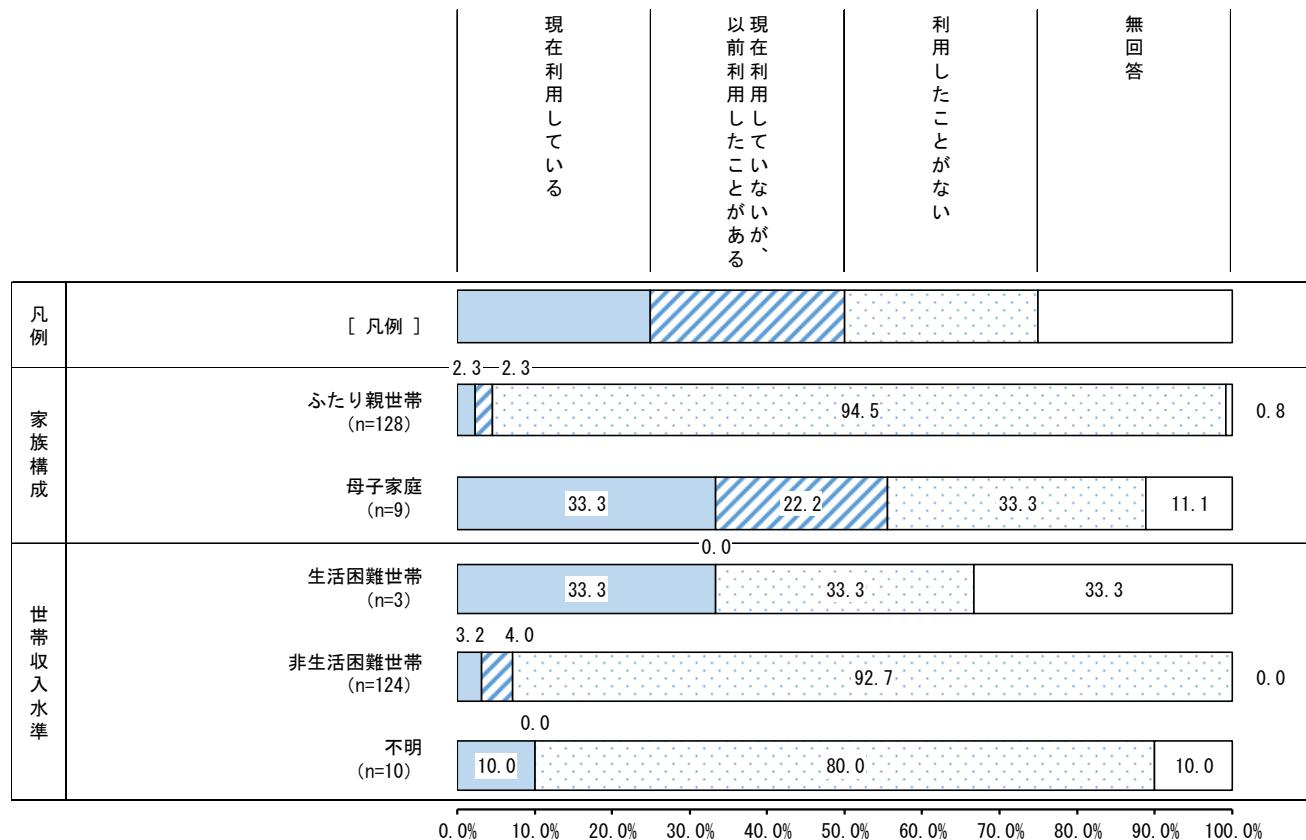
【家族構成】

- 児童扶養手当の利用について、「現在利用している」は母子家庭で 33.3%となっています。

【世帯収入水準】

- 「現在利用している」は非生活困難世帯が 3.2%となっているのに対し、生活困難世帯は 33.3%と多くなっています。

【児童扶養手当の利用】



(10) 支援を利用したことがない理由

問24d-2 児童扶養手当を利用したことがない理由は何ですか。（前の質問で「3. 利用したことがない」を選んだ人）

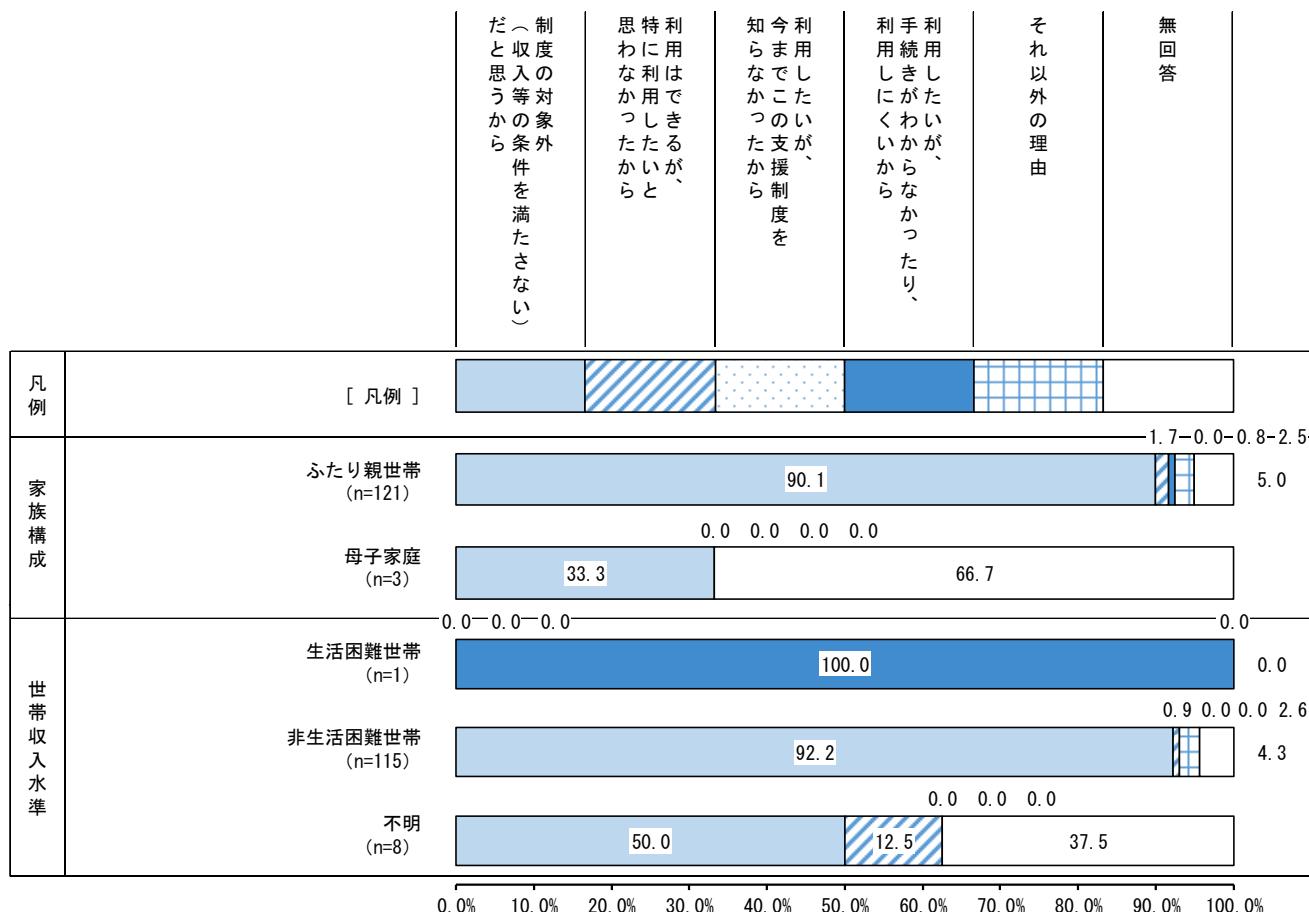
【家族構成】

- 児童扶養手当を利用したことがない理由について、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかつたから」「利用したいが、手続きがわからなかつたり、利用しにくいから」を合わせた“利用の希望がある人”は母子家庭が 0.0% となっています。

【世帯収入水準】

- “利用の希望がある人”は生活困難世帯、非生活困難世帯とともに 0.0% となっています。

【児童扶養手当を利用したことがない理由】



(11) ひとり親家庭自立支援センターの利用

問24e-1 ひとり親家庭自立支援センターをこれまでに利用したことがありますか。

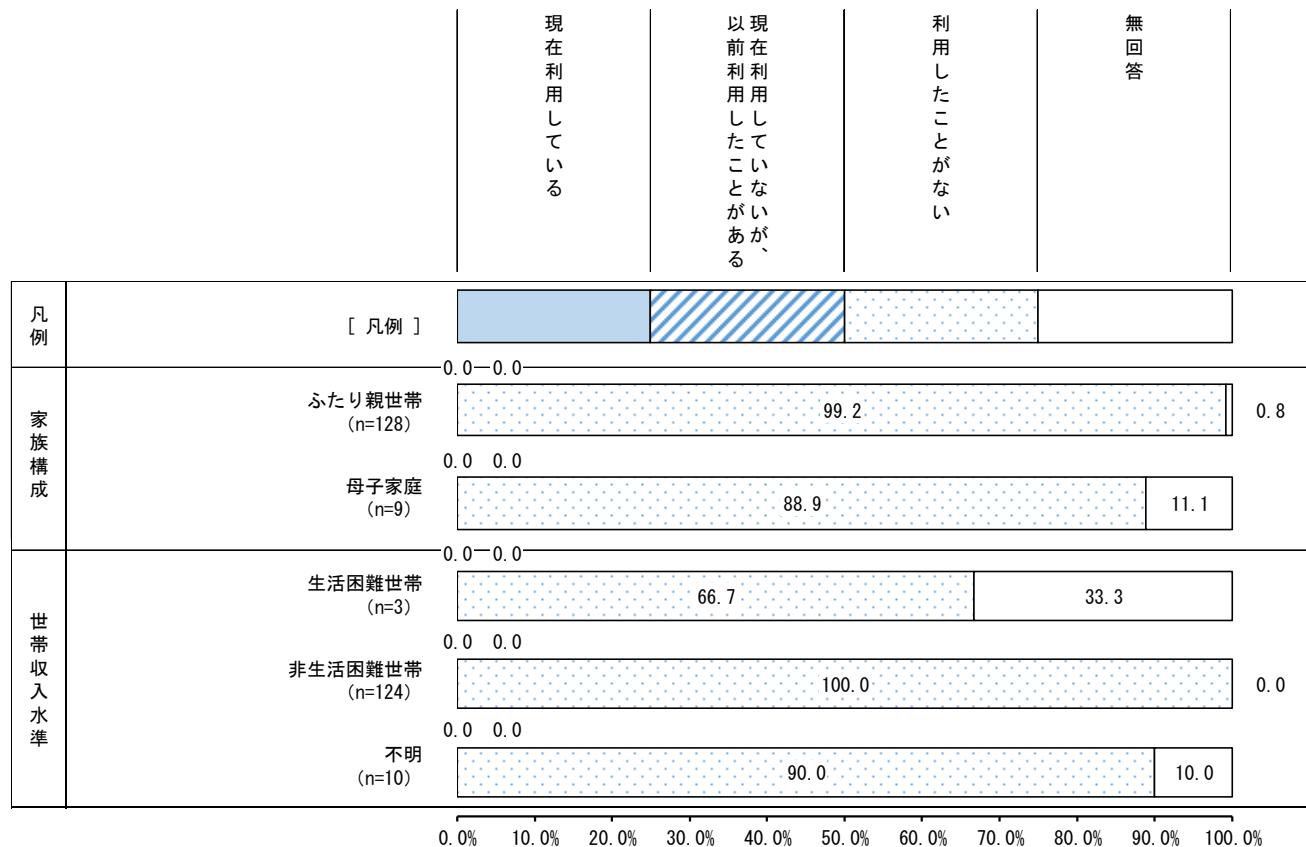
【家族構成】

- ひとり親家庭自立支援センターの利用について、「現在利用している」は母子家庭が 0.0% となって います。

【世帯収入水準】

- 「現在利用している」は生活困難世帯、非生活困難世帯とともに 0.0% となっています。

【ひとり親家庭自立支援センターの利用】



(12) 支援を利用したことがない理由

問24e-2 ひとり親家庭自立支援センターを利用したことがない理由は何ですか。（前の質問で「3. 利用したことがない」を選んだ人）

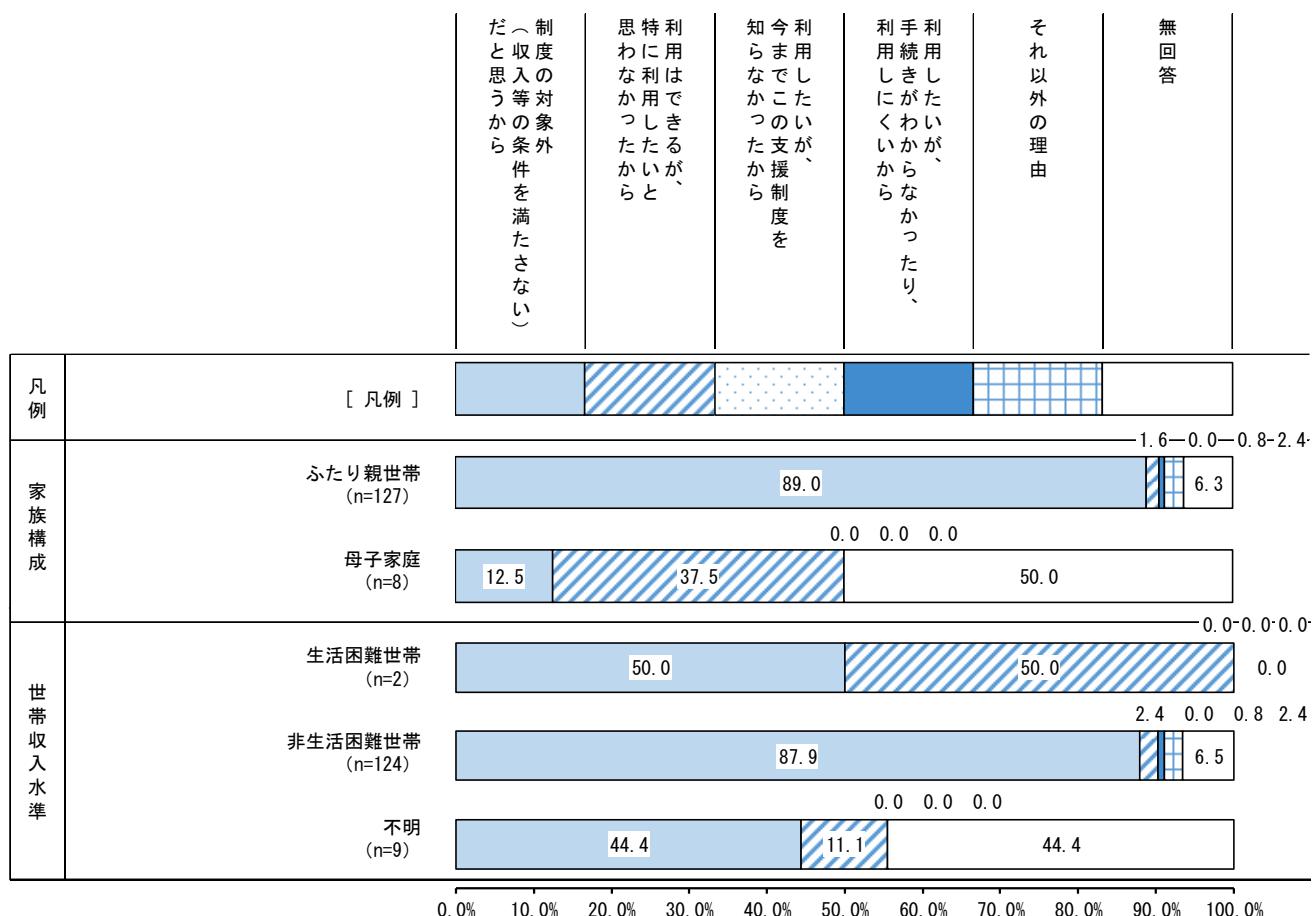
【家族構成】

- ひとり親家庭自立支援センターを利用したことがない理由について、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」「利用したいが、手続きがわからなかつたり、利用しにくいから」を合わせた“利用の希望がある人”は母子家庭が 0.0% となっています。

【世帯収入水準】

- “利用の希望がある人”は非生活困難世帯が 0.8%、生活困難世帯が 0.0% となっています。

【ひとり親家庭自立支援センターを利用したことがない理由】



12. 保護者の考え方

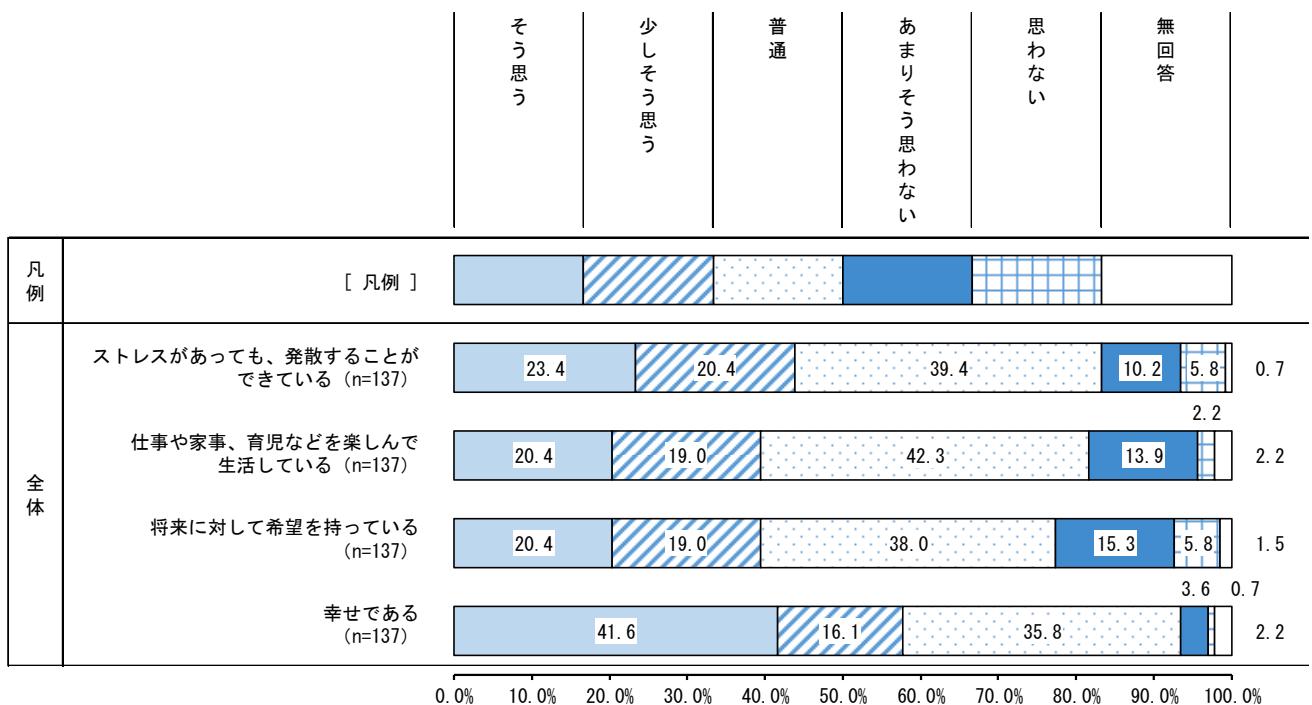
(1) 自分自身の考え方

問25 次の質問について、あなたはどのように考えていますか。

【全体】

- あなたの考え方について、「そう思う」「少しそう思う」を合わせた“そう思う人”は幸せであるが 57.7%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「あまりそう思わない」「思わない」を合わせた“そう思わない人”は将来に対して希望を持っているが 21.1%と他の区分に比べてなっています。

【あなたの考え方】



(2) ストレスの発散

問25a ストレスがあっても、発散することができますか。

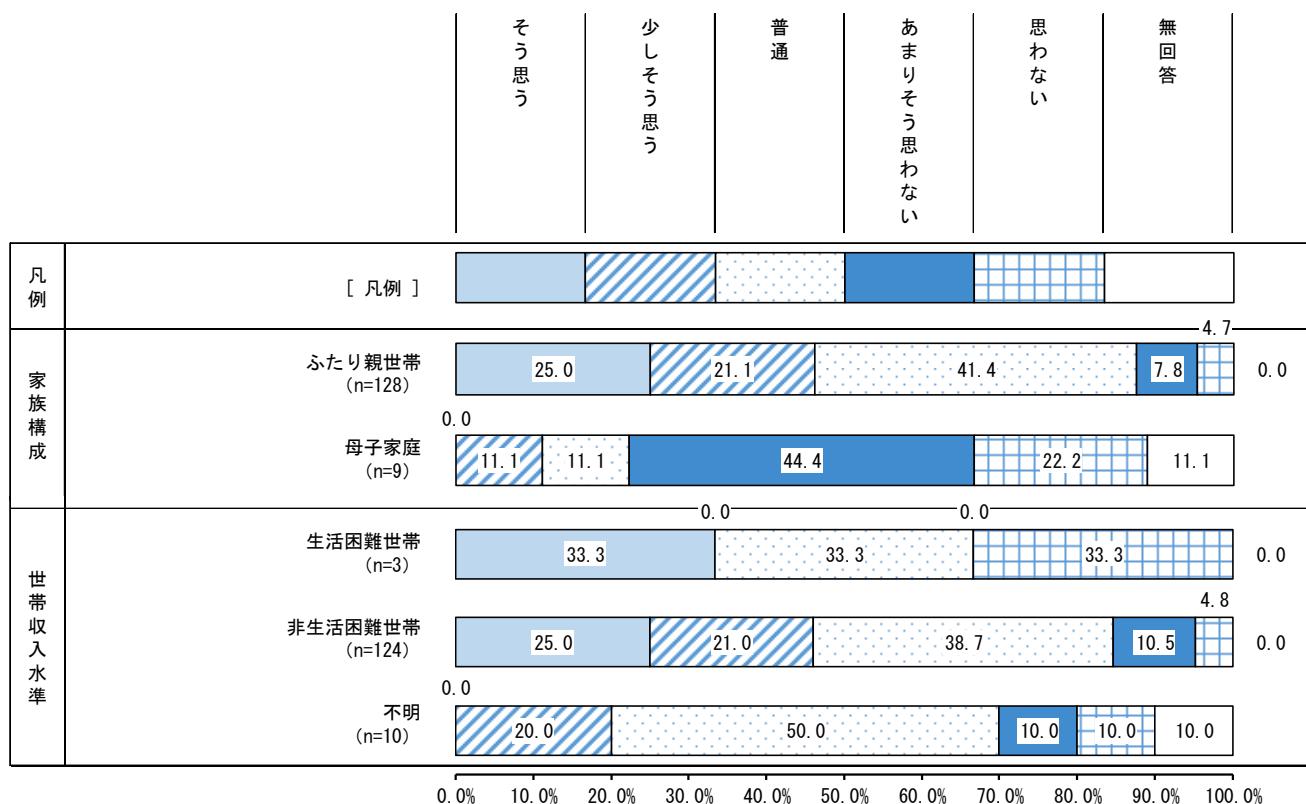
【家族構成】

- ストレスがあっても、発散することができているかについて、「そう思う」「少しそう思う」を合わせた“そう思う人”は母子家庭が 11.1%となっているのに対し、ふたり親世帯は 46.1%と多くなっています。
- 「あまりそう思わない」「思わない」を合わせた“そう思わない人”はふたり親世帯が 12.5%となっているのに対し、母子家庭は 66.6%となっています。

【世帯収入水準】

- “そう思う人”は生活困難世帯が 33.3%となっているのに対し、非生活困難世帯は 46.0%と多くなっています。
- “そう思わない人”は非生活困難世带が 15.3%、生活困難世帯が 33.3%となっています。

【ストレスがあっても、発散することができますか】



(3) 楽しんだ生活

問25b 仕事や家事、育児などを楽しんで生活していますか。

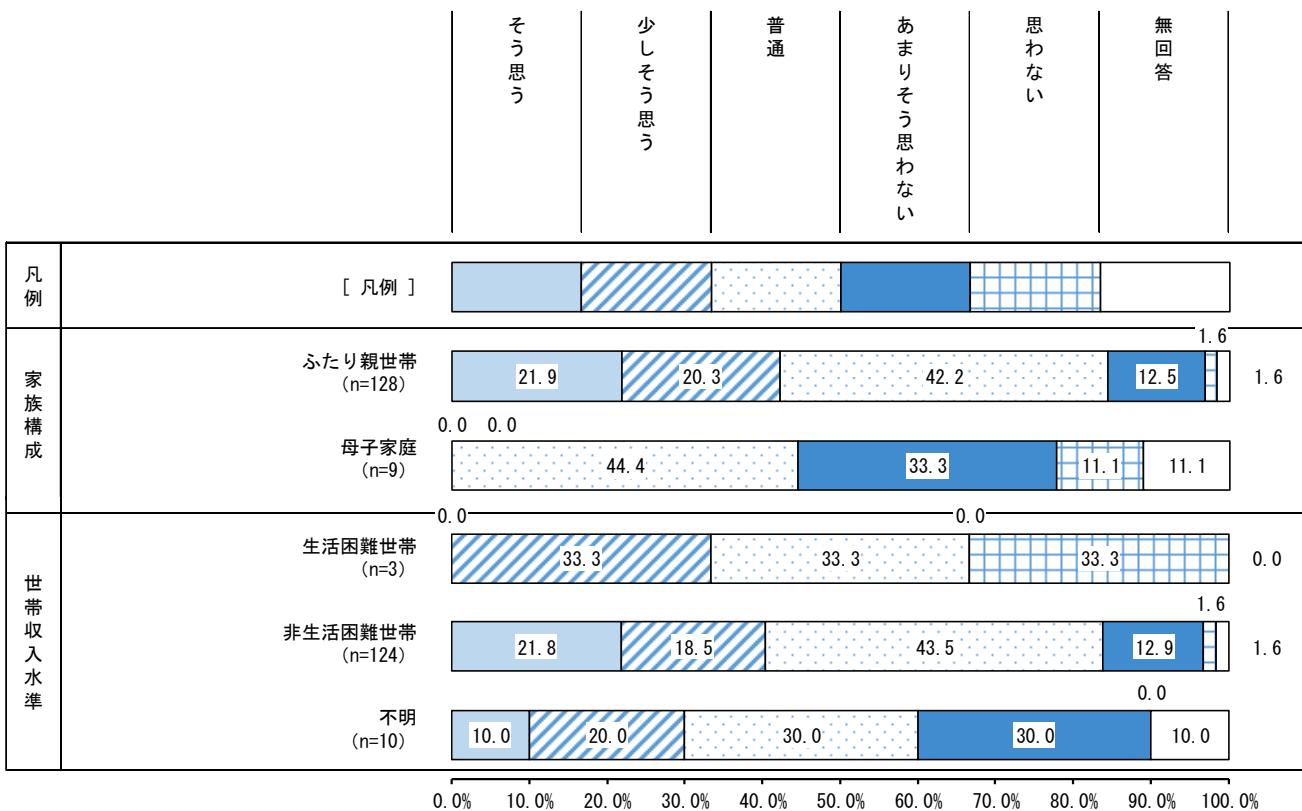
【家族構成】

- 仕事や家事、育児などを楽しんで生活しているかについて、「そう思う」「少しそう思う」を合わせた“そう思う人”は母子家庭が 0.0%となっているのに対し、ふたり親世帯は 42.2%と多くなっています。
- 「あまりそう思わない」「思わない」を合わせた“そう思わない人”はふたり親世帯が 14.1%、となっているのに対し、母子家庭は 44.4%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- “そう思う人”は生活困難世帯が 33.3%となっているのに対し、非生活困難世帯は 40.3%と多くなっています。
- “そう思わない人”は非生活困難世帯が 14.5%となっているのに対し、生活困難世帯は 33.3%と多くなっています。

【仕事や家事、育児などを楽しんで生活しているか】



(4) 将来に対する希望

問25c 将来に対して希望を持っていますか。

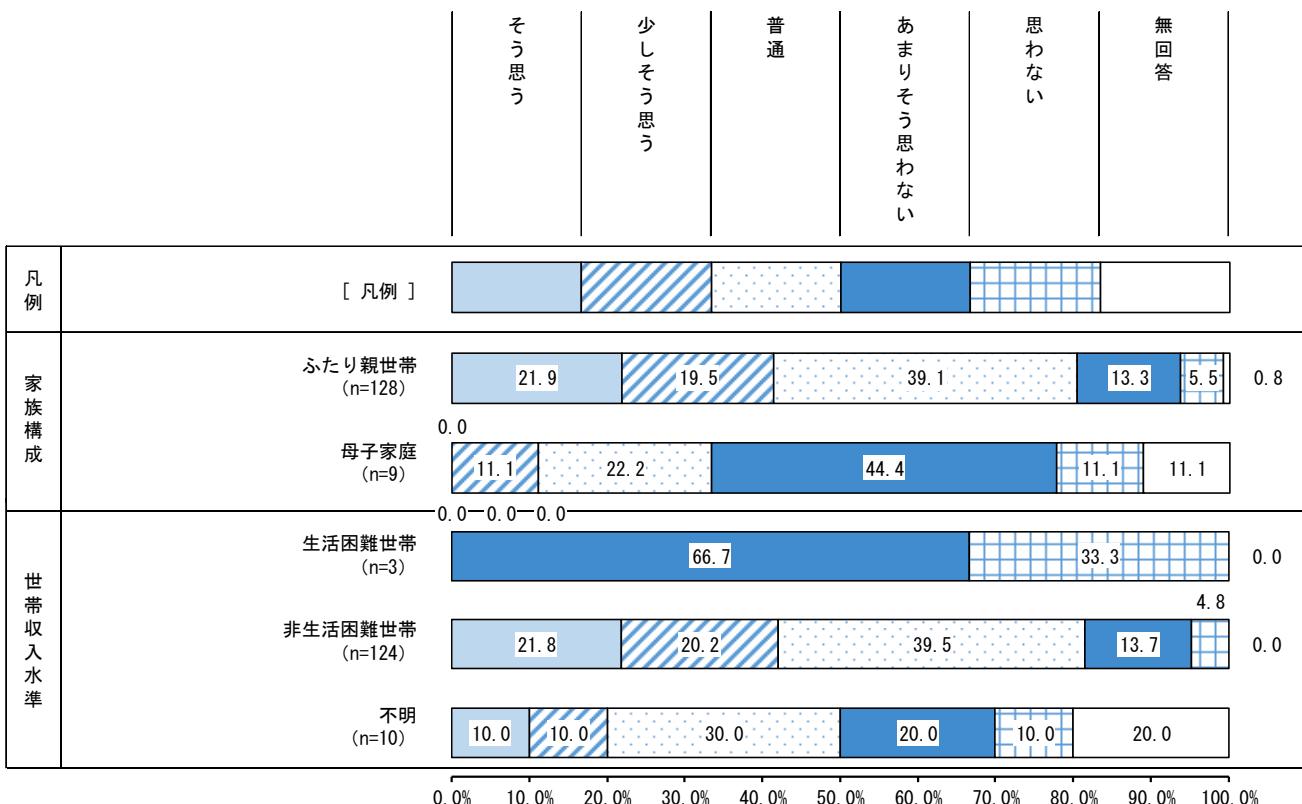
【家族構成】

- 将来に対して希望を持っているかについて、「そう思う」「少しそう思う」を合わせた“そう思う人”は母子家庭が 11.1%となっているのに対し、ふたり親世帯は 41.4%と多くなっています。
- 「あまりそう思わない」「思わない」を合わせた“そう思わない人”はふたり親世帯が 18.8%となっているのに対し、母子家庭が 55.5%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- “そう思う人”は非生活困難世帯が 42.0%となっているのに対し、生活困難世帯は 0.0%と少なくなっています。
- “そう思わない人”は非生活困難世帯が 18.5%となっているのに対し、生活困難世帯は 100.0%と多くなっています。

【将来に対して希望を持っているか】



(5) 幸せを感じる

問25d 幸せですか。

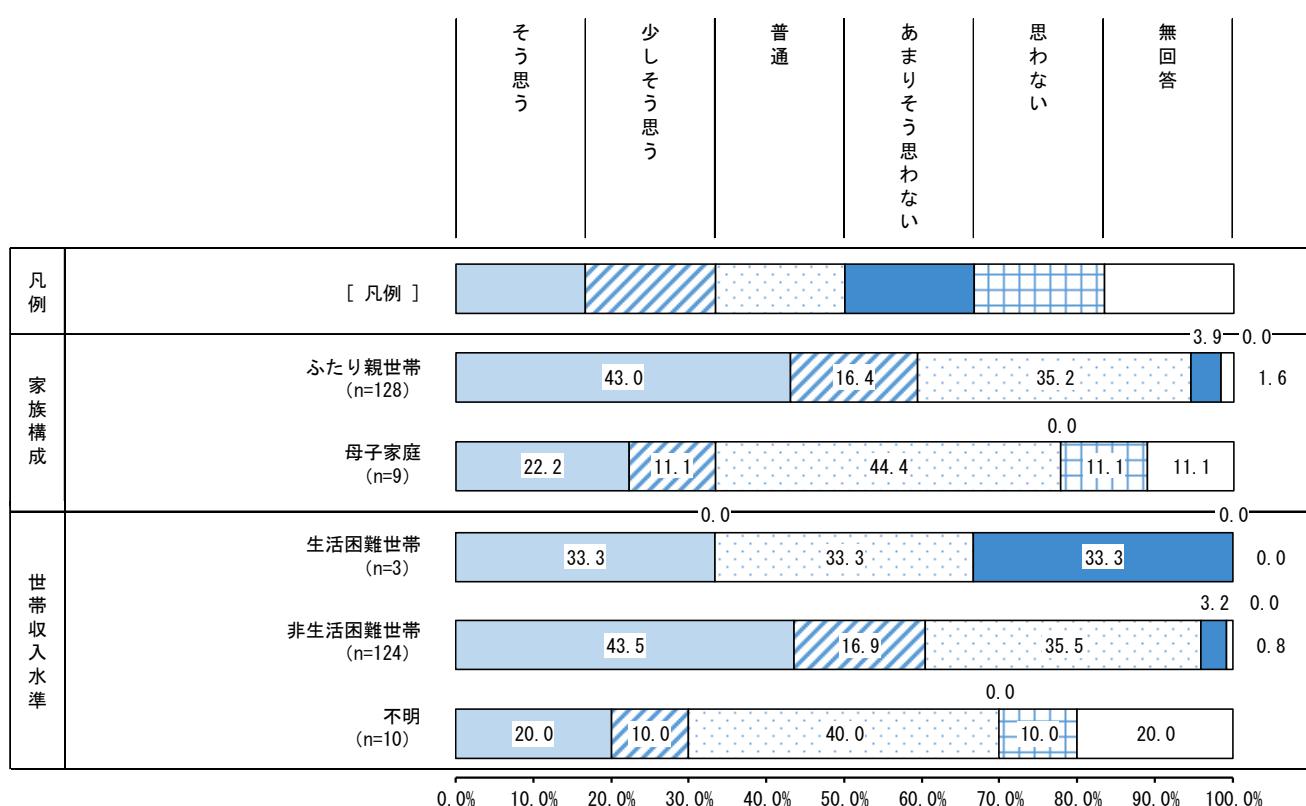
【家族構成】

- 幸せであるかについて、「そう思う」「少しそう思う」を合わせた“そう思う人”は母子家庭が33.3%となっているのに対し、ふたり親世帯は59.4%と多くなっています。
- 「あまりそう思わない」「思わない」を合わせた“そう思わない人”はふたり親世帯が3.9%となっているのに対し、母子家庭は11.1%と多くなっています。

【世帯収入水準】

- “そう思う人”は生活困難世帯が33.3%となっているのに対し、非生活困難世帯は60.4%と多くなっています。
- “そう思わない人”は非生活困難世帯が3.2%となっているのに対し、生活困難世帯は33.3%と多くなっています。

【幸せであるか】



V 中学生の保護者（アンケート結果からの分析）

1. 保育の状況

全体では、0～2歳は、「もっぱら親・親族が面倒をみていた」が多く、特に生活困難世帯では66.7%となっています。また、母子家庭においては「認可保育所・認定こども園」の利用が44.4%と、ふたり親世帯の23.4%と比較しても多くなっています。

一方、3～5歳の間では、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」の利用が全体で91.2%と非常に多くなり、家庭での保育が3.6%と大幅に減少していました。

2. 子どもとの関わり方

親子の関わり方について、「子どもが小さい頃、絵本の読みきかせをしていた」、「子どもから、勉強や成績のことについて話してくれる」と回答した人が多くなっています。

3. 学校との関わり・参加

家庭の経済状況や家族構成によって、学校行事への参加やボランティア活動への参加に差があることがわかります。生活困難世帯や母子家庭では、学校行事への参加が比較的多くなっています。

また、学校行事では、両親ともに若年齢層や母子家庭の参加が少なくなっており、就労状況などの要因が考えられます。

4. 進路期待・展望

進路に関して、全体で無回答が過半数を占めています。進学の理由として、「希望する学校や職業があるから」に次いで、「自分の成績から考えて」が多くなっています。

一方で、保護者に関して、進路の希望理由については、「子どもがそう希望しているから」も多くなっています。

5. 頼れる人の有無・相手

子育てに関する相談先として、「家族・親族」が多く、次いで、友人・知人、職場となっています。また、母子家庭において、「頼れる人がいる」と答えた割合がふたり親世帯より少なくなっています。

経済的支援について「頼れる人がいる」と答えた人が母子家庭では 44.4%と、他の世帯と比べて少なく、金銭的援助を頼れる人の選択肢が限られており、いざというときの金銭的な援助に不安があることが推測されます。生活困難世帯では、「頼れる人がいる」と答えた人も多いものの、その先が主に家族・親族に限られています。

6. 経済的な状況、暮らしの状況

暮らしの状況について、母子家庭では苦しい人（「苦しい」と「大変苦しい」を合わせた割合）が多くなっていることや、生活困難世帯における経済的困難が表れており、一部の家庭では、食料や衣服の購入においても影響がでていました。

また、養育費の取り決めに関して、一部の家庭で「取り決めをしているが、受け取っていない」ケースがあることもうかがえます。

7. 保護者の心理的な状態

保護者の心理的な状態について、全体では、「ちょっとしたことが気になる」や、「何をするのも面倒」と思う割合が「少しだけ」も含めて多くなっています。また、母子家庭においては、すべての項目に対して「いつも」「たいてい」と回答する割合が一定数あります。

収入水準や家庭環境が精神的な健康状態に与える影響がみられ、特に、非生活困難世帯では精神的な健康状態が比較的良好である一方、生活困難世帯では精神的な健康状態に対する負担が大きいことがうかがえます。

8. 支援の利用状況

生活保護や生活困窮者の自立支援相談窓口などの利用率は少なくなっています。また、母子家庭においては、就学援助や児童扶養手当の利用が多くなっています。

利用していない理由として、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」が最も多くなっていますが、母子家庭、生活困難世帯では、「利用はできるが特に利用したいと思わなかった」も理由に挙がっています。

9. 保護者の考え方

ストレスの発散や、生活の楽しみについて、そう思う人（「そう思う（できている、楽しんでいる）」と「少しそう思う（どちらかといえばできている、どちらかといえば楽しんでいる）」を合わせた割合）は、母子家庭で少なくなっています。また、将来への希望も同様に少なく、他の質問に比べて幸福感が高い人（「そう思う」と「少しそう思う」を合わせた割合）は、やや多くなっているものの、ふたり親世帯と比べると少なくなっています。さらに、生活困難世帯についても同様に、全体に肯定的な回答が少なくなっています。